

一 御林立山之竹木伐荒べからず枝葉下草等迄も御用之外は伐採間敷候たとひ下苧伐出し候所たりとも苗木蒔間敷候御林薄き所へは苗木植立候様致べし百姓持林并屋敷四壁之木たり共目立候木を伐遣ひ候はゞ斷書指出可伐之堤に有之柳葭萱等猥に不可蒔取事

附堤江丸に作物仕付べからざる事

一 往還筋並木大切に仕枝葉損さし中間敷候枯木風折雪折倒木有之時は可訴出之候尤代り木植置候様に可仕事

一 山里漆木枝葉に而も損さし中間敷候漆抓取候事は不及申蠟實穗有之所は大切に相守盜取中間敷事

附漆實雪折風折倒木枯木等有之時は訴出尤代り苗木を植付可申事

一 入會之山野銘々之持林にても草木之根を不堀取鶴之替等入べからず田畑山崩砂入等無之様に木を植立可申事

一 用水井路堰溜堤江浚川除等之儀農業之透を考普請仕立候様に常々心懸べし洪水之時は堤川除不切様に村中申合可圍之田畑可致損亡所者惣而小破之時早速修覆すべし申觸無之候とも請取場之道筋者常々無油斷作り可申事

附立合普請所之内急破之時杭木懸木其外入用之品々其所に而指出候はゞ追而普請入用割合之節可指次遣事

一 洪水之時堤川除圍ひ候節貝を吹鳴を立へし其所之者は十五歳以上六十歳以下之男は不殘可罷出

若不出合ものあらば檢斷大庄屋年寄與頭可詮議事

一 用水之掛引常々申合置尤井堰等仕立候時も一方之自由に不任惣而爭論無之様可取計之水論等之場は刀脇指弓鎗薙刀棒等を持出令荷擔もの有之は其科本人を重かるべき事

一 溜堀を埋道をせばめ秣場林際或は塚等を切添田畑不可仕出前々々無之處に道を付人馬出入不可仕堺之畔を切取べからざる事

一 御年貢皆濟無之以前に穀物他所へ不可出金納之ため米賣候はゞ先米納之員數を積米納程上来拵置次之餘り米を以可賣出之事

一 御年貢割付免狀相渡候はゞ村中并越石之者共迄不洩様に披見致させ不殘寄合候而致免割小物成共米銀壹人前宛委細に書付小百姓迄も疑敷不存様に其譯爲申聞右書付寫取らせ候而免狀之奥に紙を繼候而立合致披見候旨書記銘々印形可取置并御年貢仕候節村中小入用帳は御年貢入交一同に不成様に差別を立割合へし算違ひ無之様に入念御年貢方之儀は申渡日限之通相納候様に常々村中に可申聞事

附免狀披見之一札村中連印に而翌年□月中□差出事

一 御年貢米并在大豆共入念青米糲碎米粃糠石等無之様に精誠致吟味升目不切様可仕事

附升并秤之儀御定之外不可用事

一 御年貢米俵拵之儀二重菰にして尤米不洩様に厚くあみ小口入念かゝり摺繩にいたし俵振り龜相に無之様に可致候中札は米主取納役人印形たるべし上札は木に而も竹に而も拵其村支配代官誰

下何郡何村米主誰と書付小口に刺可申事

一 御年貢納候節庄屋方米主に銘々手形を遣し庭帳に入念書記可致印形候不念に而手形無之及出入後日訴出候共取上間敷事

一 御年貢米郷藏に納戸前には納役人藏組庄屋藏番立會封印可附置候藏出之節は立會封を切り可申事

一 御年貢金銀其外取立物之類庄屋方へ取集候時は扣帳に納候度々員數納主之名を書付印形可爲致候庄屋方より手形通帳渡置之扣帳にも押切印形致候而遣し置後日出入無之様可致事

附御年貢に差次候ものは不洩様に帳面に記置勘定不埒無之様に可致事

一 小物成米金錢運上物納之内年々増減有之物者時節後れ不申様に其時々訴出可申事

附年季受負物は年明節候無怠可斷出事

一 酒屋之儀從前に有來候外無願して造酒停止之尤勝手を以酒株讓渡度儀有之は願出可請差圖事

一 諸職人有來之外新規之職人於有之は訴出役銀を出し其職を可稼事

一 御用又者村用に而寄合之節村入用に懸り候食物之内酒肴は不及申何に而も美食之類決而給申間敷事

一 堤川除用水方を始諸普請之節人足等村入用懸り之酒肴何に而も給させ申間敷事

一 檢見並常々役人村々に罷出候節聊物入無之様に可取計之道橋掃除はいふにおよばず休泊り之宿不取繕聊失墜無之様に可致候且又休泊に而支度之儀は役人上下共に定之通に而價に合候様に輕

く取計何に而も其所有合之野菜干魚之類を以村方物入無之様に可賄之少に而も村方馳走に不相成失墜無之様に申付候條可得其意候酒肴鳥類菓子等用意致べからず樹木之菓實たりとも不可出之若右體之飲食村入用割懸候は、庄屋年寄組頭可爲曲事并無用之人馬集置百姓之隙を費し申間敷事

附役人を始召仕等草履草鞋調候は、草履五錢草鞋四錢之積り直に代錢を取べし此外調物いたし候は、其所直段之通代銀可取之若代錢不拂ものあらば郷使之者迄可訴之將又役人入用として下駄足駄類をはじめ何に而も不可調置事

一 役人を始召仕之者に至迄少分之物たりとも音信禮物等堅仕間敷候若かし物かり物或は押賣押買等致候歟或は非分之儀申懸候歟其外不作法之事あらば不隱置早々可訴之若隱置後日に相聞候はば村役人共可爲越度事

附役人召仕之者等役人判形なき手紙書付或者口上に而金銀其外如何様之事申來候共一切承引不可仕其趣早々可注進事

一 代官勘定人并郷手代郷使之者郷出之節者人馬斷次第差出し休泊に而は定之通可賄之此外役人足輕中間等村々に罷出候節は兼而渡置候印鑑之通地方役所角判押候差紙渡遣候條其差紙披見印鑑に引合於無相違者人馬差出し休泊りに而は定之通可相賄事

一 村方年中之諸役懸り小入用等之儀多無之様に隨分庄屋年寄入念可遂吟味候右入用帳之儀地方役人之印形を押渡置候條村中入用少も不殘當座に入念書記置立會之者も印形可仕候此外には別帳

拵置間敷候役人之印形有之帳之外檢斷大庄屋年寄組頭を掛り物割かけ候は、可訴出之毎年翌正月中前年之村入用帳寫候而本帳相添地方役所は可差出之寫帳者留置本帳は庄屋方へ可相返候間年中帳面無紛失様に可致置事

寛保二年戊八月

奥八郎左衛門
澤圖書
兵右近

右之趣御領分之者共急度可相守候此帳面一ヶ年に兩度宛耕作透之時分村中大小之百姓寺社門前店借地借り之者に至迄不殘寄合年寄庄屋を慥に爲讀聞常々此趣を合點仕罷在候様に精誠可申付者也

戊八月

豐田清兵衛
鶴飼又左衛門
藤澤郷左衛門
中川助左衛門

右御箇條之趣一々奉拜見村中大小百姓此五人組帳に除候者壹人も無御座候則御箇條書年寄庄屋方に寫置被仰付候通一ヶ條宛致合點急度相守可申候若此旨相背候は、如何様之曲事にも可被仰付候爲其連印仕御請如斯御座候以上

寛保二年戊何月

陸奥國伊達郡下保原村

白川
御役所

組頭 誰 印
庄屋 誰 印
檢斷 誰 印

一高何程

何村

檢斷 誰 印
大庄屋 誰 印
年寄屋 誰 印
庄屋 誰 印
觸次役 誰 印
同村 誰 印
組頭 誰 印

一高何程

何村

五人組之次第

一高何程

五六組頭

一高何程

誰

印

一高何程

誰

印

一高何程

誰

印

一高何程

誰

印

一高何程

誰

印

幾組有之其右之通可記

他村懸持高

何村

一高何程

誰

印

一高何程

誰

印

幾人有之其此通に可記

高合何程

内何程

當村百姓持高
他村に掛持高

民家無之

何郡

一高何程

何新田

此出作人高附

高何程

何村

高何程

何村

高何程

何村

高何程

何村

高何程

何村

高何程

何村

幾人有之其如此可記

右之通吟味仕帳面差上申所相違無御座候以上

何郡何村

五人組
 五郎右衛門印
 彦兵衛印
 藤之介印
 藤七印
 市右衛門印
 與五右衛門印
 源右衛門印
 權兵衛印
 林平印
 與右衛門印
 太郎右衛門印
 新左衛門印
 與五兵衛印
 久兵衛印
 惣左衛門印
 藤藏印
 平助印

大久保澤四組
 〆四拾六軒

五人組
 次郎左衛門印
 藤助印
 政右衛門印
 金左衛門印
 喜左衛門印
 長助印
 源內印
 小左衛門印
 伊左衛門印
 五大夫印
 五助印
 與左衛門印
 次郎右衛門印
 佐右衛門印
 重藏印
 金平印
 茂右衛門印

彌左衛門印

庄兵衛印

權三郎印

長左衛門印

半六印

平右衛門印

八兵衛印

織右衛門印

林右衛門印

助六印

六之介印

新右衛門印

半右衛門印

又兵衛印

次郎右衛門印

要介印

小源太印

五人組

五人組

五人組

五人組

八郎兵衛印

喜兵衛印

傳兵衛印

才二郎印

又左衛門印

次左衛門印

九右衛門印

次兵衛印

牛之介印

二郎兵衛印

甚左衛門印

藤兵衛印

仁右衛門印

勘兵衛印

傳吉印

平右衛門印

傳八印

川原宿組

三拾二軒

五人組

五人組

五人組

又右衛門印

傳左衛門印

次右衛門印

七右衛門印

友右衛門印

加兵衛印

安右衛門印

七郎衛門印

與左衛門印

與兵衛印

藤八衛印

市助印

五郎右衛門印

六郎右衛門印

市太郎印

與一右衛門印

久兵衛印

上宿拾七人組

拾八軒

五人組

五人組

吉右衛門印

定右衛門印

幸助印

金八印

次郎右衛門印

甚右衛門印

幸右衛門印

幸右衛門印

藤吉印

武右衛門印

左兵衛印

新九郎印

左兵衛印

清左衛門印

權太郎印

藤左衛門印

新右衛門印

上宿拾四人組

拾五軒

五人組

五人組

藤右衛門印

權右衛門印

勘右衛門印

長右衛門印

半四郎印

藤介印

茂左衛門印

八右衛門印

伊右衛門印

三右衛門印

與左衛門印

半三郎印

內記印

外記印

重藏印

兵助印

彥右衛門印

五人組

上野原組

拾六軒

五人組

近上組

五人組

新右衛門印

宇右衛門印

三左衛門印

彌七印

與左衛門印

長兵衛印

佐兵衛印

彌右衛門印

久三郎印

重右衛門印

久右衛門印

庄兵衛印

忠兵衛印

加兵衛印

四郎兵衛家印

安右衛門印

武右衛門印

拾六軒邊心組

本木組五人組

五人組

勘右衛門印

與右衛門印

彌右衛門印

清兵衛印

平助印

五人組

三左衛門印

源助印

平吉印

三七印

新左衛門印

五人組

庄左衛門印

彌八印

半介印

若^後郎印

惣右衛門印

本木
貳拾貳軒

常右衛門印

延享四年武州多摩郡伊奈村御條目被仰渡候惣百姓連印帳

〔東京府西多摩郡増戸村石川兵左衛門氏所藏〕

條々

一前々從 公儀被 仰出候御條目之趣は勿論自今以後被 仰出候御法度旨堅可相守事

一父母に孝行夫婦兄弟むつましく可仕候被召仕候ものは主人に奉公大切に可相勤候右之趣者名主組頭五人組兼々心付教立候様に可致候事

一親に孝有もの主に忠有もの夫に能仕兄を敬ひ弟をめぐみ

上々の御奉公よろしく勤候ものすべて其身の行ひよろしきものは名主組頭と五人組より其段可申出候事

一不孝不忠不貞兄弟親類と不和に而異見をも不用不儀之輩於有之は名主組頭五人組致吟味可申出候事

一吉利支丹宗門之儀御制禁之條不審成候もの有之者可申出若不審成もの隱置後日に顯候は、五人組共急度可申付候事

一村々之内鐵炮之儀前々吟味之上預置候外一切所持仕間敷候持主之外他人は不及申親類兄弟たりといふ共堅借し中間敷事

一兼而從 公儀被 仰出候通捨子堅仕間敷候惣而便りなき老人幼少之もの有之ば其所にて介抱致其旨可申出事

一捨馬之儀不仕前々之通相守可申候自然はなれ牛馬有之ば名主組頭立會養置早速可申出候事

一人賣買御制禁之條堅可相守召使之男女抱候節は宗門相改體成證人手形を取可差置候事

一前々より荒地之場所隨分地主精に入速に立歸り候様に可仕候若地主不及力に程之儀に候はゞ百姓仲間助合起歸り候様に可仕候事

附起歸り場所所有之ば不隱置早速畝歩書記可差出候事

一常々無油斷耕作精を入不似合遊事何に而も仕間敷候作物不精成もの有之は隨分異見致不用におゐては可申出候事

一獨身之百姓長病にて耕作成兼候節は五人組として助合田畑荒不申様に可仕候事

一用水之儀は先規之例を以兼々相定置渴水之節爭論無之様可仕事

一川通村々湛水節は名主組頭惣百姓罷出堤川除井堰溜池等切不申様に隨分防可申候勿論常々無油斷御普請大破に不及様に可相心得事

附用水溜池每春浚可申事

一境論無之様常々念入可申事

附古荒地川欠場所並新開等有之ば隱なく可申出尤新開發に可成所有之ば其趣注進可致候事

一訴訟其外不依何事に申出儀有之ば五人組に相斷名主組頭を以可申達候我儘致名主組頭申付を承

引不致もの有之ば吟味之上可申付事

一毎年百姓夫食可成類貯置凶年之節夫食等相願不申様に常々心掛可申事

一田畑譲り候節高拾石以下之もの分申間敷候若無據子細有之ば可申出事

一寺社に田地寄附之儀不相成儀に候間可得其意候若又無據子細有之寄附致候はゞ其趣可訴出候品により可申付事

一跡式之儀兼而書置仕名主五人組立會致加判死後出入無之様可仕事

附跡目無之もの不慮に死失候はゞ取持之品々名主組頭五人組立會相改可申出候事

〇 聲敷養子取組之儀名主組頭五人組立會能々入念重而六ヶ敷無之様可仕候事

一百姓家作之儀分限相應より輕可仕候目に立候普請致べからず候衣類之儀平百姓は不及申に名主組頭並妻子たりといふ共布木綿之外着し申間敷候惣而糸織卷物之類襟帶等にも不可用事

附男女共乗物並乗鞍馬停止候惣して奢ヶ間敷儀不可致尤斷なくして刀不可差事

一村繼之廻狀不限晝夜先々に相届手形取置可申事

一旅人相煩候歟又は酒に酔有之ば名主組頭立合所持之品々相改在所名承届介抱致置本復之後右之品々渡し可申候病氣重きにおひては可申出候事

一旅人に一夜之宿借し候共名主五人組に可相斷若無據義有之翌日逗留仕におひては名主五人組立會吟味之上留可申候尤怪敷もの一夜之宿も借申間敷事

附旅人何に而も取落置候はゞ早速追掛爲持可遣候事

一村々御普請人足扶持方其外被下候物之類當座に割合可申候尤年中村入用掛りもの之儀其時々名主組頭年寄百姓立會帳面に記致判形置無相違様割合重而出入無之様に入念可申候若不吟味之儀有之申出候は、詮義之上名主組頭可爲越度候事

附繼合勘定仕間敷候不依何事得心之上に而可致判形事

一名主組頭印形替候は、判鑑を以可申出其外之者共は名主方迄判鑑出し置べき事

五人組之儀家並最寄次第五軒宛組合借地店借寺社門前下人等に至迄諸事吟味仕惡事無之様に可仕候事

一田畑賣買頼納賣買並八重質之儀御制禁之條堅可相守縦年季質物に入候共不可過十ヶ年尤名主組頭五人組加判を以證文相替はし可申事

附名主組頭加判無之證文取上げ無之事

一十ヶ年季越候質地證文之事

但し右三ヶ條之儀は田畑永代賣買又は地主より年貢諸役を勤金主は年貢諸役不勤質地之類は前々より御停止に而村方五人組帳に書記有之所右之通不埒之證文を以訴出も有之候自今五人組帳名主組頭等より大小之百姓共の度々爲讀聞不致忘却様可仕候事

一名主自分に置質地は相名主又は組頭等之役人加判無之證文取上げ無之候事

一金子有合次第可請返旨證文有之質地は質入之年より十ヶ年過訴出候は、取上げ無之事

但右二ヶ條自今十ヶ年之内訴出候は、取上裁斷有之候右年數過候は、取上げ無之事

一享保元申年以來年季明候質地は自今年季明十ヶ年過訴出候は、取上げ無之事

一質物之儀能々致吟味慥成證人立可申事

一押賣押買仕間敷候他所より來り候對旅人不作法不仕輕きものに而もかろしめがさつ成義仕間敷事

一御鷹場村々は前々從 公儀被 仰出候通右御用向大切に相守可申候事

一御朱印傳馬並往還之次人馬先規より勤來り候義は不及申傳馬宿之外在々たりといふとも公儀御用は勿論御手前御用に而通候衆有之は晝夜雨風をいとはず人馬無滯出し可申候尤御朱印之外は定之駄賃請取繼送り可申候若用人通候者無油斷人馬出し大切に可仕候事

附往還之旅人にたいし不作法成義仕間敷候事

一町在々共諸事御用に付役人差遣候節賄之義 公義御定之木錢雜用可相渡候間請取之所に有合候物を以相賄馳走ヶ間敷事一切仕間敷候並召使之者仲間小物等迄右用事相心得可申候勿論金銀酒肴衣類諸道具何様之輕き品々に而も音物堅く仕間敷候尤金銀米錢當分たりといふとも一切借り貸し仕間敷事

附役人並召使之者迄非分之儀申進候者有之は早速可申出候事

一他所罷越一宿可仕節は名主組頭可相斷其外五人組方に相斷歸り候は、其届け可仕候事

附江戸並何方へ用事有之罷出候共其事相濟次第早速罷歸べし永逗留致べからず事

一不依何事他所より引越候者有之は致吟味慥成證人取其斷可申出事

附所生たりとも年久敷他所に罷有立返り候者有之ば其斷可申出事

一喧嘩口論有之は聞付次第出合取押可申候人を打立退候者有之ば押置可注進若捕逃候は、跡を慕ひ落着所を見届預置可注進見失候共何れ之道にも立退候者有之者其段可申出事

附喧嘩口論取押候節飛道具不可持出尤加勢不可致事

一火事喧嘩其外不依何事不慮之儀於有之は早速注進可仕候事

附火之元五人組切常々致吟味大切に可仕候自然村中之儀は不及申隣村に而も出火有之節早速

火元は欠付火を消可申候諸道具等會而綺申間敷候事

一他所より手負之者來り候は、名主組頭立合介抱致置委細承届可申出候事

一倒死候者有之は名主組頭立合委細相改所持之雜物相封附置死骸は所を不替番人附置早速注進可

仕候尤尋來るもの有之は出所等承届是又可申出事

一欠込者有之節追手之者慕來り其届け有之に於ては早速村中之者共馳集り随分取逃不申候様に致置可注進縦取逃行衛不被知候共其譯け可訴出候事

一三笠附之義堅仕間敷候若點者など仕候もの有之敷外より右體之者參宿等頼候共一夜之宿も借し

申間敷候右之段五人組切相改め常々心を附怪敷儀も候は、早速可申出候事

一博奕之諸勝負一切停止尤宿堅仕間敷候若相背もの有之は其科重かるべき事

附常々人之妨を致或は酒狂口論狼藉致もの又は耕作商等家業もいたさるもの有之は名主組

頭吟味之上可申出尤用事なくして出入もの多有之は五人組人を附吟味之上可申付事

一堂宮山林に怪敷もの不有罷様に常々吟味可仕候惣而行衛しれざる者差置申間敷事

一出家山伏其外何に而も不思議成儀致候もの外より來り候者勿論住居之者に而も早速可申出候は

やり神等有之候は、可申出事

一不依何事徒黨ケ間敷義仕間敷候惣而公事出入之儀有之は名主組頭五人組立會取扱之不相濟義は

可申出事

附荷擔致候もの有之敷公事をたくみ出入をすゝむる族有之は科重かるべき事

一往還道橋は不及申脇に而も常々無油斷繕之人馬通路無難義様可仕事

附有來道田畑へ切込申間敷候事

一川船渡船運賃之義古來定之通不可違亂事

附御城米積候船は不及申不慮之破船有之は近在之者共早速罷出相働尤荷物紛失無之様仕其段

可申出事

一神事祭禮有來通相勤新規之祭禮仕間敷候事

一新規之寺社不致建立並念佛塚庚申塚は、こら等有來候外不可致事

附住持神主替候節は届可申出事

一所々に而跡々より有來候造酒屋之外新造酒屋自今以後仕間敷事

附前々御改御免高酒造り來之外酒造仕間敷事

一勸進能相撲操狂言芝居其外諸見物之類可爲停止事

附遊女歌舞妓之類不可差置事

一 御林は不及中山林並四壁之竹木猥に伐荒し中間敷事
 一 毎年御年貢割付出候は、惣百姓出作之者迄爲致披見無相違様に割合可申候尤御年貢米金名主組頭請取之義手形取替置重而出入無之様に可仕事
 一 御年貢米拵之義名主組頭米見升取立會隨分遠吟味青米赤米くだけ米無之様仕尤米性致吟味升目不切様に俵に入念を入可申事
 一 俵拵之義前々引付之通隨分入念貳重かわに致かゝり候義は是又仕來り通りかゝり立すり繩に致能相無之様に拵立可申候勿論俵之内に入候中札國郡村名名主米見升取銘々相記印形致壹俵毎に入念可申候外札は木札に而も竹札に而も國郡村名御代官之姓名計り書記可申候尤札之裏に俵之貫目書付可申候若又貫目多致候とてかわ厚にて俵を拵取繕候儀堅仕間敷事
 一 御年貢米郷藏に詰置候節番人附置大切に相守可申候勿論川岸等出し置候砌村中百姓立會晝夜無油斷可相廻候若近所出火之節は早速馳集り相防ぎ可申候若又御米紛失等有之候は、惣百姓辨納可仕候事

一 御年貢米江戸廻し之節積舟之義貳年三年舟限り古舟又は舟具不足之舟に積み中間敷候事
 一 御年貢米夏秋冬三度割付之通百姓家より取集之名主持參相納候節念入請取書取之皆濟勘定之節相違無之様に可仕候且御年貢米之義は藏納之節念入手形取置き可申候事
 一 郷中番屋之義有來ごとく番人差置き不審成者有之ば聲を立可申候自然盜賊入候は、番人は不及

申處之者共不殘欠付とらへ可申候むごと殺中間敷候出合ざる者有之ば越度たるべき事
 右條々堅相守箇條之趣名主方に寫置正月五月九月一ヶ年に三度村中大小百姓に爲讀聞得と吞込候様に可致候苦違背之類於有之ば當人は不及申名主組頭五人組迄品により親類迄も可相答候也

右御條目之趣村中大小之百姓水吞下人等に至迄一人も不殘承知奉畏候尤常々無油斷吟味可仕候若違背仕候者有之候は、當人は不及申親類縁者名主組頭五人組迄何様之曲事にも可被仰付候且五人組之儀親類縁者由身之者は組合不申村中相談之上五人組相添連判御證文差上げ申所仍而如件
 延享四年卯五月

武州多摩郡伊奈村

田	安	名	主	庄	兵	衛
御	役	與	頭	市	之	丞
所		同	同	武	右	衛
		同	同	傳	左	衛
		同	同	立	朴	印
		同	同	與	兵	衛
		同	同	源	左	衛
		組	頭	三	郎	左
				衛	門	印

庄 太 夫 印
 利 右 衛 門 印
 藤 右 衛 門 印
 後 右 衛 門 家 印
 四 郎 右 衛 門 印
 傳 兵 衛 印
 甚 五 左 衛 門 印
 作 兵 衛 印
 八 右 衛 門 印
 七 郎 右 衛 門 印
 善 左 衛 門 印
 新 助 印
 李 右 衛 門 印
 清 右 衛 門 印
 喜 兵 衛 印
 又 兵 衛 印
 政 右 衛 門 印

惣百姓連印

孫 兵 衛 印
 後 家 印
 勘 十 郎 印
 新 八 郎 印
 善 右 衛 門 印
 九 郎 右 衛 門 印
 權 左 衛 門 印
 清 三 郎 印
 七 兵 衛 印
 源 兵 衛 印
 後 其 衛 門 家 印
 惣 兵 衛 印
 藤 家 印
 權 十 郎 印
 三 四 郎 印
 惣 右 衛 門 印

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
 同 年 寄
 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
 左 五 衛 門 印
 彌 兵 衛 印
 六 郎 左 衛 門 印
 吉 左 衛 門 印
 忠 兵 衛 印
 源 右 衛 門 印
 源 左 衛 門 印
 源 右 衛 門 印
 與 兵 衛 印
 三 左 衛 門 印
 清 左 衛 門 印
 五 左 衛 門 印
 惣 左 衛 門 印

茂 右 衛 門 家 印
 後 三 右 衛 門 家 印
 三 右 衛 門 印
 六 右 衛 門 印
 喜 左 衛 門 印
 市 左 衛 門 印
 長 兵 衛 印
 平 吉 印
 長 兵 衛 印
 嘉 七 郎 印
 孫 兵 衛 印
 庄 五 郎 印
 平 右 衛 門 印
 七 郎 平 印
 左 左 衛 門 印
 傳 七 郎 印
 左 平 印
 市 郎 右 衛 門 印
 長 兵 衛 印

宗 家 印
 後 三 右 衛 門 家 印
 嘉 兵 衛 印
 清 兵 衛 印
 火 右 衛 門 印
 長 五 郎 印
 善 左 衛 門 印
 義 左 衛 門 印
 兵 右 衛 門 印
 市 郎 左 衛 門 印
 左 五 兵 衛 印
 權 右 衛 門 印
 惣 右 衛 門 印
 藤 兵 衛 印
 宇 右 衛 門 印
 伊 兵 衛 印

孫右衛門印	平兵衛印	平吉印	幸助印
甚兵衛印	七右衛門印	金平印	五兵衛印
久兵衛印	甚衛門印	小右衛門印	次郎左衛門印
半六印	五郎平印	六右衛門印	利右衛門印
九郎右衛門印	八郎左衛門印	次左衛門印	定右衛門印
後六兵衛家印	七兵衛印	又長左衛門兵衛印	後十郎兵衛家印
市右衛門印	庄左衛門印	後又七家印	半兵衛印
吉兵衛印	左次兵衛印	後又七家印	利兵衛印
惣右衛門印	太左衛門印	九左衛門印	彦左衛門印
太郎右衛門印	後久右衛門家印	庭春印	後安三喜右衛門印
左平印	久右衛門印	源兵衛印	後三安三喜右衛門印
權兵衛印	太兵衛印	勘右衛門印	か印
四郎右衛門印	吉右衛門印	藤兵衛印	四郎左衛門印
五兵衛印	八兵衛印	伊右衛門印	源右衛門印
三郎右衛門印	長右衛門印	孫衛門印	權右衛門印
與兵衛印	久兵衛印	半衛門印	七右衛門印
五右衛門印	後三四郎兵衛家印	九兵衛印	彌右衛門印

長兵衛印	六右衛門印	仁左衛門印	孫右衛門印
六右衛門印	後伊右衛門家印	彦兵衛印	後長右衛門家印
甚左衛門印	藤左衛門印	勘右衛門印	後長右衛門家印
後三左衛門家印	庄右衛門印	甚兵衛印	後傳兵衛家印
彦兵衛印	紋右衛門印	十郎兵衛印	小左衛門印
長右衛門印	長兵衛印	市右衛門印	七郎兵衛印
惣右衛門印	彌左衛門印	馬之助印	三郎兵衛印
喜右衛門印	孫兵衛印	八右衛門印	善兵衛印
半兵衛印	次右衛門印	長右衛門印	與兵衛印
	由長右衛門地兵衛印	左五衛門地印	八右衛門印
	借地水吞孫衛印	借地水吞吉右衛門印	後六之丞地衛門印

延享四年卯五月廿五日

御領知御引渡し之節被仰渡候御請印寫

差上ヶ申御請書之事

伊奈村

一私共村々此度

御領知相成御引渡に付名主組頭惣百姓代罷出候所に左之通被仰渡候

一前々被仰渡候 御公儀様御法度之義者不及申上此度五人組御條目御帳面之面早速寫取大小之百姓水吞等迄不殘爲讀聞急度相守可申候尤承知仕候段百姓不殘連印之御請書差上ヶ可申候尤御帳面早速寫取返上可仕候

一御制札並御林有之村者御林札之義御書直に御渡し可被成候間御役所之差上可申旨被 仰渡奉畏候

一村々惣百姓印鑑之義は私共方取置可申候

一貳拾ヶ年以來免寫但し本紙相添持參可仕旨奉畏候

一村差出帳並村繪圖

一高反別帳

是は高反別石盛不違様に念入認差出し可申候

一荒所之義何年以前何年河欠けか山崩か其品々悉く相分り候様に隨分念入免狀にも突合少も相違無之様に認差上げ可申旨奉畏候尤荒地高之減米も認差上げ可申旨是又奉畏候尤當卯起還りの義は勿論前々起歸り改殘候分も有之は、有躰に書出し可申候

一村々反取帳

右八ヶ條之分早々認差出し可申候

一當卯年宗門改帳五人組帳未被差出村々は早々當御役所之差出し可申旨奉畏候

一當卯年御物成夏成金之儀先達而御割賦有之通り田安御役所之早速相納可申旨奉畏候

一私共御用其外不依何事罷出候節田安御役所へ罷出可申候御役所御仕舞之節は御代官様之御屋敷

に罷出御用相辨候様に被仰渡奉畏候

一御年貢米金之義御觸被成候御日限無遲滞相納尤年内皆濟可仕旨被仰渡奉畏候

右之通被仰渡承知奉畏候村々へ罷返り銘々大小百姓共被仰渡候趣逸々申聞せ相守り可申候依之連判御請書差上げ申所如件

卯 五 月

延享四年御料所五人組前書

覺

一從前々被仰出候御法度之趣堅相守重公儀御年貢諸役等大切に相勤尤親に孝をつくし下人者主に隨ひ夫婦中能兄弟としたしく友達は老たるを敬ひ物毎心を合村中區々無之様相勤可申候人に勝れて親に孝行成ものは其様子見届可申出候若不孝之もの有之は随分爲申聞承引不仕候は、無隱役所に可申出候且又老て子もなく幼少にて親にはなれ或者後家に成離支に成身上立がたき者有之時者一類共は不及申檢斷名主組頭五人組心を合引立渡世可爲致事

附農業之儀百姓第一之事に候處不精成百姓も有之田島作物出來も外は年々不宜又は荒所出來候類に而次第及困窮候百姓も可有之哉に付是等之分は五人組合之者別而心を附相互に勵み耕作可致候并水吞百姓其外稼有之村方は是又晝夜無油斷相働き百姓に不應遊山がましき儀に相懸り外稼等聊油斷仕間舖候若右體之者有之は吟味之上當人者勿論五人組名主組頭迄急度越度に可申付事

一切支丹宗門之儀者累年嚴敷御制禁候間常々堅相守毎年相改候節召仕下人等迄村中壹人も不殘寺請狀取置可申候萬一不審成者見出聞出候は、早速注進可申候若見通聞通に仕他所を顯れ候は、當人之儀者不及申檢斷名主組頭迄急度曲事に可申付候并村々高札場覆垣等損じ候は、無油斷修覆可申候事

一鐵炮打候事前々御法度被仰付候上は御運上鐵炮之外堅打申間舖候縦御運上鐵炮に而も猥に借貸候歟若御法度之鶴白鳥打候は、早々注進可申候隱置外を致露顯候は、本人并一類之者は不及申檢斷名主組頭迄急度曲事に可申付候事

附御運上前々差上不申者は殺生之儀は不及申鐵炮一切所持仕間敷候事

一五人組之儀者町者家並鄉村者最寄次第五軒宛組合五人組之内壹人宛頭を附互に諸事致吟味往還宿は御傳馬役百姓は村役耕作入念精出御仕置急度相守可申候若五人組之内御役致油斷候歟耕作不精に致惣而御仕置之儀少成共疎成者有之は意見致承引不仕もの候は、早々注進可申候内縁又は最員を以隱置惡事致出來候節者組中は不及申檢斷名主組頭共に急度越度可申付候事

附五人組に外れ候もの有之候は、早速可申出候若斷不申達内不届成儀出來候節は檢斷名主組頭過怠可申付候事

一御用之儀并諸役等被仰付候節者時刻違へず急度相勤可申候尤手代御用に而致廻村候節者人馬無滞指出可申候無益之人馬駕籠一切出申間敷候惣而村繼之廻狀晝夜風雨にかざらず無滞致刻付に相届可申候御用之儀に付召呼候節者書付之通晝夜共に早々參可申候且又百姓印判常々入念致所持若致紛失候歟又者替候節者檢斷名主組頭は役所へ相斷小百姓は檢斷名主組頭へ申達印判持參判形帳附置可申事

附百姓印檢斷名主組頭へ堅預ケ申間敷候若檢斷名主組頭も預り候は、双方共に急度越度に可申付事

一檢見春法之儀者名主組頭田主立會田毎に致坪菟壹坪に付何合毛と明白に記し致印形名主組頭致奥判壹村に限帳面壹冊宛可差出候尤惣田高畑高書分并反別書付誰持何合毛と上中下共銘々致坪菟書附差出可申候上中下之合毛不相應成所は明細相改相違相見候分は坪菟致させ候間有跡に可仕候檢見手間取候而は村々物入多百姓之稻菟取候障に成候間入念明白可仕候但畑方引方之儀去る午年か一向不相立候然共萬一格別之大損亡有之節は其趣前廣に見分請可申候尤田方檢見に準じ名主組頭畑主立會畑毎に何分損亡と委細吟味を詰帳面に記可差出候事

一御年貢免狀出候節者村中惣百姓并小作之者迄不殘立會無相違致割賦少も申分無之旨惣百姓連判仕役所に差出可申候尤名主方にも手形取置可申事

一 御米拵随分入念あらくだけ死米田腐青米赤米無之様に致儀拵等龜末に無之様に仕相納可申候尤米見升取惣百姓立合吟味之上相極儀毎に中札を入上札共に刺不落様に入念可申候勿論御年貢致納所候節は庭帳に附納入印形取置可申候名主方々も銘々米請取に致印形相渡可申候若致不念請取手形遣し不申後日に出入に罷成候は、吟味之上曲事可申付候事

一 御米江戸廻船上乗淺草御藏納に參候者組合之村名主相談之上に而年々相極實躰成者指登せ可申候尤請負廻又は他所之者に渡切に仕間敷候勿論船中に而如何様成儀有之候共儀仕直し爲致申間鋪候事

一 御城米萬一何國之浦に而も致破船候節は其浦之庄屋組頭を早々罷參明細に見させ置浮儀何程沈儀何程有之譯浦手形取早々注進可申候尤其所之庄屋方を早速訴出事に候間若浦の者共にも爲聞不申浮沈之儀數手形をも取不申候は、急度曲事に可申付候事

一 附逢難風萬一御米致打米候節は破船同様に相心得其所之役人へ早速注進可申候尤船中において怪敷譯も有之候は、吟味の上上乘之者曲事に可申付候事

一 御年貢米金御取箇相極候以後役所へ觸次出第日限無相違急度上納可仕候若日限相違之村々は吟味之上越度可申付候惣而御年貢收納之儀百姓第一之儀に候所近來者極月限皆濟不仕來春に至收納候事不宜候其年之作毛を以收納仕筈に候然所春に至收納仕候は、翌年之御年貢と申もの候向後は極月限皆濟之積に急度可相心得候畢竟御年貢遲滞之村方は役所に度々招呼村方へも爲取立手代相廻り其上にも滞候村方者越度申付候得は旁以百姓之爲不宜候故其年切に皆濟致候儀實

は百姓之爲に成候條惣百姓常々之暮方致覺悟御年貢米金極月限急度皆濟可仕候事

附御年貢皆濟以前他所穀物一切出申間鋪候勿論無差圖一切賣米仕間敷候事

一 村々におゐて萬一御藏近所に火事致出來候は、村中之者共火消道具を持早速駆着消可申候若致油斷駆着不申候は、急度吟味之上越度に可申付候勿論米焼失致候歟又は不足いたし候は、村中として急度辨納可申候事

附郷藏番人之儀村中吟味之上儘成者を撰晝夜無油斷附置可申候尤風雨之節は名主組頭も替り、御藏見廻可申候破損等も有之候歟又は漏坏候は、入念繕可申候并御藏近所におゐてたば、一切爲吞申間敷候事

一 一村之内に火事出來候節は早速火元を駆着大火に不成内に随分精を出し消可申候縱他村に而も隣村之儀は互に駆着消可申候其節少之物に而も盜取候歟又は沙汰なしに拾物等いたし後日に相聞候は、急度曲事に可申付候事

附火事盗人殺害人其外何事によらず不慮之儀有之時は早速注進可申事

一 兼而身體不成百姓者秋中名主組頭五人組見計ひ其者可納御年貢相考米金其猥に爲遣申間鋪候若致油斷御年貢收納以前遺捨欠落坏致候は、村中として御年貢辨納致させ候間油斷仕間敷候身躰纒に而輕き百姓は取分借金多不成内に奉公に出借金未進を濟一兩年之内又立歸百姓を勤候事肝要也然に子共下人多抱置行末之無覺悟當座を爲賄田畑を質に入其上質に渡候田畑之年貢辨候事も有之一村之内後者過半他郷之田地と成役所迄之及難儀候其節身躰潰候而も未進借金之價に

不足候是偏に名主組頭之油斷五人組之正しからぬ故に而候常々致穿鑿田畑之積もなく質に入分に過たる借金不仕様に堅可相心得候事

附百姓仲間之内相煩耕作仕後れ候者有之節は相互之事に候間五人組之内者不及申村中に而仕付御年貢收納時分も助合可申候事

一他村と田畑野山川境并水論其外公事出入致出来候節は名主組頭随分正路に及心之程者致内詮議慥成證據紛儀に候は、早々訴出差圖次第に可致候致不詮議に非分成儀最負之沙汰を以理分之様に申立他所他村に訴訟に罷出候は、急度越度に可申付候勿論役所無斷他領に訴出候は、名主并組頭共に過意申付候間入念相守可申候事

附差圖を以他領の公事訴訟に罷出候共不禮成儀不申達相手之者に對しがさつ我が儘成惡言申間敷候并村々用水之儀先規之例を以兼而相立置可申候若水論に罷成候は、渴水に不及内致注進見分請可任差圖候理不盡に致口論隱便無之致方候は、双方共に急度申付候間常々其旨可相心得候事

一不依何事一身致同心徒黨ケ間敷儀一切仕間舖候若忍々結徒黨村中噪敷仕候者及見及聞候而も隱置顯候は、名主組頭迄曲事に可申付候常々心入惡敷人之妨に成公事等致取持農業疎にして難見届者候は、名主組頭五人組之者致意見承引不仕彌不見届ものは不隱置早速可申達候若隱置詮議之上に而顯候は、名主組頭五人組之者迄急度越度に可申付候事

一本田畑之儀者不及申新田新開之地并見取場永荒起返り等之場所壹畝臺步成共無隱申達改請御年

貢差上可申候隱置訴人有之候は、當人は不及申名主組頭迄可爲曲事候事

附往還之道者不及申村中秣場田畑仕出し申間敷候尤前々石砂入山崩等之荒所有之者随分致手入起返り候様可仕候事

一田畑山林永代賣頼納地之儀者前々々堅停止に候間急度相守可申候若相背候もの於有之は可爲曲事候并人賣買之儀是又御制禁に候間堅相守可申候惣而男女奉公人召抱候節壹ヶ年に召抱候共國所相糺慥成人主請人を立召抱可申事

附田畑質物之儀者年季を定地主并五人組名主組頭連判證文を以質地取遣り可申候名主組頭等加判無之質地證文取上無之候條相對に而田畑質地之取遣仕間敷候若名主組頭五人組之内何ぞ遺恨を構加判仕兼候者有之者早々訴出可申候事

一盜賊惡黨之者有之時者村中之者早速出合召捕可申候若近郷を盜賊惡黨之者追來候は、無油斷出合其子細相尋追來候者迄留置早々役所に訴可申候并堂宮山林野河原に搦り不審成者有之候は、村中之者出合搦捕可參候若捕候儀難成候は、跡を慕行先之村に斷致置早々注進可仕候縦同類に而も其科を許し怨を不成様に可申付候萬一隱置候歟又者見遁聞遁に致外を顯候は、本人者不及申名主組頭越度に可申付候事

一市町に大酒を吞醉狂いたし百姓町人に不似合法外之狼籍等致候は、無隱可申出候見遁聞遁に致惡事出来候は、當人者勿論詮議之上同道之者迄曲事可申付候事

一往還之宿々并在々村方におゐて欠落之者諸牢人并宿なし惣而行衛不知者に一夜之宿も貸し中間

敷候飛脚之者其外獨旅人者能々見届儘成儀有之候は、宿場者問屋年寄に斷一夜者貸可申候

一村々に而は一切宿仕間敷候若不致候而不叶事に候は、名主組頭吟味之上役所に訴之可請差圖候且又親類縁者之好身又は所出生之者成共數年他國に罷有立歸候は、先々に而之儀能々致詮議様子見届差置可申候然上は僧俗男女共に子細を書付役所に相斷差圖を請可申候事

附道心者山伏行人も僧証扣物貫等之類に至迄行衛不知ものに一夜之宿も貸中間敷候事

一衣類諸道具其外何にても儘成證人無之質物一切取中間敷候若内證に而隠質物取申由相知候は、越度に可申付候事

一人請加判猥に致間敷候近き親類歟又者出生能存知儘成者に候は、名主組頭に相斷請人に立可申事

一能操歌舞妓相撲其外何に而も見物之類并淨留利語等村々之儀者不及申村境領分境におゐて芝居爲仕中間敷候事

附遊女歌舞妓子其外右體之者一切所に置中間舖候事

一似せ藥種毒藥賣買一切仕間敷候若相背者有之候は、急度曲事に可申付候事

一牛馬致賣買候は、跡々之出所改請人立名主組頭に斷賣買可致候内證に而怪敷牛馬賣買仕間敷候事

附作場牛馬一切はなし中間舖候事

一御林御立山之竹木は不及申枝葉成共一切伐採申間敷候若盜取候者有之候は、召取注進可申候深

山にて當分難知と存盜候歟又は中合伐取燒畑等に致候事外が露顯致候は、詮議之上名主組頭五人組迄急度曲事に可申付候縱百姓自分に仕立置四壁之竹木に而も無斷猥に伐あらし中間舖候其外無據入用之節は役所に相願差圖次第に可仕候事

附野火一切附中間舖候事

一川筋之村々溜水之節者不限晝夜近村之者立會堤川除押切不申様入念相圍可申候若危場所相見候節者最寄之村々繩俵菰杭柱鉦持籠持寄堤損候所圍可申候尤堤に有之候竹木芝草葎萱之類一切苧取中間敷候事

附堤川除破損之所は春中百姓手透之内致修覆可申候杭棚又は蛇籠等之損候處は致見分書付を以訴之差圖請成長々自分に仕可申候春中修覆も不仕及大破候節訴出候は、可爲越度候條油斷仕間敷候事

一海川運上物有之處は無隱可申出候縱少分之儀候共隱置外が運上を以願出候者有之節者吟味之上願之者に申付候間其節訴訟仕間敷候事

附魚鳥運上を以請負有之海川に而請負人之外一切外之者魚鳥取中間舖候若相背者有之候は、急度可申付候事

一前々被仰出候通三笠博奕賭之諸勝負堅致間敷候若相背者有之ば五人組之内が檢斷名主組頭迄急度可申出候若隱置外が相知候は、當人之儀者不及申に檢斷名主組頭五人組迄可爲越度候并宿致候者本人同前之曲事可申付候尤組合之村々互に心を附無油斷遂詮議堅相守可申候事

一旅人其外何者に而も相煩候歟又者酒醉道路に倒臥候もの有之候は、致介抱行衛開届通し可申候若相果候は、名主組頭立會其者之年齡并衣類諸道具荷物等明細書付早々注進可申候勿論手負并倒者有之候は、晝夜にかぎらず早速申達見分請可任差圖事

附所之者不慮にあやまちいたし疵坏蒙候者有之候は、早速斷可申候事

一御傳馬宿に定助郷之儀は晝夜風雨にかぎらず人馬無滞出之間屋任差圖急度相勤可申候少成其疎略成儀致候は、穿鑿之上名主組頭曲事可申候并馬士人足往還之面々對し致慮外歟荷主并宰領合意無之途中に而荷物附替候事堅爲致申間敷候勿論大助郷之儀者問屋役人相觸次第可任差圖候縦月行事非分成儀申懸候共右役大切に相勤追而願可申候勿論百姓勝手に而往還に罷出駄賃取之候共御定之外駄賃人足賃共に多取申間舖候事

一他領之役人衆并往來之侍衆在中通候節人馬雇度由申候は、何方に通候旨主人其者之名苗字又は先々之駄賃人足賃拂帳見糺無相違候は、御定之駄賃錢相考道法に應し取之無滞先々之村迄附届可申候御傳馬宿に無之連少も疎略遅々致間舖候事

一前々村々請取之往還道掃除場之儀掃除廻り次第早々罷出掃除可申候並木有之候所枯失候はば毎年植立可申候并在々村々之道橋惡所は無油斷相拵人馬通路不自由無之様可仕候事

一金銀は不及申衣類諸道具不依何にひろいもの致候は、村々は名主海道邊は問屋に申間差圖を請可申候萬一隠置後日に顯候は、吟味之上急度越度に可申付候且又衣類諸道具其外何にても怪敷物より賣致候もの有之候は、一切買申間敷候事

一店借借地之者差置候共其出入念相改體成者に候は、名主組頭に相斷請人手形取之差置可申候勿論宗門等吟味仕體成譯役所に相斷可申候事

一新地之寺社は不及申堂宮庵室并はこらにても一切建立仕間敷候并念佛題目庚申供養之塚石塔坏御年貢地之内に建申間舖候事

一村々におゐて堤川除堰橋御普請人足相勤候者に被下置候夫持方米其外在大豆代米當座に立會急度割渡名主方に銘々證文取置可申候縦何様之指引有之候共壹錢に而も次合勘定致間舖諸役夫錢米入用等之儀者名主組頭立會吟味之上品々書取御年貢外差引に可仕候勿論帳面に記し納候者請取人々不殘判形取置之可申候并夫錢米出候者方名主方何之入用何程と致高割に壹石に付何程宛に當候譯委細書付出置可申候村々諸入用之儀費之品無之様常々名主組頭百姓代立會致吟味帳面年々差出可申候尤委細相改候間入念可申候事

附縦少分之内割合出候共其品々書付名主請取出し不申候は、早速百姓に可申出候若其節不申出年經而相願候分は取上無之候事

一郷留番所有之村方は兼而堅申付證文取置候通郷中惣百姓申合晝夜大切相守可申候事

附女若衆家來其外怪敷者能々致吟味體所證文無之者は一切通し申間舖候自分紛通候者私を以見通に致後日に露顯致候は、番人は不及申名主組頭曲事に可申付候事

一百姓持來候田畑子に讓候儀小高之百姓者勿論持高貳拾石内之百姓は一切分々申間舖候若割渡不申候而不叶儀候は、其譯書付役所に申達可請差圖候事

附跡式之儀は不依老若病中に致書置名主組頭加判を以取置死後諍論無之様可仕候若愚成百姓書置之心懸も不仕者有之は名主組頭并妻子親類等立會病人に申含所存之程書置可申候壹人立候而書付仕間敷候事

一百姓衣類之儀布木綿絹紬之外何に而も着用仕間敷候勿論袖縁半襟等にも絹紬之外宜き品一切用申間敷候事

一百姓町人分限に不應家作等仕間舖候尤境目并往還之道の外並か少も作出申間舖候事

一百姓聲取嫁取之儀身躰相應を輕可仕候勿論乗物乗鞍等は不及申荷鞍馬にも毛氈其外結構成蒲團等は持合候共敷申間敷候并祝言振舞家ひろめの振舞にても一汁三菜を限可申候若相背におゐては後日に相聞候共急度過意可申付候事

附神事祭禮法事齋非時隨分輕可仕候并婚禮致候者水浴せいたし候事堅仕間敷候若相背候もの有之候は、早々役所へ訴可申候事

一夫錢帳五人組帳宗門人別帳年々差出可申候金銀米錢請取渡算用拂之儀互に手形取置可申候證文無之出入一切仕間舖候事

附不依何事村中之者寄合候節惣百姓に懸酒肴何にても給申間敷候事

一町在々に而跡々役所帳面に附候酒屋之外新規に酒屋一切致させ間敷候尤造酒之儀者酒株無之者一切可爲停止事

一寺社之代り目並町人百姓逃失候歎又は身躰潰候歎何によらず村中人數増減有之節者書付を以相

斷可申候事

一村々名主組頭小百姓に對し非道成儀有之候は、早々可申出候并百姓之内我が儘致名主組頭差圖に隨ひ不申者有之候は、無隱訴可申候急度遂吟味申付候事

附諸用無之名主組頭百姓共陣屋近邊に罷出申間舖候一同之用事書物等差出候節近邊組合替々壹人宛名主持參可申候事

一手代其外召仕之者共不叶入用之物有之自然相調候事有之節は世間直段並に致急度代物請取賣渡し可申候所に無之物を他所へ取寄直段下直に致まいないの様に賣渡候は、後日に聞及候共急度越度に可申付候事

附召仕之中間并手代召仕之小者在々に參何様之儀申候共金銀米錢之儀者不及申何にても貸申間敷候尤人馬一切出申間敷候縦暮に懸り候共一夜之宿も仕間敷候公用に付差出候節者手代共方狀を添差越可申候間無左者には一圓人馬出申間敷候事

一手代其外召仕之者共檢見其外御用に付村方に罷出候節金銀米錢衣類諸道具は不及申其外少之物に而も音物一切仕間敷候若相背候は、急度曲事に可申付候村々に而泊晝休致候共扶持方米代鹽噌薪代請取野菜は所に有合之者差出水夫節人所役に出可申候若有合之物に而も酒肴其外所無之物を代物取候而も曾而出し申間敷候其旨急度相守可申候事

附手代其外召仕之者共於在々押賣押買又は貸借等に付不届成儀申懸がさつ成致方候は、無隱早々我等方々直々可申出候隱置後日に相聞候は、名主組頭急度越度可申付候事

一町方在々共に御仕置其外何によらず百姓町人及迷惑候事有之候は、少も遠慮不仕有體に可申出候事

一御料所國々百姓共御取箇并夫食種貸等其外願筋之儀に付強訴徒黨逃散候儀は堅停止候處近來御料所之内にも右體之願筋に付御代官陣屋の大勢相集り訴訟致候儀も有之不届至極候自今以後嚴敷吟味之上重罪科可被行候條此旨百姓共々急度可申付置旨被仰出候間可奉得其意候事

右之趣村中小之百姓并前地店借地之者又は妻子召仕等にも度々爲申聞急度相守可申候若此旨少成共相背候は、檢斷名主組頭可爲越度候以上

朱書一此文言五人組書仕通末書也次に百姓代組頭名主書也

但五人組も初斗一行次よりは二行にてよし

右御箇條之品々堅相守可申候若違背之輩於有之者如何様之曲事にも可被仰付候尤御條目名主方に寫置正月五月九月年に三度宛村中惣百姓水呑百姓に至迄不殘呼寄爲讀聞可申候書面之通五人組相改差上申所相違無御座候以上

延享四年卯三月

竹垣治郎右衛門様

梁川 御役所

右者奥州伊達郡上郡河岸の出勤之節書寫之者也

寛政十二稔庚申四月

藤原「宗成」花押

寛延四年越前國丹生郡杉本村五人組御仕置

〔福井市中谷文作氏所藏〕

覺

一御仕置之儀前々被仰出候御條目之通彌可相守候大小之百姓男女共に正直を專とし人柄身持惡敷者には異見差加へ末々之もの迄すなむになり候様相互に心懸可申候度々異見差加へ候而も聞入不申者有之は五人組之内を可訴出庄屋長百姓之儀別而身持相體勘定等末々之者迄疑敷無之様正路にすべし若村役人共非分之仕形有之は可申出詮儀之上急度答メ可申付事

一農業精出し無油斷田畑手入可致耕作之すき有之は不依何事助力に成候稼晝夜共に心懸候而暫時之間も無益に暮し中間敷候田畑損毛有之は注進可申出吟味之上定め之所も檢見可致候立毛内吟味之義無依怙量厩正路に吟味を詰檢見之節帳面可指出事

附損毛注進之儀能々見定可申出少分之損毛を大造に申出候は、吟味之上過意可申付候

一御年貢米金納方申觸候時節無滯急度可申納候若納方不埒之者於有之は當人は不及申五人組並庄屋長百姓急度可申付候御城米之分米忝入念遂吟味上米可相納候俵拵升目等入念津出廻米可仕候

若惡米等取交相廻候に於ては急度曲事に可申付事

一堤川除御普請所之儀は不及申道橋等其外自普請所迄平生致手入小破之内繕ひ不及大破損心懸可申候庄屋長百姓無懈怠可申付候洪水之節は晝夜に不限惣百姓早速罷出防ぎ可申候前々御普請所たり共五拾ヶ年以前之證據書物無之場所は御入用不被下置候段度々被仰渡候間其旨可存候乍然格別之大破之儀は御入用にも可相立歟にも候得共近郡近國之例にも相成候へば此儀必定御普請被成下候には無之候間無怠常々之手入專要に可相心得事

一村中に新開切添見取場出來候は、可申出右之類並荒地起返り之分前々注進申おくれ候而只今に至申出之儀難成儀と相心得候類有之は不差控此節可申出候前方之怠りは差免し向後御取箇附可申候若隱置吟味之上相知候は、急度曲事に可申付事

一村方にて異變之事有之は早速可訴出惣而無謂出入立かたき訴訟申出候儀公事取持等仕間敷候公事訴訟理非辨へ無之者には能々異見申聞無益之儀に村出不仕様庄屋長百姓心を付可申候村方人別之内職商賣之品不相知者又は用事之品不知候而他所へ度々出候者有之者五人組庄屋長百姓に相斷庄屋を役所へ可訴出他所へ右之類入込候者無油斷相改不審成者へは一夜之宿も借し申聞敷候勿論遊女之類隱置候歟博奕三笠付之宿仕候者有之は當人は不及申庄屋長百姓其五人組迄曲事可申付候

一雖帶刀之者一切差置申間敷候前々を謂れ有之差置來り候は、姓名其子細書付可差出事
一町場船着之所は諸商賣多く人柄不宜者有之由相聞候間面々身持相慥之他所之者へ非分かさつ成

事仕間敷候村方之者他國近郷の出候節往還筋にて慮外等不仕様可申付候村中分限不相應之家作仕間敷候男女共に衣類食物奢がましき儀不致儉約を用ひ可申候御年貢皆納不濟内諸勸進寺社奉加寄進等仕間敷候

一前々凶年之節貸渡候夫食種貸之分永年賦被仰付此已後夫食拜借不被仰付積りに候然ルに損毛凶年之節は夫食相願候儀と心得夫食之貯不仕候は、凶年之節必至と可及難儀に候夫食願候而も通例之儀に而は此以後貸渡候儀難成筈此度猶又江戸表にて被仰渡候間能々相心得凶年之夫食貯之儀大小之百姓分限相應に貯置夫食之願申上間敷候常々夫食心懸候得ば急難之差支無之候間庄屋長百姓共勸辨仕相考置可申候其心懸無之候は、可爲越度事

一檢見其外御用に付廻村之節手代に至る迄泊休に而木錢米代可相渡候其村に有合候野菜を用い他所を買調差出候儀一切致間敷候勿論泊休に而魚鳥酒之類堅く出し申間敷候若入用之節は代銀を以買上申事に候手代書役手廻り召仕又者によらず非分之儀申懸候は、不隱置不依何事早速我等に直に訴可申候勿論手代書役召使之者へは金銀米錢衣類諸道具何に而も音物禮物請申間敷旨嚴密に申付候其旨可存候若右體之儀村方者致懸候は、後日に相聞候共急度越度に可申付事

一村入用之儀明細に書譯紛敷儀無之様吟味詮儀を詰帳面仕立惣百姓連判仕毎年四月中限役所へ可差出候若右書上候外入用臨時に割懸候は、可訴出候吟味之上庄屋長百姓急度答め可申付候御用に付村役人共役所へ罷出候儀成丈け度々不罷出候様御用之品取集め罷出早く在所へ罷歸り候積りに心懸無益に逗留仕間敷候並私用に而他國近郷へ罷出候入用村方へ割懸候段相知候は、吟味

之上急度可申付事

右之條々大小之百姓水呑地借り店借り下男下女迄不殘讀聞せ急度相守可申候若違背之族於有之は詮議之上御仕置に可被仰付候間其旨可存候

被仰渡候ヶ條五人組申合連判之覺

- 一 累年被仰渡候通大小之百生五人組を極置當村百姓壹人も右組合にもれ候者無御座候若此已後五人組にはなれ候者御座候は、早速申上御下知を請可申候右之類御訴申上候は、後日あたを可成と氣遣に存候は、密に書付を以可申上候
- 一 前々被仰出候御法度之趣相背間舖候若相守不申放埒成者有之候は、五人組を意見申聞其上庄屋長百姓申聞候而も承引不仕者は早速御役所可申上見のかしに仕御吟味之上相知候は、五人組共に御仕置可被仰付旨奉承知候
- 一 御年貢御割付免狀相渡候は、早速寫庄屋宅又は會所等へはり置惣百生立合御本紙と讀合寫度者は寫取可申候割合非道之儀有之庄屋へ相斷候得共分明に不爲相知埒明兼候は、早々御役所御訴可申候
- 一 御年貢米升取村中相談之上相極御定之通米任入念御藏におゐて欠米少も無之様計り立俵拵之義御定之通り入念御藏へ詰置御下知次第津出御藏納可仕候御藏詰米に惡米納候儀は決而仕間敷儀

に付御年貢米之内にも御城米者兼て心掛上米相納可申旨急度被仰渡奉畏候

- 一 御年貢米皆納前新米賣渡申間敷候能米を拂不宜米御藏詰仕候は、當人は不及申庄屋長百姓五人組迄曲事に可被仰付候御米納不申以前縦いヶ様之儀有之候共百姓辨納可仕候
- 一 萬一凶年損毛に付御年貢惡米金納之儀は御檢見御廻村之砌其村出來米入御覽候上可奉願候
此儀惡米申立候程之大損毛年には相應に御引方被仰付候間作德之余力を以納米はいヶ様にも上米相納候儀可罷成と被思召候畢竟御年貢は出生之米穀高々纔之納に付損毛年御引方被下候年も大概に而は惡米金納申上間敷旨被仰渡奉畏候
- 一 御年貢割合村入用百生人別割出金銀少分之儀にても無手形取遣り仕間敷候假初之割合にも其子細分明に小百生迄可申聞候上納物取立次第庄屋方々年々皆濟手形銘々百姓共は早速可遣候不依何事に百姓印形仕候儀得心之上印形可仕候庄屋長百姓申付候連不得心之儀に印形仕追而爭論申出候族は急度可被仰付候庄屋共は押而印形取候儀相知候は、急度御答可被仰付候
- 一 御年貢諸事懸り村入用多少共に取立候節小前百生庄屋長百姓請取印形遣候節押切帳仕立置其帳面へ納人之印形取置可申候
- 一 御檢見前差上候百生内見帳合毛付出依估量履有之様被及御聞候此段別而向後入念田主銘々立會正路に付出し可申候
- 一 右内見帳之内縦へば壹反歩之内壹畝貳畝毛附有之殘ル分付荒旱損水損に而候得共壹反歩不殘皆無と書上候様成儀は有之間敷事に被思召候間自今五歩拾歩に而も毛付有之候は、仕譯付出し縦

稗作仕候共有體に記差上可申候若相背合毛相見候場入交り候場所皆無と書出候は、御檢見坪刈合毛其田畑不殘へ御取箇可被仰付由奉畏候

一 田畑荒し農業おろそかに仕候者は五人組切に改之庄屋に可申届候申付候而も怠り候者は御役所へ御注進可申候作り付油斷仕候哉庄屋長百姓並五人組互に折々野邊見廻り纒之所も田畑明置不申様仕付させ可申候

一 用水懸引申合争論仕間敷候用水懸引普請等之儀に付口論仕出し及物持出荷擔致候者は重き御科に被仰付候間若狼籍之仕方仕候は、本人は不及申出合候者迄急度御科可被仰付旨奉畏候

一 田畑山林屋敷永代賣御停止に候面々持分境目争論無之様常々吟味可仕置候若質物に入候は、年季拾ヶ年を限り可申候其永年季に仕及出入候共御取上無之旨奉畏候證文に庄屋長百姓加判仕取遣可仕候庄屋田畑質物に入候時者相庄や加印仕筈に候得共相庄屋無之村は長百生百生代加判可仕相對に而無加印證文遣し田畑質物に入候は、双方共に御科可被仰付候

但質物に入置候田畑屋敷金主の御年貢諸役相勤地所無之者の御年貢諸役相勤申間敷候

一 百姓田畑譲り分ヶ候儀前々被仰付候通庄屋は持高貳拾石百姓は拾石内之者は子孫へ田畑屋敷配當仕間敷候跡式之儀に付存寄有之候は、死後之儀兼而庄や長百生へ咄置及末期親類共寄り書置致後々不及出入様面々心懸可申候

一 御年貢引負可申體之百姓有之候は、五人組詮儀仕庄屋に申達し收納之米穀押置可申候油斷仕欠落逐電爲仕候は、五人組中の急度辨納可仕候

一 壹人身之百姓相煩耕作不能成時は親類五人組之内の助合田畑荒し申間敷候退轉之百姓有之時は家株相立可申候跡之田畑外之もの持添致候儀御停止に候然共子細有之候は、奉願御下知を請可申候

一 御林御立山御除地之竹木苗木迄少も伐取申間敷候若猥成儀仕候は、當人は不及申庄屋長百姓迄御僉義上御仕置可被仰付候

一 一村之内に御座候古木勿論自分之持林四壁之内に而も往古の立來り候古木自由に伐取申間敷候不叶儀有之候は、其品申上御差圖次第に可仕候

一 道橋掃除常々無油斷様可仕候往來旅人馬雇候節猥之賃錢取申間敷候水出等に而橋落又は洪水に而在郷往還川越入候節は庄屋差圖仕旅人往來爲滯申間敷候武家方之分川越賃取申間敷候

一 井路溜井之儀水下村々申合農業之透次第無懈怠可申候御入用御普請御國役御普請所川除以樋破損無之様心を付可申候以樋之内に居候魚など取候逆破損出來候様仕間敷候

一 井路堀溜井道を挾御林其外除地に田畑仕出候は、當人は不及申庄屋長百姓曲事可被仰付候

一 村入用之儀御取箇も同意向後御吟味可被遊候由奉畏候年々百姓立合小前割帳小百姓まで連判仕來り候右連判揃候帳面毎年四月中御役所へ差上御改を請御押切印可被下之御本紙御控認村切に差上可申候

但宗門帳并五人組御仕置帳毎年二月中村切に認可差上由被仰渡奉畏候

一 御役所へ差上候村入用帳之外内證割帳有之様被及御聞候右内割御停止に被仰付奉畏候其外御普

請願に付近郷立合出金村入用又は寺社寄進營百姓出入等迄向後堅く別帳不仕御年貢之外惣百生に掛り候入用は不殘村入用帳一冊に全部仕前割後割與申義も相止可申旨奉畏候

此村入用之儀庄屋長百生御役所罷出御年貢米納方入用御普請願近在立合之入用年中諸御用御請合御檢見に付入用御見分御檢使様方御廻村之節入用其外氏神菩提所寄進惣百生得心之上

合力銀大概書面之通に御座候右之内隣郷立合出金御米納入用は別帳仕御吟味を請可申候

一村入用帳内證割堅く御停止に被仰付候付而は百生難儀仕候筋も御座候は、譯立候入用は是迄内證割に入候義も御開届可被下由奉得其意候向後内證割庄屋共觸出候共小百姓迄出銀致候事無用に可仕候就中越前國御取箇之儀外之御代官所に引合候而は納り少きに付無益之村入用減少仕御取箇段々相増上納仕候様百姓心懸可申旨被仰渡奉畏候

一村々御普請所之義に再應被仰渡候通甲子年々五拾ヶ年以前之證據書物有之分は從御公儀様御普請被仰付候付御入用米金被下置候節正路に早速割渡請取印形取置可申候尤右入用之儀年々御吟味之上不分明之入用方も有之候得ば高懸りには不被仰付庄屋長百姓辨金に被仰付候間隨分無益之入用無之様可仕旨奉畏候惣體自普請所に而も年々取繕不申龜末致置候は、越度に可被仰付旨是又奉畏候

一庄屋長百姓納方村入用等に付不埒依怙最負之筋有之候は、幾度も其子細其者に申談譯立候様可仕候若及三四度に而も割元之者承引不仕候は、直に訴候趣相手相斷御役所可申上候御吟味之上不埒之筋有之候は、庄屋長百姓共に役儀被召放品に御仕置之筋にも罷成旨被仰渡庄屋

長百姓共に謹而奉畏候

但此儀村之内にも文盲愚痴成者も可有御座義に付譯立候儀も承引不申庄屋長百姓之非分之様に申者も可有之候左様之者へは納得致候様庄屋長百姓可爲申聞候而も不理屈申訴出御會儀之上不埒に候は、其訴候者急度可被仰付候此已後村入用格別減候様勘辨可仕候

一惣而公儀之儀に付庄屋宅又は會所等へ寄合候節給物入用村割仕間敷候人別相應之給物持寄支度可仕候公役に事寄酒肴買調酒狂及口論露顯仕候は、御法度破り候上は庄屋長百生迄急度御科可被仰付候且又庄や長百生御役所罷出候節駕籠に乗り申間敷候御用濟候は、其日罷歸り成丈け逗留仕間敷候

一家作衣類食物縁組養子等奢かましき儀仕間敷候別而妻子厄介共結構成る衣類等着用不爲仕百生相應に可仕候不相應成儀有之段被及御開候は、急度御答可被仰付由奉畏候百姓に不似合遊藝仕間敷候

一諸祝儀之儀近年段々被仰觸候得共今以聲取嫁取新宅振廻葬禮法事等之取行ひ百姓分限不相應奢かましき義有之由被及御開候間却而諸祝儀法事等向後只今迄之格半減に可仕候嫁取聲取之節若き者共石打水おびせ其外狼籍に而儀付振廻を申懸候族有之放埒に付右之類向後有之相知候はばかろき事に而も狼籍之本人徒黨之者迄急度過意可被仰付旨奉畏候

但捨子仕候者承候は、他領之者に而も可申上旨若捨子有之候は、養育仕御注進可仕候

一石塔塚之類田畑山林道路障りに可成所御斷不申上建申間敷候新地之寺社建立新規之神事祭禮

取立候儀前々御停止に候有來ル寺社道場新規之破損共向後隨分輕く可仕候入用之儀過分割懸申間敷候家並人別に割懸候節は百姓得心之證文取揃其子細御役所へ御斷申上候様可仕候

一 大小之百姓五人組宗旨帳に押候外印判持申間敷候印形替候は、其段庄屋に斷可申候小人數之村方は百姓之印形庄屋時々可相改候多人數之分組切に五人組に無懈怠改候様可申付候當人病氣差合に而難罷出名代出し候節親子兄弟近親類之外むさと印判預ヶ申間敷候

一 御廻帳無滞相廻し可申候觸留村々御役所返上可仕候

一 百姓は不及申召使之男女に而も勝れて正直孝心忠心實體成者候は、其行跡慥成義共書立御訴可申上候勿論惡心文盲成者は庄屋長百生五人組を度々異見差加へ善心に成候様異見可仕候いか様に仕候而も非道直り不申剩村中之風俗迄惡敷成候様成者は惣百生申合連判調御役所可申上由奉畏候

一 奉公人之請に立候儀親類縁者好身之者は格別其外はむさと請人に立申間敷候子細有之他人之請に立候節は庄屋へ相斷庄屋方に而帳面に記置可申候左様之儀無之却而及出入候は、當人庄屋迄越度に可被仰付候

一 諸浪人差置候儀親類縁者は格別無據子細にて差置候は、庄屋へ斷可申候百姓は勿論御代官所に罷有候出家山伏行人虚無僧鉦扣穢多乞食非人等に至迄盗人中着切之類宿仕間敷候相背候は曲事に可被仰付由右之類怪敷者は堅借店に差置申間敷候町並店借人之儀出生承札付届いたし請人取差置可申候

一 公事訴訟質入其外庄屋手前に而埒明申儀を庄屋長百生私曲構へ候歟又は證文書付等加判不仕差滞致迷惑候は、其段御訴可申上候

一 公事訴訟に付目安御裏書御差紙之儀御呼出之節御役所へ持參差上候定に御座候若其砌病氣に而難罷出節は名代を以御斷申上當人罷出候節御裏書御差紙急度返上可仕候

一 村方に而能芝居勸進相撲見せ物其他不依何事人寄仕候儀仕間敷候旨被仰渡奉畏候遊女野郎之類差置候義前々御停止に候此度別而被仰渡候者御支配下之義御料御私領入組も有之に付右之類隱置候風説被及御聞候は、急度遂吟味可申候其村は不及申隣村も心を付可申候若相背外事に而御吟味被成露顯仕候は、庄屋長百姓迄御科被仰付當人は急度可被仰付旨奉畏候

一 鐵炮之儀先年御吟味之節書上候獵師鐵炮威鐵炮之外百生所持仕間敷候前々所持仕先年御改之節注進致おくれ今に所持之分も有之候は、可申上由被仰渡奉畏候隱置候は、本人は不及申庄屋長百生五人組迄急度可被仰付由奉畏候

一 火事有之節及見次第火消道具を持其村之人數不殘罷出近邊か夫差出し大火に不成様防留可申候子細有之不出合者は吟味可仕候御年貢米類焼不仕様可仕候藏詰前郷藏修復可仕候火事之節は御米入置候郷藏別し而大切に防候様大小百生精出し可申候若郷藏に火入御年貢米焼失仕候は、多少に不限急度辨納可仕候

一 惣而火之用心入念風烈き日は晝夜番人廻可申候野邊に而たばこの火不沙汰に仕間敷候たいまつ捨置野出火又は鳶鳥百姓家等わつかみ參り落し置出火有之様被及御聞候由小百姓水吞迄火之類

不沙汰に不仕様に可申付候

一 在々に而盜賊惡黨押込等有之時は家續き聲を立隣家は不及申先々の村々を出會搦捕可申候不出合者は御詮儀之上御科可被仰付候

一 不審成者見出候は、庄屋長百姓に相斷御役所へ召つれ可罷出候搦捕又は御注進を事六ヶ敷ぞんじ見のがし候者は前々曲事に被仰付候間左様之儀有之候は、其譯嚴敷御穿鑿可被遊旨奉畏候上
一 庄屋長百姓家の盗人入被盜候は、其品書付を以御訴可申候盜品先々に而見出候は、相斷預候上内々に而事濟かたく候は、御僉儀可奉願候他所盗人之届盜物見出し付届有之候は、疎略に不仕庄屋長百姓立合致詮儀取斗可申候致油斷盗人欠落爲致候は、立合候者共急度可被仰付由奉畏候

一 人をあやめ立退候者見懸候は、近郷出合からの置御注進可申上候理不盡に打殺申間敷候手負之者有之候は、委細承届看病仕早速御訴可申上候不限男女欠落者郷中の參候は、庄屋へ相斷早速御斷可申上候

一 公事訴訟に付他の御訴訟に罷出候節は御届可申上候伊勢參宮を初百姓他國の參候儀奉公は勿論用事にて罷越候共庄屋長百姓に急度可申届候庄屋長百姓百姓代者出立歸着之儀御役所へ可申上候百姓致他國候共其村庄屋不存由申候は、庄屋越度に可被仰付候

一 御手代衆中依怙量肩之筋有之百生難儀仕候は、其子細能々承糺不實無之様書付候而密々御直に可申上候御家來中其外御手代家中御家内男女が非道之義御座候は、右同前に可申上候將又郷宿

御用達町人納宿善惡之儀承り次第書付を以密に可申上候御用達町人郷宿納宿之面々不如意之申立候而郡中へ無盡等類申懸候は、早速御訴可申上候


一 御手代衆中の御手廻り之御家頼中迄金銀米錢衣類諸道具何れ之品に而も音物借り貸仕間敷候年々御取箇同前嚴重之御直觸被成下候此段彌常々急度仰守り可申候右體之高懸り物庄屋共觸立候共一切差出申間敷候公事訴訟に付音物仕候者も急度御科可被仰付由奉畏候

一 御手代衆中御名を申又は御手廻り御家來之由名乗り村方へ入來り少も非分申儀有之候は、其人は差置即時に御訴可申候たとひ御陣屋に而見知候人に而も左様之節振舞馳走がましき事仕候由相知候は、急度可被仰付旨奉畏候

一 一切支丹宗門累年御制禁之儀御高札之表度々御觸書末々之者迄承知仕罷有候彌以急度相守可申候宗門改御定之通毎年人別改寺院印形取指上可申候

一 夫食種貸之儀拜借被仰付間敷旨凶年之節俄に行當り不及餓死様大小之百生心懸可申旨被仰渡承知仕候凶年之節は夫食拜借被仰付候儀と心得候は、必至と行當り可申候右凶年之節は品に寄拜借も可被仰付歟にも候得共大體之凶年水旱損之分は御貸不被下旨奉畏候拜借之儀當分宜候得共返納物彌重に成候時は作徳之余力を以返納仕候百生之儀に付年々之痛に成剩御取ヶ迄下り或は困窮之元に成候義從御公儀様御恩借之米金を以困窮之元を拵候儀も同前之義無勿體事に奉存候間平生艱難に暮方仕凶年之節御公儀様之御救は不及申他人之救も不請様可仕候せめて家割壹軒之貯はいヶ様にも心懸可申事に候田畑余計所持之百姓一類縁者之貧者下作之小百生水吞等左様

之年救方取續之手當兼々心懸凶年之爲之圍は年々少々づゝも臨時に貯置候様庄屋寄合勘辨仕追而申上村限にも不限候間近村隣郷等申合候而も不作之年夫食種貸拜借願申上間敷候由重々委細被仰渡奉畏候此段度々末々迄申聞置候様可仕候

一惡事仕候者御注進申上る類密に御直に申上度事は願書封し御役所へ差上可申  願書封可差上由被仰渡奉畏候

右之條々庄屋長百姓小百姓水吞下人召仕男女至迄毎年爲讀聞承知仕奉畏候毛頭違背不仕様急度申合候自然書面之内相背候者御座候は、御僉儀之上いヶ様之曲事にも可被仰付候則庄屋方に寫置惣百姓へも爲寫取百姓共幼年之内見覺候様心懸可申候依之村中大小之百姓連判調差上申所仍而如件

丹生郡杉本村

五人組頭

高村(持カ) 彦右衛門

水吞

半兵衛

利右衛門

寶曆五年奥州大沼郡沼平村御仕置五人組帳

一從公儀被 仰出候御法度書名主方に寫置常々大切に心掛相守之名主組頭共寄合村中申渡違背爲仕間敷事

一切支丹宗門之儀前々御改之通村中大小百姓共之儀は不及申に男女并抱召仕之者門屋借屋其外出家社人山伏行人虛無僧鉦扣穢多乞食非人等に至迄村中居住之者壹人も不殘人別相改面々菩提寺宗門請合之判形改帳に可指出御法度之宗門之者村中は勿論他所に候共見出し開出し候は、早速御褒美可申請候若隱置脇を訴人等有之候は、名主五人組曲事に可申付事

附り切支丹并ころひのもの有之候は、帳面記可差出候若他に不限男女縁付等にて右之族來候は、早速注進可仕之惣而他所來候者又は下人等抱候者宗旨相改寺請狀可取之事

一五人組之儀毎年可相改之町は家次郷は最寄次第組合體成者組頭に相立諸事御法度急度相守可申候若五人組にはづし隱置候か又は組頭之下知に不隨徒者有之候は、其一組より申出會議之上急度可申付事

一御用之儀何方申來候共少も無遲滞可相勤候廻文之儀日限刻付遅々仕間敷事

一耕作念入仕附草耕仕御年貢米永割付之通急度皆濟可仕候若未進仕候百姓有之候は、急度可申付

候且又耕作に不情成者有之外之作人も荒置候は、名主年寄吟味可仕候尤故なく荒敷候分引方相立申間敷候事

附口米口永口蠟漆之儀前々御定之通上納可仕候事

一 百姓商人家業を專一に可相勤耕作之間たりといふ其所に而致來候仕事無油斷心掛朝夕共に渡世に心附妻子下人等迄も其善惡を申聞せ縦凶年之時節たり共被續候様に當々思慮仕渡世大切に心掛可申候若百姓不似合遊藝を好世帯に不構不行跡之者於有之は無隱可申出候吟味之上急度可申事

附耕作商買等も不仕何家業其不知者村中に有之候は、無隱可申出事

一 御年貢米金皆濟無之以前穀物他所一切不可出之若御年貢引負欠落可仕様子に相見候百姓有之候は、其五人組會議之上名主方へ相談を以無油斷押置欠落不仕様に可致候尤御年貢之儀名主五人組了簡仕急度皆濟可爲仕候事

一 御年貢米拵隨分念を入あらおれ小米青米死米ちりこみなと無之様に拵立可申候俵拵之儀は二重俵にて中揉採繩を以小口蜘蛛かきりか茶かきりか何れに成共一樣に可仕候藏詰之分に俵之内わ入候中札は紙にて國郡村之名年號月日名主米主升取米之名銘々書付判形いたし俵毎に可入之上札は竹にても木にても國郡村御代官之姓名米主之名斗可書之札之裏に俵之貫目可記事

附俵入升目不足に候は、米主會議之上急度越度可申付事

一 御年貢米郷藏の御詰被置候内は其所番人申付候か又は古來之仕來有之候其隨分に念入名主

組頭共も折々相廻尤壁垣下敷等念入御藏番無油斷可仕候事

一 毎年御年貢割付目録出候は、村中之者披見爲仕名主年寄方大小百姓出作之者にも不殘相觸寄合候上致割合浮役小物成可納米金壹人前宛委書付小百姓も猶敷不存候様に其譯々爲申聞其上割符之奥へ別紙繼候て立合披見仕候旨印形取置尤役所にも可出候御年貢割仕候節村夫錢小入用と御年貢入交一同に不致差別立割合御年貢米金申渡目録之通相納様に當々村中可申合事

一 御年貢米金名主方取集候節帳面に金銀米錢員數納主覺名月日可記之納主之判形取置請取手形には名主致判形帳面と押切納候度々に相渡後日に出入無之様に可仕候若無念にて請取手形不取立出入後日訴出候共取立間敷事

一 御年貢皆濟之納拂致勘定候節皆濟目録致印形可遣候間村大小之百姓立合相改相違無之趣奥書惣百姓連判仕置追而役所へ指出可申事

一 惣而從公儀 被下候人足扶持其外代金渡候品々當座銘々割渡帳面に請取候趣爲致書付印形可取置之指繼勘定不致事

一 公儀之義又は村中申合等之儀に付百姓寄之節村入用掛候食物酒肴給へ申間敷堤川除御普請用水堀浚候時人足等村入用掛り候酒肴給させ申間敷事

一 手代書役并蠟漆改役人其外召仕等之儀は不及申に若黨仲間等に至迄金銀米錢衣類諸道具酒肴其外輕き物成共音物禮物一切仕間敷候右之者に貸物借り物或は押賣押買不依何事に不作法(儀脱カ)之致候は、有體に其趣可申出隱置後日に相聞候は、名主年寄可爲越度事

一手代并蠟役人召仕村方へ參口上にて申儀は勿論御役所之印形無之書付を持來候て何事を申付候共一切差引不仕可訴出事

一自分并手代諸役人村々へ相廻候節飯米鹽味噌薪野菜等其所にて相場直段に調候て代物請取賣上帳面に判形可仕候一宿晝休之所にて右之通上下共に百姓馳走に不成村費に無之様に申付候條酒肴等此方々差圖無之物何にても調置申間敷候若調置此方々不入候に付寄合呑喰村入用割に懸候は、名主年寄曲事たるべし無差圖人馬集置百姓之隙を費申間敷候事

一村中年中之夫錢掛物小入用之儀隨分名主年寄遠吟味を入用多、無之様に可仕候毎年前々之入用帳寫相添可差出候吟味之上寫帳此方に留置本帳は名主方々可相廻之候間年々村入用帳紛失無之様に可仕事

一郷中に火事出來候は、郷藏に欠着圍可申候勿論郷藏無氣支火事に候は、火元へ參消可申候惣而常々火之用心大切に可仕事

附組合之郷藏有之村出火有之候は、早速欠付防可申候事

一第一親に孝を盡し下人主に能したかひ主人は又召仕を憐み夫婦中能兄弟親類にしたしく友達はせたかを敬ひ物每頼母敷諸人わたひし無禮惡口不仕つゝまやかにして家業を專に所之法を背べからず又村中に勝れ候而親に孝行なるもの有之候は、其様子を見届々委可申上候常々親に不孝致心立惡老若に對し我儘働耕作等無入情博奕かまじきかさつ口論を好み夜あるき不作法にして行跡不相届者有之候は、名主五人組異見可申若不用に候は、其段可申出若隠置後日に顯候は、

其五人組共に可爲越度不行跡之百姓御年貢に未進有之候は、其五人組名主可爲辨納候然間難見届者は常々異見可仕候事

一田畑并山林永代之賣買御停止に候無寄所子細有之候は、年季限り質地に入候共吟味之上名主五人組加判之手形を以取引可仕候尤田畑質物に入金銀を借り其田地を金主に相渡御年貢諸役先主相勤候義是又御停止に候惣而請人無之諸質物堅不可取之若盜物等猥りに質物に取候族有之候は、急度可爲曲事事

附名主質入之時は相名主か組頭之中可令加判且又御朱印地田畑屋敷山林等も質地に取中間敷事

一本田畑之儀は不及申或は荒間起間或は新田畑又は切添之田畑有之候は、一步之所成共申出御年貢上納可申如何様之惡敷所成共荒し申間敷事

附荒間并古荒其外新田畑起可然所有之候は、可申出事
一新作寺社堅可爲停止惣而小社念佛題目之石塔供養塚庚申塚石地藏之類田畑野山林又は道路端に新規に一切立申間敷事

一神佛開帳致候は、可注進之他國に當分持出開帳仕候儀有之候は、先達可注進且又他所方神輿神躍等送來候共不可請取之村中に少々間も差置申間敷事

附本院住寺又は社人等替り目之節役所に注進可仕事

一村中之者或は立退或は身之上潰候而居住難成者有之候は、注進可仕尤如何様成小百姓又は水吞

百姓に候共私として所を追中間敷候并勘當不通者有之は役所に訴出可得下知事

一 高貳拾石以下之百姓子供に田地分讓候儀堅可爲停止候貳拾石以上たり共田地分候は、訴出差圖可請候惣而新規に百姓有付候は、可注進之百姓跡式之儀存生之内に名主年寄立合書付置後日に出入無之様に可仕候事

一 百姓之子幼生立親に後百姓仕る儀不成者候は、親類并名主五人組相談を以後日に出入無之様に證文取引田畑預置御年貢諸役相勤其子成人次第預け置候者共無相違相渡百姓に仕付可申事
一 獨身之百姓相煩耕作成兼候時者其五人組は不及申に一村として助合仕仕付草耕等仕御年貢收納致候様に可相心得事

一 當國にては輕き者共出生之子俗に戻し候と唱不仕成儀致候者も有之由是等之儀は爲人□の致間敷事に候條可致停止候事

一 拾子堅仕間敷候若他所之者拾置候は、村中にて養育いたし早速可注進候事

一 人賣買仕候儀彌可令停止候召仕之男女は年季之限無之譜代召抱候共可爲相對次第之事

附人請に相立中間敷候無據子細有之候は、名主五人組相斷差圖可受事

一 御鷹場之外たりといふ共鶴白鳥取候儀一切停止に候勿論村中に右之大鳥賣買等仕間敷候右相背候もの有之候は、可訴出事

一 牛馬賣買之儀儘成口入證文無之して賣買一切仕間敷事

一 牛馬はなれ來候は、繋留飼料仕早速馬主不相知候は、可注進申出候勿論手前之馬取はなし不

見候は、是又早々注進可申出事

一 御朱印傳馬人足之儀御定之通出可申候義往還之馬次不依晝夜に駄賃人馬出可申勿論増錢取申間敷事

一 驛所に人馬寄候を問屋年寄致吟味猥りに人馬觸仕間敷候其宿之人馬圍置面々勝手に能荷物附候様儀一切不可仕候御朱印は勿論駄賃傳馬之儀常々吟味無滞様に可仕候事

附助郷人馬觸來候は、刻限不違出之若人馬割難心得事候共無滞出之後日に可申出候事

一 御用之人馬は不及申に本海道に無之候共往來之者駄賃馬人足不依晝夜に無滞可差出

一 御朱印又は御證文之儀無之人馬差出候様にと申或は駄賃錢も不出罷通候者有之候は、品に押

置名主年寄立合怪體に候は、役所に可令注進候事

一 百姓之四壁竹木に候共猥りに伐採申間敷事

一 入會野山面々持山に而も木之根を堀取申間敷候鶴之嘴を入候儀可令停止田畑へ山崩砂入等無之様に山林苗木植立可申候山中筋にて焼畑仕來候所は格別野火付候儀可爲停止事

一 御關所有之候川付之村々は尼比丘尼出家并前髪有之候者は勿論惣而猥りに川向へ人越申間敷候通船にても又は其村に有之小船に而も頼川向へ越申度と有之不審に相見え候は、留置注進可申候密々に猥り成儀仕候は、其船頭并名主五人組共に可爲曲事事

一 永雨降所々川々水出候は、無油斷郷中壹人も不殘罷出堤切不申様に弱手之所へは土俵を拵置念入堤圍可申常々も弱手之所候は、其村は不及申に隣郷共に罷出堤丈夫に可仕事

一堤川除井堰御普請所破損出來候は、其場所相改書付を以申出下知次第に可仕小破之分は其折百姓役に早々繕仕不及大破に候様に常々心懸可申事

附堤川除井堰道橋前々組合之普請所人足入用相滞候百姓候は、急度越度たるべき惣而道橋之儀破損所に候は、無油斷繕拵可申候且又堀を埋又は道をせはめ秣場村祭切添田畑不可仕出前

(事脱カ)

前無之所に新規道堀を不可付尤用水留置候所無斷切落し申間敷事

一惣而百姓中ケ間にて公事出入出來不仕候様常々致吟味物每正路に御用大切に可仕候若假初成儀も支配人に申出公事好み仕候百姓有之候は、當人は不及申に名主組頭共に曲事可申付候一村之内百姓中ケ間六ヶ敷儀出來候は、名主組頭立合内々にて相濟候様に可仕候惡心を以公事好み致非公事を勧め偽を巧み人之害をなすもの於有之は可訴出會議之上越度に可申付候事

一他所之者と出入之儀出來候は、双方承合内々にて相濟候様に可仕候若不相濟儀に候て他所へ訴申儀候は、役所訴出得下知可申候事

附親類縁者に候共公事入手傳仕可相濟儀も滞候様に仕候族有之候由相聞候は、急度曲事可申付事

一公儀へ仕上候手形證文之儀は勿論百姓中ケ間にて判形可仕候さも無之後日に右之手形及出入候節文言は不及承に候へ共判形仕候無筆に候故文言不存候なと申候は、急度可爲曲事候此帳面之末に仕候印形之外用申間敷候自然印形紛失仕候百姓候は、替之印形指出判形直に可申事

一不依何事に徒黨を結人と神文致或神水吞一列致候事堅可爲停止事

一喧嘩口論出來候は、所之者出合相留尋明可申候若内々に而濟儀候は、双方申分可訴出勿論手負之者に候は、押置早速可申出候縦あやまちに而疵付候は、其子細を即時に可訴來候尤他村にて喧嘩口論等有之節は不可馳集人を殺し立退候者有之候は、隣郷共に出合搦捕早速可途注進捕候儀難叶候は、道をしたひ落付所へ申届其段早々可訴出事

一往還之旅人又飛脚之者煩出し候は、其處之名主組頭立合其者出處出生相尋書付置隨分看病可仕疎略に仕間敷候自然相果候は、名主組頭立合にて彼之者之諸道具相改封印仕置早速其所へ可申斷候急病或は酒醉等村途に不仕其所にて令介抱正氣に成歩行も叶候は、人を添村途に可仕事

附道路にて行衛不知首くより自害又は倒死之者有之候は、早速可申出候事

一盗人又は火之用心のため村毎に詰り能所へ番屋を作り夜番可指置之郷中之儀は勿論隣郷共に盗人見出し鳴を立におゐては早々出合捕候様に可仕如何様之者にても殺申間敷事

附行衛不知出家社人行人虚無僧鈕扣穢多乞食非人惣而不審ケ間敷者へ宿一切可爲停止候若不届之者有之候は、當人は可爲同科事

一人を殺し候者か又は盜賊其外徒者堂宮山林にからまり候は、所之者隣郷共に立合搦捕可申候若其場にてとらへかたく候は、何方迄共道をしたひ落着所へ斷搦置其段可訴出候縦如何様之者に候共打殺し申間敷事

一他所へ引越候者之儀は道々出所致斷村無構には請人并宗旨手形を取差置可申候勿論出所行衛不知壹人者或は出家社人行人山伏虚無僧鈕扣穢多非人惣而不審かましき者或は欠落人其所に圍置

候儀は不及申一度之宿をも堅可爲停止事

一出所行衛不知浪人一切置申間敷候乍然名主吟味仕儘成者にて親類縁者請人に立致手形候は、得下知差置可申事

一公事訴訟にて罷出候節名主年寄五人組相届ケ名主同道致候か又は添狀可致持參候事

一博奕ほう引惣而掛ケ之諸勝負不依何事に博奕に似たる儀一切可爲停止候并操かぶき舞廻放下師其外何にても見物之遊物堅仕間敷候惣而遊女野郎之類一切村中に不指置候一夜之宿をも堅仕間敷事

附諸勸進乞食修行者郷中猥りに徘徊爲仕間敷候事

一他國他村へ奉公に罷出候か諸用にて參候か又諸社山參詣仕候は、百姓は名主五人組へ可相斷名主組頭は役所へ相伺可申候

一用事有之候て郷中の參候は、各別無用事に他所を節々來輩有之候は、其者之出入仕候宿名主五人組遂吟味向後出入不仕様に可致事

一手代蠟役人と名主組頭は不及申に百姓中へ問親類縁者之間にても御年貢取引は勿論金銀錢米其他少々之事も手形なしに取引仕後日に證據なしと事六ヶ敷事申出候は、双方會議之上曲事に可申付事

一名主百姓妻子等に至迄衣類之儀儉約を相守百姓に不似合衣類不可着尤紗綾綸子縮緬之類より帯にも仕間敷事

一百姓家作之議分限を軽く可仕目立候普請不可致并男女共に乗物鞍置馬に乗候儀堅可爲停止候事
一佛事祭禮又は智取嫁取新宅之ひろめ初産之祝ひ惣而奢かはしき儀無之様に分限を軽く可仕其外親類出入常々振舞等に至迄伺有合隨分軽く可仕尤大勢集大酒禮振舞等一切可爲停止事
一郷村水論無之様に先規之例を以掛引兼而可定置之理不盡成儀仕間敷候又領境山林境野境田畑屋敷境諍議有之時喧嘩口論仕間敷候左様之節は申分可訴出右諍論之節刀脇差弓鍵長刀を持罷出候もの於有之は曲事に可申付事

一名主百姓刀差候儀は不及申に大脇差指候儀堅可爲停止若百姓に不似合風俗致長脇差を指口論を好み或は大酒を吞醉狂ひ致輩有之者無隱可訴出候事

附何方之衆中によらず刀差候奉公人に對し慮外等一切仕間敷事

一有來候酒屋之外新規之造酒屋請賣酒屋共に可爲停止事

一前々方指免候鐵砲之外役所へ無願自分として鐵砲所持仕間敷候若猥りに鐵砲所持仕候者有之候は、無隱可申出若隱置候は、名主五人組當人共に同科たるべき事

一御高札大切に可相守文字見へ兼候は、役所へ申出指圖可請候并圍見苦からざる様に可仕事

一御料所國々百姓共御取箇并夫食種子貸其外願之儀に付強訴徒黨逃散候儀は堅御停止に候處近年所々内に而も右體之願筋に付御代官陣へ大勢相集致訴訟候儀も有之不届き至極に候自今以後右體之儀於有之ては罪科に可取行候條末々之百姓共迄兼々可相心得事

右之條々堅相守若違背於有之は可爲曲事此書物名主方へ寫置正月五月九月壹ヶ年に三度宛村中大

小之百姓寄合儘に爲謔聞常々此趣合點仕罷在候様に念入可申付者也

寶曆五年亥九月

江川太郎左衛門
山本平八郎

前記之通六拾六ヶ條一々奉拜見御法度之趣儘に承届ヶ申候村中小之百姓家抱門屋借屋之者迄拾五歳以上之男子此五人組帳に壹人も除候者無御座候御法度書名主方に寫置被仰付候通爲謔聞銘々合點仕急度相守可申候惣而此帳面村中判鑑に被成候に付壹人も不殘判形仕上申候若御法度相背候族御座候は、其當人は不及申上に名主五人組共に如何様之曲事にも可被仰候爲其連判仍而如件

大沼郡沼平村

- 五人組 宇兵衛印
- 同 新右衛門印
- 同 半助印
- 同 惣七印
- 同 吉右衛門印
- 同 與次郎印
- 同組頭 孫兵衛印
- 〆七八組
- 同 村

田島
御役所
名主 清右衛門印

寶曆九年越後國岩船郡某村五人組帳

條々

一前々從御 公儀様度々被仰出候御法度之趣彌以堅相守御制法之儀不相背様に小百姓水吞借店地借召仕等迄急度可申付旨奉畏候事

一切支丹宗門之儀毎年御改之節寺請狀指上申候通郷中に壹人も胡亂成者無御座候自然不審成者御座候は、急度可申上候若隱置脇々顯申候者如何様之曲事にも可仰附候召仕之者も寺請狀差上申候事

一五人組之儀町々者家並在郷者最寄次第に五軒宛組合子共店借貸地下々に至迄家内不殘諸事吟味仕惡事無之様可仕候若不吟味に而惡事御座候者組中者不及申村中に御懸り可被遊候事

一人賣買一切停止可仕候事

一不孝不義之輩御座候者早速可申上候事

一捨馬仕間舖候自然捨馬有之節其馬養育いたし置捨人致吟味早速御注進可申上候若隱置後日に相

聞候者當人者不及申庄屋五人組迄可爲曲事旨奉畏候事

一牛馬賣買仕候は、跡々之通出所改請人立五人組へ斷賣買可仕候不審成牛馬買申間敷候事

一毒藥賣買御停止之旨毎度被仰出候通相守可申候事

一田畑耕作之儀諸事時節を考晝夜油斷仕間敷候若地面より惡敷作申候歟又者無精仕候者如何様之惡作に而も御吟味之上引方等被下間敷旨奉畏候事

附り耕作之間男女相應之かせぎ無油斷可仕候事

一御割付申候者村中出作之者迄不殘立合拜見仕免割引方等明鏡可仕候御年貢納所仕候者從庄屋方則請取手形取可申候若不念仕判形無之後日出入出來仕候者御詮儀之上何様にも可被仰付候事

一御年貢皆濟無之以前に穀物糞に他所へ出申間敷候若他所へ出申歟又者御年貢引負欠落之百姓有之候者其五人組庄屋組頭者勿論惣百姓に御懸可被成候間從初秋御年貢之儀五人組切に致吟味滯儀候者庄屋組頭相談之上滯無之様可仕旨被仰付奉畏候事

附小物成品々夏秋納來候類者前々通相濟暮に納分者極月十日限急度皆濟可仕候其年切に御勘定被遊御極之旨奉畏何分之儀御座候共御定之通に可仕候事

一御年貢あらくだけ死米赤米青米無之様繩儀迄御指圖之通念を入極月十日限皆濟可仕候自然致未進欠落仕候者郷中に而辨納可仕候御藏に納拂之儀惣百姓相談之上升取米見相定無高下様可仕候若御藏に而不同有之候歟惡米多出申候者庄屋組頭越度可被仰付候尤請負納仕間敷旨奉畏候事

一御年貢入置郷藏無油斷番可仕候何方に成共御指圖次第御米入置候郷藏無油斷可仕候何方に成共

御指圖次第御米津出仕相渡不申内者萬一火事盜人其外何様之儀御座候而御米不足仕候共其郷藏詰置申候村々惣百姓急度辨皆濟可仕候年々御藏之節大豆在預證文惣百姓爲代庄屋小庄屋斗違判に而指上可申候尤番之者無念仕候者御吟味之上曲事に可被仰付候事

附り御藏近所に火事出來仕候者村中之者走付御藏かこい可申候若不出合者候は、急度可被仰出候事

一獨身之者百姓相煩耕作成兼候時者五人組之者は不及申惣百姓助合可申候事

一御普請仕候儀人足御扶持方其外從公儀被下置候物當座に立會百姓に割渡證文取置可申候事

一火事并殺害人不依何事不慮之儀出來仕候者大庄屋に爲相知致吟味大庄屋小庄屋并立合之者共書付致印形早速御注進可申上候事

一寺社代り目或者百姓逃失申候歟又者身躰潰申百姓御座候は、御斷可申候事

一他所に通候旅人并飛脚之者煩候事於有之者隨分致看病若相果候者庄屋組頭立會其者道具改封付置早々御注進申上可得御下知候事

一惣而怪敷者に一夜宿も貸申間敷候縱往還に而も逗留申者御座候者庄屋組頭方に斷申吟味之上宿貸可申候事

一百姓家造之儀分限々輕仕目立候普請仕間敷候尤衣類之儀不斷着之外大庄屋妻子共紺紬布木綿小庄屋并脇百姓布木綿之外着申間敷候紗綾りんす縮緬類襟袖口帶等にも仕間敷候事

附り脇百姓たりといふとも身體惡者は絹紬着候者御手代中に御差圖を請着可申候勿論百姓に

不似合脇指儀自立不申様に仕長脇指無用に可仕候刀脇候事大庄屋之外者堅停止之旨奉畏候事
御朱印傳馬人足之儀常々心懸置少も遅々無之様に急度相勤可申候若遅滞仕候者御穿鑿之上曲事に可被仰付候事

附り大通之時分大助郷人馬割掛候事能々相考壹人壹疋も多割懸申間敷候事

一大助郷人馬寄候者またせ不置遣可申候且又一宿之馬をかこひ置宿々之者勝手能荷物附送り候由及御聞候自今以後右之通り猥に人馬差引仕候者問屋年寄馬差詮議之上曲事に可被仰付旨奉畏候事

一大通之時分人馬觸來候者刻限無遅滞急度罷出相勤可申候若人馬割相違も御座候者御役相勤候而詮儀仕埒明可申候事

一御證文無之村中の參人馬出候様に申來候儀御座候歟又者村繼に神事杯送來候儀御座候者指置早速御注進可申候事

一武家之奉公人衆御通人馬御用に付御雇被成候者何方の何方に御通被成候御主人并其人之名苗字承届御定之駄賃錢請取庄屋組頭之内一兩人立會指圖可仕候御傳馬次に而無之遅疎略理不盡之儀仕間敷候旨奉畏候事

一御領私領之武家方被通候節者乗打仕間敷候道端田畑野山に居候者迄も笠をぬき慮外無之様に可仕候事

一印判之儀紛失仕候歟又者自分に替候はで不叶儀御座候は、庄屋者御届申上百姓者庄屋方の斷仕

替可申候事

一御役人中御家來衆押賣押買之儀不及申上其外少も御非分成儀御座候者急度可申上候金銀米錢衣類諸道具者勿論其外酒肴以下少物に而も音問仕間敷候尤振舞馳走一切仕間鋪候旨被仰付候間堅相守可申候第一百姓之爲に成候儀被仰付候處若相背音問遣し候儀及御聞被成候者重々不届に被思召候間急度曲事可被仰付旨儘に承知仕候事

附り右之御衆に不依何借貸仕間敷候事

一御家頼衆并御役人中御召仕被遣候節御切手無之候者何事を被仰遣候共少も承引仕間敷候由勿論片時も宿貸申間鋪候旨被仰付奉畏候事

一欠落者抱置申間敷候并御年貢訴訟に付他村の逃來候百姓御座候は、縦親類縁者たりといふとも宿貸申間敷候惣而も僧山伏行人乞食非人等に至迄行衛不知者に一宿成共宿貸申間鋪候其外村中堂塔山林にも置申間敷候且又村はづれに罷仕候行人山伏も僧かねたゞき乞食非人穢多等右之類族に宿貸候事有之由候間急度宿不仕様可申付旨奉畏候事

一他所の參候手負之儀者不及申上郷中に而手負者御座候者早速申上御指圖請可申候事

一田畑永代賣買前々御法度被仰付候堅相守可申候事

一田畑新開切添仕候者御注進可申上尤永荒川欠起返之場所御座候は、早速御斷可申上候若隠置他所の顯申候者當人者不及申御詮儀之上地隣之者迄急度曲事可被仰付候事

一田畑年季定質物に預り候は、庄屋年寄爲致加判双方の證文取替可申候夫も拾ヶ年永年季に書

入中間敷候若庄屋年寄加判無之田地質物仕候者其田地御取上双方越度可被仰付惣而庄屋年寄私曲構加判不仕候は、越度可被仰付候惣而庄屋年寄對百姓非分申懸候者急度可申上候事

一御公儀様御用之儀何方申來候共如時付少も無滯御配符先々に相届可申候尤日付相違無之様に可仕候事

一每度御觸之場所村々道橋入念候可申候事(作カ)

一掛堀落堀并道せばめ田畑に仕出し候者當人者不及申庄屋年寄迄曲事可被仰付候事

一附道を付替申候て不叶所御座候者得御下知可申候事

一博奕之儀者不及申懸之諸勝負壹錢之儀に而も堅仕間敷候并博奕打之宿一切仕間敷候若博奕打之宿御座候は、縦同類たりといふとも訴人に罷出候は、其科御免あたを不成様に可被仰付旨儘に承届申候自然脇を顯申候者當人者不及申庄屋年寄五人組迄急度曲事に可被仰付候事

一當村火事出來申候者火消道具持早速火本に走着消可申候隣郷御代官所火事出來申候は、右同前に相心得可申候事

一店借り并貸地之者置候は其出所を斷無構者に候は、請人相立置可申候事

一御法度之鶴白鳥鷹一切取申間敷候若取候者御座候は、庄屋五人組迄曲事可被仰付候事

一町々在々後々御帳に付造酒屋之外自今以後新酒屋仕間敷候清酒賣屋之儀新願御座候者申上御指圖請可申候事

一百姓持高分ヶ申儀壹人前に拾石の内分申間敷候勿論子共并兄弟に爲取申歟又者新規百姓有付申

候者可得御下知候事

一常々心立惡敷或は人に妨に成或者切々喧嘩口論仕又者夜あるきいたし耕作をも不仕庄屋年寄五人組迄致意見候而も承引不仕不届成者御座候者庄屋年寄可申上候若外被成御聞御詮議之上顯申候者庄屋年寄越度可被仰付候事

一御立山御林之竹木并下草等迄御公用之外一切伐採申間敷候事

一村中之者不依何事徒黨ヶ間敷儀又者神水を吞誓詞いたし一味同心仕候者不隱置早速可申上候事

一質物取申者請人立取可申候若無請人質物取候而出入等出來候者曲事に可被仰付候事

一郷中用水之儀不足之所御座候者争不仕田地不及濁水内可申上候理不盡用水切取申間敷候水論又者領境等之爭論御座候共喧嘩仕間敷候左様之節者早速御注進可申上候若及爭論候節者刀脇差鍵長刀を持罷出候者御座候は、御詮議之上曲事に可被仰付候事

一附り不依何事致爭論候節荷擔加勢仕間敷候若相背族御座候者曲事に可被仰付候事

一堤に有之芝萱葭之類一切苧取申間敷候若苧取申候者御座候は當人は不及中に庄屋組頭迄急度可被仰付旨承知仕候但苧候はで不叶時者可得御下知候事

一山並林に有之候木之根一切はり取申間敷候勿論鋤鋤鶴のはし入申儀堅停止に被仰付承知仕候但前々苧來候苧野者各別之事

一跡々鐵炮御赦免被成候獵師役筒持來候者は各別其外村々に而獵に鐵炮打申者御座候は、御高札之通早速御注進可申上候見逃聞逃に仕脇を訴人御座候は、庄屋組頭五人組迄急度曲事可被仰

付候

- 一 野火付候者御座候者急度曲事可被仰付旨承知仕候自然野火出来申候者村中出合早速消可申候事
- 一 祝言振舞に而御座候共一汁三菜に不可過旨被仰付急度相守可申候事
- 一 嫁取聳入等之儀身躰を輕仕乗物乘鞍堅停止之由被仰渡奉畏候事
- 一 附り祝言仕候者水祝仕候儀一切無用可致旨被仰付奉畏候事
- 一 葬禮之時節野酒并餅赤飯一切停止に被仰付奉畏候事
- 一 附り齋非時之儀一汁一菜不可過之分限を輕可仕候事
- 一 他所に奉公久敷仕罷有候歟又他所親類の方へ參年久敷罷在候而在所の罷歸候者御座候は、庄屋組頭を先の斷構無之候者所に置可申候尤右之旨御斷可申上候事
- 一 跡式之儀不依老若病中書置認之庄屋五人組加判爲致置可申候縦加判御座候共筋目なき書置御取上被成間敷候由被仰渡奉畏候事
- 一 若急病人に而書置難成候者病人之口上書一座に罷在候者致加判可申候事
- 一 新地之寺社建立并小社念佛并庚申塚大成石塔田畑野山林等一切立申間敷候事
- 一 附り宗旨不知道心者之族村中に置申間敷候事
- 一 川筋之村郷大水出申候節早速庄屋組頭百姓悉出合堤きらし不申様可仕候事
- 一 一人請之儀猥に立申間敷候然共近き親類又者出所能存儲成者に候は、庄屋五人組斷請立可申候自然證人之儀付出入有之候者庄屋五人組迄立合急度時明可申候若滯儀御座候は、可申上候事

老若病中

- 一 郷中何に而も見物類一切寄申間敷候大小之百姓所に而儀は^(之脱カ)不及申市町惣而他所の參候而大酒給候間敷候若相背醉狂仕候は、何様之曲事にも可被仰付候事
 - 一 萬雜諸役入目等之儀帳面に記庄屋組頭判形仕極月割合之節右之帳面大小之百姓見候而割合相究此外少も入用無之段帳面に奥書仕り惣百姓致逆判指上可申候惣而費成入用無之様に可仕旨被仰付奉畏候事
 - 一 右御ヶ條之品々堅相守可申候若違背輩於有之者如何様之曲事にも可被仰付候尤條目庄屋方寫置正月五月上旬に壹返宛兩度村中惣百姓水吞等迄爲讀聞可申旨被仰付奉畏候爲後日五人組合立證文指上申所仍而如件
- 寶曆九年卯正月 日

越後國岩船郡何村

五人組 誰

御 役 所
御 代 官 所

寶曆十年出羽國田川郡中川通藤島組拾六箇村御仕置五人組帳

五人組御仕置之條々

- 一前々從 公儀被 仰出候御法度趣彌以堅相守常々不相背様に村中之大小之百姓並水吞下々迄急度可申付事
- 一切死丹宗門之儀累年雖改之少に而も不審成宗門之者有之ば早々可申出御褒美可被下之若隱置脇より於令露顯者肝煎組頭五人組迄御仕置之通可申付借家借地並寺社方山伏行人鉦たゞき其外穢多之類迄も其所住居之者是不殘宗門人別帳に書載入念可相改毎年六月中帳面可差出之事
- 附切死丹ころひ之もの並類族有之分は別帳に記之可差出他村より縁組等に而右之族來る者有之ば早速可注進之事
- 一御年貢諸役等大切に可相守勿論毎年御免相究次第其村之百姓前付荒小札を以可相渡候諸淨役小物成村雜用等役所より元割帳面相渡候分組々村々大小之百姓前無高下入念割付帳面に記之端々迄疑敷不存様に少之儀も明細に仕得と爲讀聞寫取せ置べし依估最負並私之割掛無之と申儀肝煎組頭長人百姓相判致置追而出入等無之様に可致置候御年貢皆濟之儀其年之模様により日限可申付候間日掛之通無相違米穀相納皆濟急度相勤候様に惣而其心得可有事
- 附御年貢皆濟以前他之借物返済は勿論米穀一切他へ出し申間敷候且又諸勸進不可入事

- 一徒黨を結び一味同心仕候義堅御停止に候若誓紙を書神水吞徒黨がましき儀有之ば早々可訴之御褒美可被下之尤仇をなさる様に可申付事
- 一親に孝行を盡し下人は主に隨ひ夫婦仲能兄弟睦敷友達は老たるを敬ひ物毎に頼母敷順路に可仕候村中に勝れ孝行成者有之ば得と其様子を見届可申出不孝之者有之ば再往加異見其上にも異見不用彌不孝に候者其段可申出事
- 一農業隨分精を出し可相勤抽候者有之ば可申出候又は老て子もなく幼少に而親にはなれ或は後家になり或は長病抔いたし無據身上衰難立もの候者一類共は不及申肝煎組頭五人組心を合引立可申事

附何の家職もなく相見候者有之候者致吟味可申出事

一御年貢淨役納米之儀村中相吟味第一に仕潰跡與内米過分に不掛様可致事

附作物取入候節日暮前夜明候而人並に可取入若暮にかゝり夜明前に作物取入候者有之ば何者によらず肝煎方へ可相届事

一御制札古く成文字見へ不申候歟又は覆破れ候はゞ役所へ可申出事

附人賣買御停止に候間堅可相守但奉公人年季之儀者可限十ヶ年事

一捨子並捨牛馬御停止に候間堅可相守若捨子他所より捨置候は村中として致生育置出所聞届吟味之上可返之候他所之捨牛馬又は放れ牛馬當村に來候はゞ肝煎組頭長人百姓克々致詮儀持主知候はゞ其村之肝煎本主より手形取之相返し其旨可注進之惣而生類を憐不實不仁成儀一切仕間敷事

附牛馬賣買之儀證人を立肝煎組頭五人組へ相斷賣買可仕候且又馬之筋を延候儀堅御停止候並
作場を猥に牛馬放し申間敷事

一五人組之儀町場は家並在郷は向寄次第家五軒づゝ可組合無高百姓借家借地之者並水吞等に至ま
で五人組合に入べし但しはつれ申もの不可差置但し寺社は各別たるべし常々五人組仲間無油斷
子共下人迄御法度之趣堅申付其上徒もの有之肝煎組頭申付を不用者有之候者可訴之若肝煎組頭
非義有之ば不依何事可申出事

附五人組宗門帳に押候印判之外別之印判不可調置候若子細候而印判替候敷又は紛失仕候者肝
煎組頭長人百姓は役所へ相斷印鑑可差出之惣而印判大切成ものに候間猥に判形爲致間敷候並
名を替候者早速肝煎組頭五人組へ相斷可申事

一御林御立山之竹木枝葉下草等まで公用之外伐採間敷候精を出し御林仕立可申候里漆山漆は勿論
楮桑植付出精可申事

附御預山地續林並居屋敷青木者勿論目立候竹木伐採候は、書付役所へ指出可得差圖且又堤有
之草葭等まで猥取申間敷事

一田畑屋敷並山林等永代に賣買ひ御停止に候間堅可相守若質物等に入候者年季を限質物證文之表
に肝煎組頭長人百姓五人組加判可取之右之者、も私用を構加判不致候は、可申出勿論質物田畑
金主方に爲作候而御年貢は地主より出候儀決而仕間敷候年季賣之儀大庄屋元へ申出可請差圖其
節反畝水帳面致吟味田面を役人罷出末々違亂無之様に可致候勿論人々勝手に寄場所取替候儀決

而致間敷候並田畑一作賣或は小作米前取中間敷候若無據子細之儀におゐては役所へ可申出事

附肝煎田畑質物に入候は、相肝煎組頭長人百姓加判可取之相肝煎無之候者組頭長人百姓五人
組加判可取之事

一前々被 仰出候通願不中立質貸致候儀御停止に候申立候質屋たりとも出所不知怪敷質物は不及
申惣而請人無之質物不可取之縦預りものたりといふ共不審成もの決而預り申間敷候

附盜物見出し其届於有之は早速肝煎組頭長人百姓五人組立合可埒明如何様之もの申來候其疎
略仕間舖事

一博奕賭之諸勝負同宿堅御制禁たり若隱置候而博奕仕後日相知申候者本人は不及申一座之者迄可
爲同罪事

附外寄合又者商に事寄博奕に似たる儀も一切仕間敷事

一御朱印は勿論御黒印並駄賃傳馬之儀常々吟味致置晝夜不指間様に可致泊り休之節不限何時旅籠
に而も木錢に而も無沙汰不仕宿貸し可申候且又先々より人馬觸來候者刻限を不違可出之助人足
寄候者宿々問屋年寄吟味いたし其宿之馬をかこひ面々勝手能荷物付候儀一切爲致間敷候若寄人
馬之内人馬割難心得事候者先無滯出之後日に可申出事

附御朱印並御證文無之もの人足爲出駄賃錢不出通り候者有之は押置大庄屋肝煎組頭立合詮議
之上彌怪敷體之者に候は可注進之事

一湊々浦々に而御高札之趣可相守御城米船難風之節は助舟出隨分精を入圍へし若破船有之は猥成

儀不可致早々可注進之諸廻船之儀右に順亂成儀不可致事

附浦々並川行に而流寄候品有之候は、船具は勿論家財流木等に至迄早速可致注進事

一貳百石積以上之海船會候者役所可相斷事

一武家奉公人並往還之輩に對無禮仕間敷候勿論刀をさし候者に口付なき馬乘打致間舖事

一往還之輩俄煩出候は、所之醫師に爲見藥用能々致看病可相返候並酒醉等道路に臥居候者有之候者介抱せしめ行步難叶ものは其者之在所聞届迎を呼手形を取可相渡旅人に而若相果候者番人附置彼者所持之雜物等肝煎組頭長人百姓五人組等立合相改帳面に記之肝煎方へ預早速致注進可請差圖山林堂宮其外何之所に而成共自害人倒者又は溺死之者可爲同然雪中難風之節助人助船可出之事

附病にも無之者二夜と宿は仕間敷候若押而宿借り申者候者肝煎組頭長人百姓五人組立合旅人之意趣を聞届怪敷者に候者可注進之事

一盜賊惡黨之者有之節は鳴を立隣郷村々より出合搦捕可注進之即刻不出合者之儀可爲曲事且又堂宮山林に隱忍胡亂成者有之ば肝煎組頭村中之者相談之上搦捕候而可申出捕候儀不罷成立退候者何方迄も追懸落着之所に急度可斷之見逃し仕後日に相知候者曲事可申付事

附有來出家社人神主山伏行人薦僧替女座頭神子鉦たゞき乞食等其外穢多之類迄も致吟味胡亂成者に一夜之宿も貸申間敷旨常々堅可申付事

一御料之者御私領に罷越致惡事其御料に立歸居候儀相知候而も從此方其所に取手之者杯指遣不申役所申出可受差圖且又致惡事候其場所に而早速召捕候は又役所申出可請差圖事

附不限御料他領之者に而も可爲右同前事

一獵師運上鐵炮又は威鐵炮渡置候外鐵炮不可隱置事

附獵師之外殺生不可致獵師之者鶴打候は早速可申出事

一往還之輩又は當村之者喧嘩口論出來候は早速肝煎組頭長人百姓出合可改手負死人等有之候は其相手隣郷之者迄折合候而押置可注進之若捕候儀難叶候は、跡を幕落着之所に急度可申届事

附他所來候手負之儀出所聞届押置可注進之事

一新地之寺社は不及申縦古跡たりといふとも建立之儀堅可爲停止庚申塚石地藏石塔之類迄田畑野山林道路之端新規に一切立間敷候並有來候寺社住持寺社人等替り候は支配頭可爲注進將又新規之出家社人陰陽師座頭道心之族差置間敷候若無據筋於有之者役所へ申出可請差圖事

附新規之祭禮等不可取立佛神開帳並他國に當分相移開帳仕儀有之は前方可注進之他國より神樂を送り來候は不可請取村中に暫も不可差置事

一町在々共前々より帳面に書上來候酒屋之外新酒屋御停止之事

附郷方惣商人之儀は先年相改燒印札相渡置候人數之外無用に候若燒印札無之者商賣仕候は、役所可申出事

一田畑永荒之場起返り並新開之田畑有之候は早速可申出隱置脇より於訴之は本人は不及申肝煎組頭長人百姓五人組迄可爲曲事且又假初之池堀に而も無斷或は埋堀申間敷事

附每度不及相觸其村請取之道橋等あしき所有之は早速繕ひ可申候往還之階道並耕作之道を切

せばめ申間敷候次に新道無斷して付申間敷事

一入相之野山並面々持山に而も草木之根堀採申間敷候鶴のはしを入候儀可爲停止候御林近所は勿論惣而無懈怠野火除可致候田畑に山崩無之様山林苗木を植立可申事

附山中に而焼畑仕來候所者各別其外野火付候儀可爲停止もし焼畑之火もれ御林森等に入可申様成節は早速近郷打寄相防可申事

一海道脇田畑痛申間敷候道惡敷候共田畑廻に道付申間敷候稻は不及申作物馬に爲喰不申候様可仕候馬を引通候は馬之口取付添可申事

一田畑屋敷山野獵場之境並用水掛引に付私之爭論不可致水論並論所は刀脇指鎗長刀等不可持出不依何事に荷擔之もの於有之は其科本人より可重事

附溜池井溝我儘に水引申間敷候水落候はて不叶時分は依其場所仕來之通役所へ相届或は水下役人大堰守立合相談之上水落し跡を丈夫に築立可申事

一堤川除伏樋懸樋惣而用水之場所可入念就中洪水之時分晝夜番を附置危所有之は鳴を立村中出合可圍之常々肝煎組頭其外掛り之役人見廻小破之時に修覆致田畑損毛無之様に可仕事

附堤川除其外從 上被下候人足扶持當座に割いたし銘々判形肝煎方は可取置候惣而百姓之仲間次合勘定仕間敷候事

一公用之儀又は申合事有之百姓寄合候節村入用之酒肴一切給申間敷候惣而少之事も費無之様に可仕事

附役人百姓共に賄一切給不申近郷は日々宅より罷出持參飯給可申候賄給不申不叶儀は別段に可申付事

一年中村入用掛り物之儀肝煎組頭長人百姓五人組途詮儀入念候而入用多無之様に可致候入用度々入念委細帳面に記置可申候肝煎百姓立合相改令割賦惣百姓判形可致置候右入用之帳令吟味候而帳面貳冊宛相認置壹冊は年々役所は可差出壹冊は肝煎手前に指置紛失無之様に可致候此外に別帳を仕立無用之儀割掛候儀仕間敷事

附肝煎方より入用銀觸來候とも帳面に不相立割合之儀壹錢も不可出之理不盡に出し候様に申候は其段可申出若又可出入用等令難澁者有之は急度可申付事

一他所に參二夜と泊り可申候は前方肝煎組頭長人百姓五人組へ可相斷若他國に奉公に出候歟又は用に而罷越候は其子細肝煎組頭長人百姓五人組に書付を以可相斷願公事訴訟等に出候共肝煎組頭五人組は可相届勿論肝煎組頭他國に罷出候者役所は可相斷事

一先祖より持來候田畑子孫は爲分取候儀不可致若不得止事爲分取候は壹人前高五石より内不可分之年季賣之通大庄屋元は相届反畝水帳田面共役人相改可申候小高百姓惣領壹人は可讓之跡式之儀存生之内肝煎組頭長人百姓五人組加判致させ置可申事

一勸進能操相撲歌舞伎其外見せ物類一切爲仕間敷候若御料御私領入組之所又は論所等之地に而仕候は不始以前に早々可注進之且又遊女堅不可差置事

附狂言を學ひ或は上るり三味線俳諧等不相應之日暮不可致惣而遊興々間敷儀於有之者急度可

申付事

一 百姓不似合風俗をいたし長脇指をさし其上耕作商賣不仕大酒醉狂惡所等仕行跡不宜者有之は其趣を可申出且又新規に當村の百姓有者度と願者有之候は出所へ相届彌慥成者にて構無之候は惣百姓相談之上請人を極宗門も相改令注進可受差圖並當村出生之者に而も他國え行き年數歴歸候者右可爲同然事

一 附當村之内或は立退或者逐電又は身帶潰候而住居難成者有之は可注進之並他村に而子細有之立退來者有之は諸親類たりといふ共一切不可差置事

一 人請之儀猥に立申間敷候然共近き親類又は出所能慥成者に候は、肝煎組頭長人百姓五人組に相斷請に立可申事

一 店借地並牢人等行衛不知者一切差置間敷候且又前々より住居之牢人有之は書付可差出事

一 水帳之内手前之高反別寫取申度由申百姓候は望次第肝煎方に而爲寫可申事

一 御用之儀に付村繼之觸狀不限晝夜早速送届可申候若遅々仕候は可爲越度事

一 一人改御番所有之村は郷中申合大切に相守可申候手負並女比丘尼其外怪敷者見當候は相改可申事
一 火之元別面入念大切に仕當村申合番所を立番人を可差置且又郷藏に御年貢米有之内村中之者代り、郷藏番仕惣而風烈敷節入念肝煎組頭長人百姓相互に可見廻常々用心大切に仕自然火事有之節は鳴を立當村之者は不及申隣郷之者迄早速火消道具を持掛着精を出可消之候尤郷藏第一に可圍之若焼失米有之節は組中として可爲辨納又は盜賊等に而損失之分は村中として可爲辨納事

一 百姓前より取集候御年貢米金銀納手代肝煎留帳の書記之納主之名判押切致小百姓に至るまで渡置後日に出入無之様可致事

一 附納米之節手代肝煎取立合粉糠小米糶くだけ等無之儀拵入念中札村名納主手代之名書付可入之事

一 郷藏御收納前初秋之内雨漏等無之様に修覆致置可申候若朽米鼠切てんかけふけ米臺付等損儀於有之者百姓可爲辨納事

一 郷藏の御年貢米其外穀物納候節納方手代見届濟候は郷藏戸前肝煎組頭長人百姓立會相封致置相互に可遂吟味候若疑敷儀有之は早速可申出事

一 御年貢米收納無之以前米大豆其外穀物取散し又は私用に遣ひ皆濟不成百姓有之は其者之御年貢並諸役銀迄村中より辨納可申付條前方より相互に仲ヶ間遂吟味放埒成者於有之者可申出事

一 御年貢米川下之儀圖儀は各別其外之分は上乘之者御中におゐて遂吟味可遣之船中雜用並御藏納逗留中諸入用委細帳面に記入用多不懸様に可仕事

一 百姓衣服之儀男女共布木綿着へし襟袖口帶等にも絹類用べからず雨具はみの笠可着事
一 大組頭雨具は丸袖木綿合羽勝手次第着用不苦事

一 附襟裝束にも木綿之外無用たるべき事

一 嫁取響取萬祝儀並佛事分限より軽く可仕候大勢集大酒不可吞勿論料理がましき儀一切仕間敷候次に葬禮之儀諸事不相應成義仕間敷候若相背輩有之は可申出急度可申付事

附目立候普請惣而奢々間敷儀堅仕間敷候但驛場之家作は格別たるべき事

一惣而家業無精成者耕作荒作に仕者於有之は急度曲事に可申付若幼少に而親におくれ或は老人或は獨身之百姓相煩耕作成兼候は親類縁者は不及申五人組村中として相互に助合御年貢收納せしめ候様に可仕候惣而村役相勤候者は正直を專にして私慾並依怙最負不仕慈悲心にして普く百姓に心を付身上不成者を惠み不依何事公事出入有之は五人組長人百姓肝煎組頭立會双方之意趣聞届不撰親疎理非を能々分別致て毛頭依怙最負不仕諸事無事成様に取扱可相濟無謂公事工み候者有之は可申出晝夜上を重し御法度不相背様に惣百姓常々行跡宜敷様に大庄屋を始以下之役人心を付可申事

一休日之儀正月元旦より七日迄同十六日より廿日迄日數十二日七月は十四日より廿日迄日數七日相休可申事

附正月七月右休日之外平月四日之休日之外相休申間敷候勿論右兩月閏月有之節は平月之通四日之日數斗相休可申事

一月々休日之儀正月七月之外朔日八日十五日廿三日一ヶ月四日宛相休可申事

附定休日之外三月三日五月五日七月七日九月九日相休可申候且又六月朔日は四日之休日之内に込可申事

一年中に養作手間二日鎮守縁日一日田植休一日田植後蟲送り一日都合五日相休可申事
一働日之内たばこ休一日四度宛爲致可申事

附惣而相定候休日之外自分に相休候儀爲致申間敷候大小之百姓水呑並子弟召使之者迄相背不申候様に嚴敷可申付候若相背候者有之其分に致置脇よ相知候は當人は勿論肝煎組頭長人百姓五人組迄可爲越度事

一郷方掛り役人並召仕等迄輕品成とも音物禮物一切仕間敷候押賣押買不依何事無作法致候は肝煎組頭長人百姓可爲越度事

一諸役人郷中相廻候節賄代之儀者前々相定候通外に相増申間敷候惣而有合之野菜を以一汁一菜無酒に而賄可申候無益之品調置村入用割懸候は村役人可爲越度候並無用之人馬集置百姓之隙費申間舖事

右之條々堅可相守若違背之輩於有之は可爲曲事此帳毎年正月七月一ヶ年二度宛村中大小之百姓水呑等迄寄合得と爲讀聞常々此趣致合點罷有候様に被 仰出候間入念可被申付候以上

寶曆九年

中川大庄屋

多兵衛
忠右衛門
兵三郎

前御ヶ條之趣一々拜見奉畏候村中大小之百姓水呑に至迄此五人組帳に除候者壹人も無御座候則御ヶ條書肝煎所に而一ヶ條宛爲讀聞急度相守可申候若此旨少も相背候は如何様之曲事にも可被 仰付候爲其連判爲仕加印を以御請書差上申候以上

寶曆十年

藤島上町

五人組頭

五右衛門

九右衛門

彌右衛門

傳兵衛

傳右衛門

九左衛門

與四郎

右馬之助

甚助

彌次右衛門

勘三郎

與助

喜兵衛

九兵衛

清右衛門

同 中町

五人組頭

肝煎

組頭

彌次右衛門

勘三郎

與助

喜兵衛

九兵衛

清右衛門

同 下町

五人組頭

肝煎

組頭

次郎右衛門

源右衛門

勘十郎

半治郎

久三郎

新兵衛

伊兵衛

兵右衛門

六兵衛

久四郎

善兵衛

彌右衛門

利左衛門

德右衛門

五左衛門

新左衛門

須

肝組
走煎頭
村

長伊
四兵
郎衛

勘三
郎衛

與三
左衛門

次兵
衛

甚兵
衛

九助
門

利右
衛門

久左
衛門

小

五人組
中島村
煎頭

惣兵
衛

德兵
衛

新助
門

多郎
作

甚右
衛門

落

野肝組
五人組
目煎頭
村

庄左
衛門

仁左
衛門

惣兵
衛

三左
衛門

新助
門

勘右
衛門

仁左
衛門

新六
郎

善四
郎

豐四
郎

宇兵
衛

兵右
衛門

甚太
郎

重兵
衛

彌左
衛門

五左
衛門

五人組頭

五右衛門

二八四

新右衛門

源右衛門

傳右衛門

治右衛門

喜右衛門

重助

長四郎

小助

利助

上

組頭
煎頭
七曲村
五人組頭

庄次郎

與次右衛門

三郎兵衛

兵右衛門

下

組頭
煎頭
七曲村
五人組頭

五右衛門

四

組頭
煎頭
奧屋村
五人組頭

與兵衛

兵右衛門

藤右衛門

治兵衛

半三郎

喜右衛門

善太郎

與次右衛門

名右衛門

專右衛門

七右衛門

杜

組頭
煎頭
葉村
五人組頭

兵藏

勘右衛門

儀右衛門

二八五

關
五人組頭
村煎頭
平彦三郎
清右衛門
關根村
三右衛門
藤右衛門
七右衛門
利右衛門
喜右衛門
與右衛門
九郎右衛門
甚兵衛
庄九郎
長右衛門
清助
市郎兵衛

越後京田村
五人組頭
三右衛門
惣七郎
野田野目村
五人組頭
庄右衛門
與次右衛門
善右衛門
重右衛門
四右衛門
與右衛門
久右衛門
甚助
清助
肝組煎頭
久右衛門
庄右衛門
久四郎
肝煎頭
久四郎
肝煎頭
肝煎頭

西荒屋村
五人組頭
長右衛門

甚兵衛

勘右衛門

次助

小右衛門

源三郎

彦七

多郎兵衛

古郡村

五人組頭

孫右衛門

徳右衛門

源右衛門

藤五郎

善兵衛

甚助

四郎右衛門

四兵衛

多次右衛門

肝煎茂七

大沼惣五

大沼彦右衛門

御郡奉行所

御代官所

安永六年越後國頸城郡上板倉郷棚田村五人組帳

差上申五人組帳

一從 御公儀様被 仰出候前々御法度御條目の趣名主方に寫置常に大切に心掛相守之忠考をはげ
まし親子兄弟夫婦むつまじく可仕候事

一五人組被 仰付候に付村中家持之面々は不及申上借屋之者迄寄合致吟味五人組連判指上申候尤
親子兄弟仲能者斗組合仕間布候此上に而も若組に入不申者御座候は、御穿鑿之上御仕置に被
仰付候共御恨に存まじく候事

一切支丹宗門之儀常に詮議任萬一疑敷者在之候は、早々可申出候尤召仕之男女に至迄致吟味寺請
狀取置可召使候惣而常々不見届僧俗山伏行人虛無僧願人物乞等相見候時は急度致吟味其所に
足をたのさせ申間舖候萬一宗旨等すゝめ候者有之不審に相見候は、其所に押置早速可致注進
事

一御用之村繼物並御觸狀不限夜中無遅々先々の繼渡可申候事

一御公儀様御役御入用萬事百姓掛り物割合帳を作り其品々を書付名主組頭其帳面に加判仕年切に
算用相究可申候事

一新地之寺社建立之儀堅停止可仕旨奉得其意候事

一御法度之鳥類何に而も取申間舖候並鐵炮御免之外新規に所持仕間布候事

附り他所參獵に鐵炮打候者御座候は、搦捕可申候堅見通に仕間布候事

一盜賊惡黨村中に御座候は、可申上候縦同類たり其其罪を御免御褒美可被下由被 仰付候自然同
類之親類縁者あだをなし可申歟と存候は、内々に而も可申上之旨御褒美被下候上にあだいたし
候らはぬ様に御仕置可被成旨被仰付候上は怪敷者御座候は、不隱置御注進可申上候事

一堂宮山林等にからまり不審成者見出候は、搦捕御注進可申上候捕候儀不罷成候は、其者落付所
に致斷搦捕候様に可仕候見のがし致欠落候を後日に御聞被成候共曲事に可被 仰付候事

一倒者村之内歟郷境に倒死居申候は、其所之者早々立會隣郷之者にも斷立名主組頭其外之者も立
會着物懷中物品々相改身之内に切疵打疵等も無之哉委細吟味之上早速御注進仕可得御指圖候事

附り倒者様體非人等に相見候は、近邊之非人呼寄様子相尋非人に無紛候は、是又委細御役
所御注進仕御差圖之通右近邊之非人に少々錢を爲取候而爲取置可申候事

一百姓仲間亦は他所參候者或者旅人等及喧嘩口論候節は早速名主組頭馳集取鎮可申候たとへ齋
口之類持寄候而も少成共爲疵負申間敷候自然左様成儀仕出候族御座候は、理非に無構越度に可
被 仰付候事

一往來之者途中に而相煩村之内に打臥罷在候は、疎略に不仕隨分いたはり醫師相頼養生爲仕在所
行所承届氣分重く申候は、何れ成共最寄近き方早々届け仕相渡尤疎略無之世話に成忝存候
段手形取可申候萬一右之品疎略之仕方御座候は、急度可被 仰付由奉畏候事

一手負自害人等有之節者名主組頭立合様子相改生死に不構即刻御注進可申上旨尤生有之は外科亦
は其道に心得候者相頼急に療治養育仕番人等付入念疎略に仕間敷旨奉畏候事

一御年貢御割附被下候は、大小百姓立合出入無之様に致勘定被 仰付候日限に急度皆濟可仕候御
年貢米永壹合壹錢なり共無未進御取立可被成由奉畏候被 仰付候通急度皆濟可仕候事

一御年貢相納候節名主組頭相對仕御指圖之通入念御藏所に相納可申候惡米相納掛候は、御吟味之
上糺明可被 仰付由奉畏候聊疎略成儀仕間舖候事

一郷藏先規有來所に而は郷藏建繕置御吟味之上御米納可申候郷藏敷無之所は最寄に集置尤御米
番等能々可仕候其上津出之儀は可任御指圖候郷藏に御米納置候内者火事盜人に逢不申様に番家
を作り置晝壹人夜貳人宛不寢之番仕火之廻りかはらせ其上名主組頭替々に夜廻いたし番之者致

油斷候は、當番之もの越度に可被 仰付候萬一油斷仕火難盜賊に逢御米紛失仕候は、村中に而辨納可仕候尙又御年貢金名主方に取集置候節も右同斷村中か入念可申候事

一 御年貢皆濟不仕以前は勿論常々百姓夫食米猥に遣ひ申間敷候脇々之借物米金共に一切差引仕間舖候御年貢皆濟以後指引可仕候事

一 御年貢米拵隨分入念あら打碎しひなこみ石無之並升目不足無之様に精誠吟味仕中札上札落不申様に可仕段奉畏候俵拵前々之通入念仕立可申候尤請負買納堅仕間布候旨奉得其意候若相背候はば何様之曲事にも可被 仰附候事

附り 御廻米上乘宰領吟味之上儘成もの相賄可申候事

一 田畑無荒所様に可仕候五人組仲間に而申合耕作等精を入可申候若作之時分相煩候は、仲間内而肝煎可申候尤下人等不持小百姓仕付刈取之節相煩候は、作り不荒様に親類縁者は勿論五人組之内に而助合候様に可仕候作之間には男女共に相應之稼いたし可申候若不精に而徒に暮候者於有之は五人組之内に而互に致吟味意見仕不用之者有之者名主に爲申聞其上に而も不致承引候は、御訴申上べき旨被 仰付奉畏候自然名主五人組隱置候は、急度曲事に可被 仰付旨奉得其意候事

一 田畑石盛同前に而有之候畔をへだて田畑之面過半不相應に作も不出來に候は、急度致詮議田畑主手前貧有之歟亦者耕作振時分自身下人相煩無據譯在之者本人者御用捨五人組相助候而田畑不荒様に可仕旨は前々急度被 仰出候御法度之事に候處見捨置有之類有之は五人組急度越度に可

被 仰附旨田畑主違者に而身上向も宜下人も有之處作事に不斷懈候而百姓に不似合外之遊藝又者私樂に身を入不届之仕形有之候は、急度可被 仰付旨奉畏候事

附り たびこ本田畑に作り申間舖候事

一 村中之儀者不及申上隣郷に而も風上近所に火事出來仕候は、水籠を持ち付け付第一御藏を圍相働可申候萬一防中事不罷成候而御藏燒申候共一言之御訴訟不申上村中に而御米辨納可仕候事

一 毎年井堰川除御普請所無油斷仕御成箇引々不申様に耕作入念作可申候若疎に仕者御座候は、曲事に可被 仰付由奉畏候其村に而罷成御普請に候は、御注進申上得御下知可申候事

一 當村用水井堰或は掛堀惡水落堀年々春之内に無油斷惣百姓立合凌置可申候尤水口從先規明來候處爲自分新規に留明仕間布候勿論村中道境等之儀先規有來候所我儘に潰或は道境を付替申間布候若不吟味仕及爭論公事訴訟申候者何分之越度にも可被 仰付候事

一 當村諸役之儀從 御公儀様被爲 仰付候御普請高懸之儀者不及申上郡役自普請諸色人馬役之儀古來々相勤仕來候通無違背急度相勤可申候新規に止候儀決而仕間布候事

一 堰川除御入用被下候御普所は、不及申村入用に而仕立申候普請所に御座候共風雨之時分は晝夜共に名主組頭村中之者迄心を付所々あやうき場所出來候は、何れ成共見付次第に早速村中ね相觸十五歳以上之男子急々寄會隨分精を出防可申候萬一出合遅場所出候而も不精みじゆくの仕方有之後日相知候其急度可被 仰付旨奉畏候事

一 他所來り所に在付度と申浪人僧俗男女共に一夜成共宿貸申間舖候儘成者に候は、先々在所能

能承届其所を儘成者に而構無之儀手形取其上村中名主組頭五人組相會相談之上差置可申候尤其譯御注進可申上候無斷一夜成共宿貸申間布候手負怪敷者に宿貸候事は不及申見聞候は、不隱置早々可申上候見過候は、曲事に可被 仰付候事

一博奕並三笠之類惣而賭之諸勝負仕者御座候は、早々可申上由被 仰付候左様成者所に無御座候他所を參候而仕者にも宿貸申候は、急度越度に可被 仰付候若隱置候は、五人組共に曲事に可被 仰付候事

一御用に付諸百姓江戸の出候節遊興々間布儀仕間鋪候御用隙明候は、早速在所に罷歸り可申候若子細有之候而逗留仕候は、其譯申上置追而罷歸候節御斷可申上候事

一村中を奉公に罷出候共又は商に參候共先々落着所名主五人組にしらせ可參候其上親子兄弟成共他國仕程迄參候は、むさと置申間布候事

一竹木御林之儀者不及申上百姓山林四壁に而も猥りに採伐申間敷候縱百姓家普請に遣候は、御訴申上得御下知可申候我儘に伐取申間布候事

一百姓家普請仕候に不相應其身結構成義仕間敷候由被 仰付候段相背申間敷候事

一其所に不似合絹布又は諸道具致持參安く賣申候共無證據之物買申間布候怪義御座候は、先々迄改可申候事

一絹紬布木綿尺幅御定之通賣買可仕候事

一境論水引論仕内々に而たゞき合仕間布候他領之儀は不及申其所に而も斷すぐにいたしかさつに

仕間敷候事

一盜人之用心郷境に番屋を作り晝夜番仕隣郷に而も盜人有之は鳴を立候而早速出合搦捕御注進可申候若不似合者有之候は、曲事に可被 仰付候事

一他處を狼籍者罷越いわれ無之儀申懸候は、鳴を立其近所を寄合搦捕御注進可申上候むさと疵負せ申間敷候事

一附り諸百姓御停止之武具所持仕間布候常々百姓之義は脇差は壹尺八寸迄を限り夫々長き道具所持仕間敷候事

一免し無之者刀指申間布候百姓子共輕き侍奉公に出其後在所に引籠候は、刀差申間敷候並百姓旅懸之節奉公人に似せ宛行もなき主人之名を名乗刀をさし亦者荷物に似せ差札仕間布候段奉畏候事

一御赦免無之者鐵炮所持仕候歟玉藥所持仕候は、曲事に可被 仰付旨奉畏候聊左様之者無御座候事

一身體不罷成百姓理不盡追出し其跡之田地持添に仕間敷候死失候百姓有之者早速御訴申上百姓仕付家壹軒も潰不申様に仕御年貢御役共に相勤候様に郷中相談を以仕付可申旨奉畏候事

一附り御年貢引負欠落可仕様子相見候百姓有之候は、其五人組之内に而心を付名主與頭内談仕御年貢無滞皆濟仕候様に可致候事

一百姓印判失申者御座候は、其段名主與頭を相斷印形取替可申候名主與頭印形失申候は、御訴申

上判鑑差上可申候仲間に而印判借引堅仕間布候事

附り惣而判形仕候儀者文言承得心之上判形可仕候事

一佛事祭禮等は勿論婚禮等に至迄成程輕可仕候新規之祭禮一切仕間敷候事

附り諸見物之類郷中におゐて一切仕間敷旨奉畏候事

一前々御法度之通田畑屋敷永代賣並頼納之賣買仕候儀堅御法度に被 仰付奉畏候若相背族有之

は本人は不及申買人共に如何様之曲事にも可被 仰付候事

附り御朱印地之寺社田畑屋敷一切質物に取申間舖候事

一田地年季質入御定之通拾年季を限とし取遣可致候證文等に庄屋與判可致候尤質入仕候せつ庄屋

百姓立會地所も相改幾重質亦者當分借之米金出入等に無之候哉急度吟味之上滞無之候は、證據

判可致候事

一往來之道橋は不及申上在々所々に而も無惡き所様に道作り可申候並御奉公人衆御通掛り人馬御

用之由被 仰候は、不限夜中に無遲滞出之尤相應之駄質可申請候若遲滞仕り候歟慮外ヶ間敷儀

仕候は、其品に越度に可被 仰付候事

一前々造來る酒屋之外新規に造酒屋御停止萬一密々に而左様之類御座候を隱置他所後日に相

しれ候共急度曲事に可被 仰付旨奉畏候事

附讓酒屋之事酒株相對を以讓候節は其趣訴之可奉得御下知候事

一向後者拾石以下之百姓田地分け亦者野田に屋敷構候儀無用に可仕旨然共拾石以上之百姓は品に

よりわけ候らば不叶儀に候は、得御下知可申候兄弟子共大勢有之者は奉公人に仕候而成共如何様にも仕付可申候並百姓御年貢に相詰候歟又いわれ有之身體不相叶候而田地屋敷家財質物に入相渡申す子細有之は諸百姓立會村相談之上重而出入無之様に證文隨分入念相究可申候尤年季を限質物に相渡可申候勿論名主組頭田畑之儀者子細を書付御訴可申上候事

一名主百姓乗物鞍置馬惣而奢ヶ間敷儀御停止之由勿論百姓市町に出むさと酒吞費成儀亦者喧嘩口論仕間布候事

一百姓衣類者名主は妻子共に絹紬布木綿脇百姓は布木綿斗着絹紬者袴帶等にも仕間舖旨奉得其意候事

一百姓仲間公事出來候は、名主組頭能々遂吟味内々に而相濟可申候落着難成義に御座候は、證文

證據取集書付仕名主組頭同道に而罷出候名主組頭致相手に候は、五人組仲間一同仕證文證據

取添罷出可申候事

一人賣買一圓仕間布候事

一名主組頭惣百姓に對し依怙量負不仕出入等無之様に可仕候勿論米錢壹合壹錢たり共諸百姓方

押領ヶ間敷義會而仕間敷候御公用に付名主組頭江戸に出候節諸百姓方無用之雜用を割懸取申

間敷候事

一海川筋之村々諸船遭難風に時は早速助船を出し其趣を救ひ可申事

附海邊之儀御高札之通相守可申候事

一諸御役人御足輕中に至迄禮義音物は勿論少に而も賂ケ間敷儀亦者諸御役人御廻被成候節酒菓子
 杯指出候儀堅仕間布候萬一左様之族於有之は越度に可被 仰付候事
 一何事に不依人數多徒黨仕候儀堅御制禁之譯奉畏候聊徒黨ケ間敷儀又者御役人中様掠たる願等仕
 間敷候並神水を吞契約仕候儀堅仕間布候事
 一御普請人足扶持其外御渡物村方割渡之儀銘々請取印形取之可申候尤次合勘定不仕以後申分無御
 座様に入念可申候事
 一田畑引高之内起返高之儀年々三月中に書付可指出候起返有之を隠置候而者越度重かるべく候尤
 隨分村中申合引地之分起返し可申由奉畏候事
 附り隠田畑隱田成無御座候萬一左様之族有之候は、如何様之曲事にも可被 仰付候事
 一御用に付御役人中郷中の御廻之節朝夕賄方之儀兼而嚴敷被 仰付候通雜事物を以賄ひ酒肴者不
 及申菓子之類たり共右持出少も馳走ケ間敷儀堅仕間布候尤宿拵取繕申間敷候事
 午正月二日被 仰出候御書付を以被 仰渡候御請書
 一御料所國々百姓共御取箇並夫食種貸等其外願筋之儀に付強訴徒黨逃散候儀者堅停止に候處近來
 御料所之内にも右體之願筋に付御代官陣屋の大勢相集致訴訟候儀も有之不届至極に候自今以後
 嚴敷吟味之上可被行重罪科に候條御代官支配限百姓共其々急度申付置候様に御代官共其可被
 申渡候
 右之通此度御書付を以被 仰出候御料所國々百姓共御取箇並夫食種貸等其外願筋強訴徒黨逃散

候儀者堅御停止に候處近來御料所之内にも右體之願筋に付御代官陣屋の大勢相集訴訟いた候
 儀も有之不届至極に候自今以後嚴敷吟味之上重罪科に可被 仰付候條別紙御書付之通百姓共其
 末々に至迄嚴密に急度申渡請書取可申候自今五人組帳に書載置尤御書付寫取庄屋宅に張置末々
 百姓共迄月々に爲讀聞候様に被 仰渡候間急度相守べき者也
 右之通御書付を以被 仰渡候に付逐一承知奉畏候自今五人組帳に書載置年々讀聞せ勿論右御書付
 庄屋宅に張置候而月々に爲讀聞急度可相守處被 仰渡是亦承知奉畏候依之村中惣百姓並水吞迄逆
 判書付差上申候以上

享保六丑年

田畑配分候儀御書付

高 拾 石

地面 壹町

右之定分少く分け候儀停止たり尤分方に不限殘高も此定分すくなく殘すべからず然上は高貳拾石
 地面貳町分すくなき田地持は子共を始諸親類之内に田地配分不罷成候間厄介有之ものは在所に而
 耕作之働に而渡世致させあるいは相應之奉公人に可差出事

安永六年武州多摩郡上平井村五人組帳

本書は前掲の延享四年武州多摩郡伊奈村「御條目被仰渡候惣百姓連印帳」の五人組前書帳
 (六拾四箇條)と全く同一なるを以て今之を省略し其末尾に附したる五人組連判帳のみを
 左に掲載す

一高五百五拾四石八斗五升五合
 五人組詳け

多摩郡 上平井村

五人組	平兵衛印	金左衛門印	六右衛門印	五左衛門印	權兵衛印	勝之助印	又兵衛印	次郎兵衛印	伊八印
六人組	庄八印	小平治印	喜兵衛印	七兵衛印	幸七印	權左衛門後家印	定右衛門印	萬吉印	八郎右衛門印

六人組	安傳吉印	小右衛門印	勘三郎印	小三郎印	甚内印	新兵衛印	治兵衛後家印	權治郎印	清左衛門印	吉右衛門印	六兵衛印	重助印	傳兵衛印	孫七印	五兵衛印	七兵衛印	
六人組	八兵衛印	清兵衛印	孫助印	忠藏印	庄左衛門印	利右衛門印	吉左衛門印	與五左衛門印	伊兵衛印	彦七印	文治兵衛印	市郎左衛門印	嘉兵衛印	半助印	與七印	源左衛門印	伊之介印

五人組			四人組			五人組			五人組							
市郎右衛門印	茂八印	利右衛門印	仁兵衛印	七之丞印	小右衛門印	五郎右衛門印	七郎右衛門印	市郎左衛門印	勘左衛門印	彌兵衛印	忠右衛門印	七郎右衛門印	七右衛門印	利助印	曾助印	佐助印

五人組			五人組			五人組			五人組			六人組				
助左衛門印	清左衛門印	仁左衛門印	善右衛門印	兵右衛門印	作右衛門印	傳左衛門印	金藏印	賀右衛門印	文右衛門印	甚兵衛印	善兵衛印	彌左衛門印	小右衛門印	半七印	與兵衛印	源右衛門印

六人組						六人組					
長右衛門印	仁兵衛印	傳兵衛印	勘二郎印	久五郎印	半兵衛印	市左衛門印	茂右衛門印	傳八印	幸八後家印	太左衛門印	彦兵衛印

五人組					七人組					五人組						
治郎左衛門印	勝右衛門印	權右衛門印	清右衛門印	權左衛門印	八右衛門印	萬右衛門印	與左衛門印	九右衛門印	七左衛門印	七郎左衛門印	源七印	五郎左衛門印	嘉七印	清右衛門印	彦左衛門印	兵助印

前書之通急度相守可申候

四人組				五人組				五人組					
善	半	六	善	長	五	平	甚	金	忠	半	治	吉	吉
兵	兵	兵	衛	衛	郎	兵	兵	兵	右	兵	兵	兵	兵
八印	衛印	衛印	介印	兵印	衛印	助印	衛印	七印	門印	後家藏印	衛印	門印	衛印

五人組				五人組					
武	善	新	紋	半	茂	善	五	戶	長
左	衛	衛	右	左	左	左	右	右	兵
衛	八印	六印	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛
門印	八印	六印	門印	門印	門印	門印	門印	門印	門印

武州多摩郡上平井村
年番名主 紋右衛門印

六人組						五人組				五人組						
權	市	源	甚	字	長	甚	伴	孫	清	九	太	全	金	八	彦	平
兵	三	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	左	右	右	三之助	左	右	右
衛印	郎印	後家六印	衛印	衛印	助印	介印	藏印	衛印	八印	門印	門印	門印	平印	門印	門印	門印

五人組				五人組				五人組								
留	次	忠	傳	孫	左	太	半	清	武	小	傳	五	五	澤	七	市
郎	兵	兵	左	左	左	郎	左	左	左	八	兵	兵	郎	左	之	郎
衛印	衛印	衛印	衛印	衛印	衛印	左衛印	衛印	後家門印	門印	後家印	衛印	衛印	衛印	門印	助印	衛印
八印	衛印	衛印	門印	門印	門印	門印	門印	門印	門印	家印	門印	門印	門印	門印	門印	門印

谷十次郎様
御役所

同 庄 八印
同 權次 良印
同 小右衛門 門印
同 市郎左衛門 門印
同 兵 介印
同 喜 六印
同 八右衛門 門印
同 兵 助印
同 太郎右衛門 門印
同 伴 藏印
組 戸右衛門 門印
百姓代 小平 次印
同 忠 藏印
同 吉左衛門 門印
同 文治兵衛 門印
同 傳 八印
同 忠右衛門 門印

安永六年福島御領分五人組帳

差上申五人組手形之事

同 勝右衛門 門印
同 五右衛門 門印
同 傳兵衛 門印
同 孫左衛門 門印
同 忠右衛門 門印
百姓代 半左衛門 門印

一 毎年被 仰付候五人組村中相改家持面々之儀は不及申妻子并に下人借屋之者迄壹人も不殘連判人別帳差上申候五人組之儀は親子兄弟或は中之能者斗組不申他人組をも交可申候若組に入不申者御座候は、御穿鑿之上如何様之曲事にも可被仰付候勿論村中百姓詮儀之上五人組は、つし申族御座候は、其品々致御注進所追放被成候様に可申上候御事

一 在々所々の輩百姓不似合奢たる儀不仕農業を專に致身上持立候様に心かけ諸事油斷無百姓中間はげまし可申候若村中に而耕作商賣をも不仕百姓中の公事を進め無筋目申分を工み村中之妨に

罷成もの御座候は、相互に致吟味たとへ親子兄弟たりとも御代官衆迄申上所を拂可申候御事

一 耶蘇宗門御高札趣堅相守可申候村中人別帳相改且那寺判形取差上可申候御事

一 耶蘇宗門之者并盜賊惡黨人村中に御座候は、品々御注進可申候たとへ同類又は親類に而も其科

御免被遊御褒美被下候其上怨をなし候は、ぬ様に御仕置可被成旨被仰渡候怪敷者御座候は、無隠

訴人可仕候若隱置後日に相聞候は、村中之者如何様之曲事にも可被仰付候御事

一手負其外不審成者堂宮山林にからまり罷有候は、早々追拂可申候若みのがし隱置後日に相聞候

候は、村中之者何様曲事にも可被仰付候自然手負其外怪敷者他村送り而參候は、子細能々

致吟味村送仕候子細證人於有之先々送届け手形取置可申候御事

一 御年貢之儀極月十日以前に急度堅納可仕候勿論御割付之表相違無之様に大小百姓立合むらなく

致勘定名寄庭帳仕立差上可申候御事

附御年貢皆納不申以前借米借金等返済仕間敷候并勸進入申間敷候御事

一 御年貢米の儀は不及申俵拵等入念を升目納人書付俵之内にも入上にも札付可申候御事

附たり御年貢金銀米錢御代官衆之外郷夫衆へも相渡し申間敷候御事

一 御年貢御役等名主組頭之指引を背申者御座候は、早々可申上候若名主組頭非道之儀仕掛候は、

小百姓方證據證人を立可申出候惣而御年貢之儀は不及申假初之事にも手形を以取引可仕候證

據も無之儀時々申出候は、其身如何様曲事にも可被仰付候御事

一 公用有之候而百姓寄合申節酒肴其外食物費成儀村中に割掛仕候様に被及聞召候間向後は左様之

儀は堅仕間敷候旨承届け申候御年貢御役儀之外村中小遣ひ之儀小百姓等迄立合明細勘定仕年々
帳面に記小遣ひ方之儀に付出入無之様に可仕候御事

一 毎年二月初旬堤川除井堀御普請等無油斷可仕候若當村に而不成御普請御代官衆御差圖を請可

申候勿論少之場所に御座候へ共御奉行申請名主百姓立會坪敷數相改御普請可仕候御事

一 他領入合之芝間は不及申障り無之芝間にも新田畑に切開候は、御代官衆迄相斷御差圖を請可

申候自力に難叶所は品々入用申上候間御下知次第に可仕候

一 御公儀御爲與申百姓勝手にも罷成事に御座候間開發可被成場所少も打捨置申間敷候御事

一 畑直し之田無隱其度々に致御注進御改を請可申候百姓自力を以大分物入普請仕候儀に御座候間

兩年は畑並に被 仰付三年目田御年貢可被仰付候旨承届申候若隱置他所顯候は、名主五人

組共に曲事に可被仰付候御事

一 田畑古荒之立歸りは不及申新田切添等壹畝壹歩之所成共無隱申上其度々に御改可申請若隱置後

日に露顯申候は、其作人は不及申名主五人組迄如何様之曲事にも可被仰付候御事

一 大風大雨に而作毛損し申候は、不移時日御注進可仕候若油斷仕致遅々不申上候は、損毛之作物

上毛にも御年貢可被仰付候御事

一 道橋惡敷所御座候は、無油斷入念を作り直し可申候御事

一 御公儀御用之御觸れ狀并御配符通り申候節不限晝夜を村次に而早々相届可申候若遅々仕候は、

御穿鑿之上如何様之曲事にも可被仰付候御事

一行衛不知牢人僧俗男女共一夜之宿をもちし申間敷候御事

一他所當村に參有付申度と申者御座候は、其者之國所在所能々承届慥成者に而何方をも構無之旨請人を立手形を取村中名主組頭五人組に相斷御代官衆迄申上御指圖次第に差置可申候親子兄弟縁者等に而も爲無御斷一夜成共指置申間敷候御事

附たり親子兄弟に而も他所に數年罷有候者當村へ參候は、名主五人組に相斷指置可申候事

一博奕ほうびき惣而かけの諸勝負一切仕間敷候若村中に而仕者御座候は、早々可申上候隱置候はば當人之儀は不及申博奕之宿并名主五人組共に如何様之曲事にも可被仰付候御事

一勸進能相撲歌舞妓見世物類指置申間敷候并遊女かぶき子ども一夜之宿をも借申間敷候御事

一村中奉公人出候歟又は商出候共先々落着所名主五人組に爲知罷越候様に常々可申合若無斷罷出先々に而惡事仕出候は、其身は不及申品々名主五人組迄曲事に可被仰付候御事

一鶴白鳥惣而御法度之鳥取申間敷候かわり菓子類其外珍物御座候は、無隱差上可申候御事

一御林之儀は不及申百姓林に御座候共竹木むぎと伐申間敷候若家作之時入申候は、其節御代官衆迄御斷仕きり遣ひ可申候御事

一百姓家作之儀は身上に應じ輕々可仕候少も結構成儀仕間敷候并嫁取智取振舞成ほど輕く可仕候爲無用所百姓寄合亂舞酒宴堅仕間敷候御事

附たり神事佛事等は又身上に應じ成ほど輕く可仕候御事

一百姓衣類之儀は紫紅梅染并毛織絹布之類襟帶にも着用仕間敷候然共庄屋は絹紬迄は不苦候其外

小百姓等たとへ身上能候共麻木綿之外かたく着用仕間敷候御事

一不斷は不及申近郷にありき申時分刀一圓指し申間敷候并金銀を付結構成拵之脇指し大脇指し一尺八寸の長きを指申間敷御事

一所に不似合絹布亦是諸道具致持參下直に賣可申者有之候は、右無證據買取申間敷候并牛馬賣買も右同前可仕候御事

一男女下人御書出之通相對次第に召抱請人無之奉公人一日も指置申間敷候所奉公に出之請人無之奉公人一日も指圖申間敷候所奉公に出し候は、名主方に相斷其村に而請人相立他村者縦ひ親子兄弟に而も請に立申間敷候惣而筋目無之者むぎと請に立申間敷候御事

附たり男女賣買之節請狀請人致無沙汰以後出入に罷成候は、如何様道理有之候共双方御取上被成間敷候旨承届申候御事

一田畑永代之賣買御法度之由被仰渡候若隱置永代賣買仕候て後日に相聞候は、買人は籠舍被仰付代金損毛に仕田地關所に被召上賣人は不及申其五人組迄證人共に所追放被仰付旨承届申候并年季賣候儀十ヶ年を限其所之名主組頭之加判を以賣買可仕候賣地買地人別帳に記差上可申候是又手形等無念仕後日に出入に罷成候は、地所御取放双方共に曲事に可被仰付候御事

一高拾石迄之百姓子何人持候共壹人之外譲り申間敷候旨御公儀被仰付候由承届申候高少之百姓數多之子共に分吳候得ば彌身上成不申儀に御座候間向後相守可申候御事

一絹紬壹端長三丈四尺幅壹尺四寸麻布木綿壹反長三丈四尺幅壹尺三寸但し番匠かねにて織出し賣

買可仕候御事

一喧嘩口論醉狂者等有之ば理非之御構なく双方御法度に可被仰付候由承届申候御事

一境論水引論仕内々に而たつき合所をさはがし申候は、双方共に曲事に被仰付地所御取はなし可被成候由承届申候惣而他領之儀は不及申其所に而成共相互に利づくに少も強儀成事仕間敷候御事

一百姓寄合致一列連判神水等被下候儀堅仕間敷候若御訴訟候は、其身一分として可申上候所々草臥にも罷成候間無筋目儀郷中をさはがし申間敷候若違背仕候は、御穿鑿之上双方之者如何様之曲事にも可被仰付候御事

一盗人諸事爲用心村境に番屋を作晝夜致番を當村之儀は不及申近郷に而成共盗人有之を聞付候はば鳴を立面々明松を燈し早々出合可申候若不知體に而不出合者御座候は、曲事に可被仰付候御事

一身上ならざる百姓田地一跡を潰し其跡之田地持添仕間敷候妻子親類無之百姓死失申候は、其役百姓仕付御役屋壹軒も潰不申様に致御年貢御役等相勤候様に村中相談を以可仕候御事

一獨身百姓無紛長頼に而耕作仕付兼申者御座候は、其五人組は不及申村中百姓互之儀に御座候間致合力田畑仕付御年貢納申様に可仕候若不精仕荒し置申候は、其年貢村中急度辨納可被仰付候御事

附たりひとり娘等其村に御座候は、村中申合育取立申様に可仕候御事

一謀判仕者御座候は、親類は不及申名主五人組迄曲事に可被仰付候旨承届申候堅吟味仕五人組帳人別帳爲致印形申候若百姓印形失ひ申候は、名主五人組に相斷御代官衆迄上置候帳面に改書付仕候而印形押替可申候勿論印壹つの外所持仕間敷候御事

附たり假初にも印形借用仕間敷候御事

一御代官衆に金銀米錢衣類其外何に而も音物仕間敷候并當村に御出之節有來候野菜之外御馳走申間敷候御事

附たり御代官衆召仕之郷夫又は下々に而も進物之儀は不及申御馳走簡間敷事仕間敷候御事

一御代官衆非道之儀御申掛候は、無隱御奉行様直々訴可仕候御事

一火之元面々之儀は不及申店借之者迄常々入念を可申付候若出火有之節早速馳集防可申候御事

右之趣毎年被仰渡候承届申候名主手前に寫置毎月村中小百姓迄不殘名主方の呼集讀爲聞急度相守申様に申渡爲致油斷申間敷候近年百姓一入困窮仕候御ヶ條之趣何も百姓勝手之爲に御座候間自今以後相互に百姓仲間吟味仕相背申者御座候は、組中可申出候若隱置脇被聞召候は、五人組之儀は不及申名主百姓共に如何様之曲事にも可被仰付候爲其名主五人組判形仕差上申候爲後日仍而如件

安永六丁酉年五月 日寫之

板倉内膳正様御内

御奉行様

大川氏照里

天明五年高松藩五人組法令

〔伍家制令詳解〕所載

何	左	衛	門
何	兵	衛	
何	之	助	
何	次	郎	
何	右	衛	門

右五人組合家業出精いたし御法度を堅く相守惣て善仕業を進め合萬づ中よく相談いたす可き事
但し盜賊博奕殺生其外一切疑はしき仕方並に人寄宿など猥に仕組合の異見聞入ざる輩を隠し
置外より相知候は、其組合の面々可爲越度事

巳十二月

寛政三年武州足立郡淵江領普賢寺村五人組御箇條

〔東京府南足立郡東淵江村石黒市造氏所藏〕

本書の五人組前書帳(七拾貳箇條)は前掲の「享保集成絲綸錄」所載「當時村方五人組帳」の
中、一個條(百姓町人衣服の條)を脱し、(恐らくは傳寫の際に誤脱せしものならむ)最末に
三箇條を追加せしものなり故に今追加三箇條と附記壹箇條とのみを左に掲載すべし。

- 一 御公儀御仕置に而江戸拂又者追放等に成候もの御構之場所に隠置罷在候も有之様に相聞候畢竟
右體之ものと乍存圍置亦者致世話を候もの有之故之義に而不届至極候間於相顯者圍置候者も當
人同前之御仕置に被仰付家主名主五人組迄乍存差置候は、相當之咎に可被仰付候事
- 一 御料所國々百姓共御取箇並夫食種子借等其外願之儀強訴徒黨逃散候儀者堅停止に候處近年御料
所之内に而も右體之願筋之儀に付御代官陣屋に大勢相集訴訟致候儀も有之不届至極に候自今以
後嚴舖吟味之上重罪科に可被行候事
- 一 近來在方村々之者共耕作を等閑に致し却而困窮等之儀申立奉公稼に出候者多所持之田畑を荒置
候類有之由相聞不埒之至りに候已來村高人別割合何人迄者奉公に出候而も差支無之と申儀其土
地により右割合之多少可有之事に候之間村々心得違不致何にも村高不相應に他所に奉公稼に出

候もの多不罷成様村役人ども無油斷可取斗候實々無據子細に而奉公に出度旨相願候者在之は右割合之人數迄は村役人共承届年季を限奉公に出候様可致候右之趣年々無斷絶小前百姓共わ度々爲讀聞忘却致間敷候若村方之差支も不顧奉公に出持田地を荒候儀等有之候は、當人者勿論村役人とも迄可爲越度旨被 仰渡奉畏候事
右御法度之惣御箇條之趣村中に寫置毎月一度づゝ惣百姓共名主所々寄合爲讀聞被 仰渡候通相守可申候若相背候もの有之候は、何様之曲事にも可被仰付候爲其名主年寄五人組連判之一札差上申候以上

寛政三亥年

覺

一 一季居出替之爲時節之間宗門之義念を入改之邪蘇宗門に而無之旨請人を立可被相抱事
一 邪蘇宗門今以密々に有之候而所々々捕來候之間不審成もの不有之様に面々領内をも無油斷念を入可被申付事
一 領中被相改之不審成もの差置へからず若邪蘇宗門隱置他所於顯者庄屋五人組迄爲曲事へき旨手形取之毎年改之旨趣具に被書記之切支丹奉行に可被相渡此外頭々有之面々者改之書附頭々支配迄可差出之其頭々支配人を被取置之何も相違無之旨記一紙是又毎年吉支丹奉行に可相渡事
附り邪蘇宗門御制禁之高札曆年序文字見わかぬるにおいては新敷可被建替事

寛文十一年亥二月

右御書附之趣前々々宗門御改之義町中御穿鑿被仰附候に付名主百姓妻子下人者不及申寺社方同宿沙彌並道心者行人虛無僧山伏浪人等迄地借店貸一人も不殘相改申候處疑敷宗門之ものは御座なく候若不吟味邪蘇宗門訴人脇を罷出候は、其村々之名主五人組何様之曲事にも可被仰付候爲其銘々相改判取之帳面差上申候仍如件

寛政三亥歲正月

伊奈右近將監様

御役所

以下別筆

徳川政府五人組御箇條之寫

武藏國南足立郡東淵江村大字普賢寺郷本家石黒市造永代引繼之書類に付大切に保存致置
他人に貸與讓與賣渡事を禁

大正八己未年十月十一日

石黒氏六代祖

石黒吉五郎所有

石黒九代祖

石黒市造

嘉永四年十二月廿三日生

寛政七年武州多摩郡砂川村御仕置五人組

〔東京府北多摩郡砂川村砂川源五右衛門氏所藏〕

本書は前掲の「享保集成絲綸錄」所載「當時村方五人組帳」に左の二箇條を増補追加したるものなり

- 一 御公儀様御仕置に而江戸拂又は追放成候者御構之場所に隠罷在候者も有之様に相聞候畢竟右體之者と乍存圍置或者世話致候者有之故之儀に而不届至極候間於相顯者圍置候者も當人同前之御仕置被 仰付家主五人組名主迄乍存差置候は、御答可被 仰付旨此段可相守之旨奉畏候事
 - 二 御料所國々百姓共御取箇並夫食種貸等其外願筋之儀に付強訴徒黨逃散候儀者堅停止に候處近年御料所之内にも右體之願筋に付御代官陣屋に大勢相集訴訟致候儀も有之不届至極候自今以後嚴敷吟味之上重き罪科可行事
- 右御法度惣御ヶ條之趣村中に寫置毎月壹度宛惣百姓共名主所に寄合爲讀聞被 仰付候通相守可申候若違背仕候者有之候は、何様曲事にも可被 仰付候依之村中連判指上申候仍而如件

寛政十一年武州多摩郡上谷保村五人組御改帳

〔東京府北多摩郡上谷保村佐伯藤五郎氏所藏〕

- 一 前々從 公儀度々出候御法度之趣彌以堅相守御制法之儀不相背様村中大小之百姓下々迄可申付候事
- 一 五人組之義は町場は家並在郷は最寄次第家五軒宛組令並に下人店借り借地等之者に至る迄惡事不仕候様組中常々無油斷可令詮儀若し徒者有之候而名主之申付をも用ひ不申候は、可訴出候事
- 一 宗門改帳毎年三月之内可差出若し御法度之宗門之者有之は早速可申出候事
- 一 五人組宗門帳に押候外に印形拵置間舖候印判替り候は、名主組頭は役所を斷り百姓は名主方へ可斷候事
- 一 一切支丹並にころびの者有之候は、帳面に記し可差出若し他所より縁組等に而當村に右族來り候は、早速注進可仕候事
- 一 田畑並山林永代之賣買停止に候若し質に入候は、名主組頭加判可爲仕田畑質に入金銀を借り田畑を金主に爲作候而御年貢諸役地主相勤候儀不可仕候事
- 一 附り御朱印地田畑屋舖質物に取申間敷候事
- 一 衣類道具又者門橋等之はつし金物類出所不知賣物買取間舖候右之品々質に取又者不可隠置出所

知れ候物に而も請人無之候は、質に取間舖候事

一 惣而家業を第一に可相勤百姓不似合遊藝を好み悪心をすゝめ偽りをたくみ人之害をなすもの又者常々不行義之者あらば不隠置可申出候何事によらず神水を吞誓紙を書候而申合一味同心いたし徒黨がましき義不可仕候事

一 不孝者又者盜賊惡黨人有之ば訴人可仕ほうび可爲取之其上あだをなさる様可申付事

一 百姓家作之儀者分限より軽く可仕候目に立候普請不可致衣類結構成もの不可着名主は妻子共緋細布木綿可着之平百姓は布木綿之外不可着之輪子さやちりめん之類はるり帯にも仕間敷候然共百姓之内身躰宜舖者は手代迄断を立差圖請緋細可着候事

附り男女共乗物並鞍置馬に不可乗候事

一 聲取敷取之儀奢ヶ間舖義無之様分限よりかろく可仕候人大勢集り不可大酒を吞候新宅之ひろめ初産之祝不相應之いわむ仕間敷候葬禮之野酒一切停止之事

一 博奕惣而賭之諸勝負何事によらず博奕に似たる義一切不仕若違背之者有之歟又者右之宿を致し候者あらば早速注進可訴出候事

一 百姓何方に罷出候時も刀一圓指中間敷候壹尺八寸より長き脇指差中間舖候惣而百姓に不似合風俗を致し長脇差をさし喧嘩口論を好或は大酒吞致醉狂者有は可訴出候事

一 捨子堅仕間敷候若し他所より捨置候は、村中に而致養育早速可注進候事

一 獵師之外鳥獸一切不可取獵師たりといふ共鶴白鳥取候儀御停止に候若村中に而鶴白鳥賣買候者

あらば可訴候事

一 新地之寺社建立之儀堅く可爲停止惣而小祠念佛題目石塔供養塚庚申塚石地藏之類田畑山林又は道路之端に新規に一切建申間敷候佛事祭禮輕く仕惣而新規之祭禮不可取立事

一 神佛開帳致し候は、可注進當村之神佛他國に當分相移り開帳仕候儀有之ば前方に可注進又者他所より神輿踊等送り候は、不可請之村中に少之間も指置中間敷候寺社住持社人替り候は、可注進事

一 當村に有之候出家社人山伏行人道心者非人等其外穢多之類迄致吟味胡亂成もの住居爲仕間舖候名主年寄に不相達候而他所より來り候者一夜之宿をも不仕候様に右之者共可申付候事

一 村中之者或者立退き或は逐電或は身上潰候而住居難成者有之は可注進又は他村を子細有之立退き來り候は、近き親類たりといふ共當村に一切不可指置候事

一 他所之者當村に參り有附致住宅度と願候は、其者之出所家職之様子聞届け出所之向に付届け致し慥成請人手形取之宗旨相改途注進候而差圖可請店借り他借之者他村より置候時も右同前之事
一 高拾石以下之百姓子共に田地讓候儀堅御停止に候拾石以上たりといふ共田地を分け候は、可請差圖惣而新規之百姓有付候は、可注進百姓跡式之義存生之内名主年寄立合書付置後日に出入無之様に可仕候事

一 有來り候酒屋之外新規に造酒屋請賣之酒屋共に停止之事

一 當村之内に而能操相撲又者狂言其外見せ物之類芝居爲致間敷候私領に而も分郷或は村隣に而境

目紛敷地に而致し候はゞ芝居初ざる以前に可注進事

一遊女野良之類一切當村に不可差置一夜之宿をも致し申間敷候事

一一人賣買候儀堅可爲停止男女共に奉公に出候はゞ年季を限り可申候事

一不知行衛者に一夜之宿をも不可借旅人其外何者に而も堂宮山林田畑道路に死人有之は其者之雜物等名主年寄立合相改委細書付候而可注進若堂宮山林隱忍胡亂成者あらば遂詮儀品により搦捕可訴之其外手負又者胡亂成者他所より來り候はゞ出所を尋付届け致し注進之上指圖を請候而彼者可遣候事

附り捨物有之候はゞ名主組頭立合相改可注進候事

一往來之輩若し煩候はゞ醫師に見せ随分致養生食物等入念看病仕置可注進歩行不叶先へ參り候も難成候はゞ其者之在所承届け迎を呼手形を取相渡し可遣候若し病死致し候はゞ其者之雜物相改名主立會致封印可請差圖候事

一殺害人或は自害たおれもの有之は番人を付置早速可注進火事盜人手負之もの惣而不慮之儀出來候はゞ無油斷可注進事

一村中喧嘩口論有之は名主年寄立合可裁判他村に而喧嘩等有之は即時に走集べからず人殺し立退候者有之は隣郷之者迄出會候而搦捕早速可注進捕候儀難叶候はゞ跡をしたへ落付所を急度可申届候事

一他所へ參り二夜泊り罷在候程之義も名主に相斷可罷出若し他國に奉公に出候歟又は用事有之候

而他國に相越し候はゞ其子細名主年寄五人組に以書付可相斷公事訴訟に罷出候節は名主年寄五人組に相届け名主同道致し候歟又は濟狀持參可致候事

一田畑不可荒置永荒場起返り切添又は新田畑有之は早速可申出隱置脇より訴出候はゞ名主年寄可爲越度事

附り本田にたばこ作り候義停止之事

一諸作第一能種を選み候而時耕作に入念荒作之様に致候者あらば急度可詮儀獨身百姓長病又は幼少に而耕作仕付難成者有之は名主年寄立合村中に而助合田畑不荒様に可仕候事

附り地所不相應に田畑諸作他に替り耕作不精成者有之は名主年寄可吟味以小檢見之節引方立爲取間敷候事

一みなし子やもめ男やもめ女有之は村中申合はごくみ可申候行所無之普代召仕之者理不盡に追出申間敷候事

一常々耕作並に商業等も不致家職之かせぎも無之者村中に有之は遂吟味可訴之事

一堀を埋又者道を狭狹場村際を切添田畑不可仕出前々無之所に道を附馬入に不可仕若し道を附替新道に候而不叶所有之は可請差圖事

一御傳馬宿に大助定助郷より人馬歩を問屋年寄致吟味猥に人馬觸仕間舖其宿々之馬を圍置面々勝手能き荷物附候様成儀一切不可仕候御朱印は勿論駄賃傳馬人足之義常々致吟味置無滞様に可仕候事

附助郷の人馬觸來り候は、刻限を不違出之若も人馬割に難心得事候は、先無滯出之後日に可申出候事

一御用之人馬は不及申に本海道に而無之候とも往來之者之駄賃馬人足に不限晝夜無滯可精出御朱印又は御證文も無之人馬出候様にと申或者駄賃をも不出通り候もの有之ば品により捕置名主年寄立合怪敷體に候は、可爲注進候事

一用水之掛ヶ引常々申合置先例にまかせ致懸け引理不盡成義不仕爭論無之様に仕水論境論等之場は脇指弓鍵長刀持出し令荷擔者其科本人より重かるべき事

一堤川除井堰其外御普請所常々申合小破之節修復を加へ可申候満水之時は村中之者出合隨分可圍之道橋常々無油斷作り可申候破損いたし自普請に難叶往還之障りにも成候は、可訴出候事

一村中申合番屋を作り番人を置盗人並に火之用心隨分入念可申候若し出火有之ば村中之者精出し火を可消勿論御年貢米入置候藏大切に圍可申候事

一満水に而堤川除圍候節又者盗人狼籍者並に出火有之は鳴を立候節村中之者年十五以上六拾以下之男不殘可出若し其場は不出合者あらば名主年寄可遂吟味候事

一御年貢皆濟無之以前他所へ不可出之米納之義名主年寄立合米見を極め青米赤米粃糠等無之様に隨分遂吟味繼目不切様に俵入等可入念候事

一俵拵之儀二重こもに小口蜘蛛かゝり敷何れ成共一様に致しすり繩に而可仕候船積之儀は壹俵づゝこもに包み俵不損様に可致候俵之内に入候中札は紙に而國郡村之名御代官之氏名年號月日名主

米主升取米見之名迄銘々書付致判形手形之加判を取俵ごとに入可入之外札は木に而も竹に而も國郡村御代官之氏名米主之名斗可記之札之裏に俵之貫目可記候事

一御城米船上乗之者村中途吟味働有之儘成者可遣御藏前之入用並に船中雜用等多く不入様に申付委細帳面に記し役所指出し吟味請候様可仕候事

一御年貢米金銀名主方は取集候節帳面に金銀員數納主之名月日記之判形取置請取手形には名主致印形帳面に押切納候度に相渡し後日に出入無之様に可仕候若し不念に而受取手形不取置後日に訴出候共取上申間敷候事

一御年貢皆濟納拂致勘定候節皆濟目録に自分致判形可遣問村中大小之百姓立合相改可申候事

一御年貢納候節名主方より米主方は手形遣し庭帳に入念書付之可致判形不念に而手形無之出入後日に訴出候共取上げ間敷事

一惣而從 公儀被下候人足扶持當座に銘々割渡し帳面に受取候趣爲書付印形可取置候惣而差繼勘定不可致候事

一毎年御年貢割附目録出候は、村中之者へ披見爲致名主年寄方より村中大小之百姓出郷之者は、不殘相觸候而寄合致判形浮役小物成等可納米金壹人前に委舖書付百姓疑敷不存候様に譯け爲申聞其上割附之奥に別紙に繼候而立合披見仕候旨印形可仕置郷藏之戸にも割附寫可張置候御年貢割仕候節村中夫錢等小入用と御年貢入交りに不致差別を立可割合御年貢米金申渡日限之通り相納候様に常々村中可申合事

一 公用之儀又者村中申合等之義に付百姓寄合候節村入用に懸り候食物酒肴等一切給中間敷候堤川除御普請用水堀浚候せつ人足等村入用に懸り候酒肴給させ申間敷候事

一 自分家來並手代妻子召仕等に至る迄金銀米錢衣類諸道具酒さかな其外輕き物成共音物禮物一切仕間舖候右之者共ね貸もの借物或は押賣押買不依何事に不作法之義致し候は、無滯有體に其趣可申出候隱置後日に相聞候は、名主年寄可爲越度候事

一 自分家來並手代妻子召仕當村に參り口上にて申儀は勿論自分並に手代印形も無之書付を持參候而何事を申付候共一切承引不可仕早速可注進事

一 自分並に手代村々相廻候節者飯米鹽噌薪野菜等其所に而相場直段調候間即時に代物可請取候一宿晝休之所に而も右之通り上下共百姓之馳走に不成村々費無之様申付候條酒肴等此方より差圖無之物何に而も調置間舖候若し調置此方に入候に付寄合呑喰村入用に割懸け候は、名主年寄可爲曲事無差圖人馬集置百姓之隙を費し申間敷候事

一 村中夫錢掛り物等入用之儀隨分名主年寄途吟味入用多く無之様に可入念を右入用帳之義白紙をとち判形加へ渡置候間村入用少も不殘右之帳に可書付置此外別帳を作置間舖候判形之外に名主より懸り物割掛け候は、可爲曲事每年翌正月前年之入用帳寫相添差出し吟味之上寫帳此方留置名主方へ可相返間年々之帳紛失無之様に大切に致置可申候事

一 親に孝をつくし夫婦睦敷兄弟親類にしたしく下人は主に能隨ひ主人は下人をあわれみ惣而諸人に對し不禮惡口不仕物毎つゝまやかにして家業を專にし一々法を不可背若しがさつ我儘に而親

之しめしをも不用名主五人組之異見をも不承引耕作を怠り御法度を背候者有之歟行跡難見届候は、早々可申出隱置脇より顯候歟又不行跡者に而御年貢方高未進有之候は、村中可辨納候其外五人組之内身體不罷成様に相見へ候者を常々見逃し置納方於不埒には其五人組并に名主可辨納候然る間難見届者には常々異見仕承引不仕候は、早速可訴出及延々に候は、可爲越度候事

附り不届者其外何様之者に而も自分追出し中間敷候所を追出し可申程の者又勘當不通之者有之ば早速役所へ訴出可請下知候事

一 御高札大切に可相守文字見兼候は、申上立替可申候並に圍見苦からざる様に可仕候事

一 御料所國々百姓共御取箇夫食種貸等其外願筋之儀に付強訴徒黨逃散候義者堅く停止に候處近來御料所之内にも右體之願筋に付御代官陣屋の大勢集り訴訟いたし候儀も有之不届き至極候自今以後嚴舖吟味之上重き罪科に可被仰候御代官支配限り急度申付置候様御代官可申渡候右之通り被 仰出自今以後前條之趣可相守候以上

前書之趣被御讀聞其上御奉行様より被 仰渡候段逐一被 仰聞候五人組帳前書にも加ね猶又名主門先にも右之通り張置村中者可奉拜見候並に右書付年々新に張替可申旨村中大小之百姓不殘被仰渡承知奉畏候爲其名主組頭大小之百姓連判差上げ申候處相違無御座候以上

多摩郡 上谷保村

寛政十一己未三月

文 右 衛 門

五人組

藤兵衛印

久七印

甚左衛門印

源右衛門印

金兵衛印

利兵衛印

萬五郎印

權右衛門印

源治郎印

與八郎印

市平印

彌五郎印

武右衛門印

政藏印

半兵衛印

彌五兵衛印

五人組

權七衛印

彌五兵衛印

忠右衛門印

萬助印

彌平次印

善介印

三右衛門印

幸七印

重兵衛印

八兵衛印

半七印

源助印

平左衛門印

喜右衛門印

七三郎印

金七印

五人組

五人組

儀右衛門印
 儀左衛門印
 吉左衛門印
 彌七印
 源四郎印
 清五郎印
 清八印
 嘉七印
 助七印
 甚五右衛門印
 宇左衛門印
 金左衛門印
 惣七印
 定七印
 與七印
 平八印
 吉右衛門印
 市郎兵衛

五人組

傳右衛門
 義左衛門
 平藏
 政右衛門
 要藏
 庄五郎
 安兵衛
 七兵衛
 源藏

五人組

八郎兵衛印
 定右衛門印
 庄兵衛印
 彌兵衛印
 平七印
 七左衛門印
 源七印
 藤五郎印

五人組

太 七印

又 八印

五郎左衛門印

伊 兵衛印

藤 八印

勇 八印

三右衛門印

直右衛門印

平四郎印

三左衛門印

八左衛門印

治左衛門印

九郎左衛門印

傳 兵衛印

紋右衛門印

平左衛門印

太 兵衛印

五人組

六右衛門印

清 兵衛印

新五衛門印

甚五左衛門印

文 吉印

小 七印

千 助印

重 藏印

又 市印

平 兵衛印

安左衛門印

七右衛門印

佐 七印

太郎兵衛印

幸右衛門印

伊 衛門印

五右衛門印

四人組

五人組

新 八印
藤 右衛門印
傳 七印
七 左衛門印
清 六印
平 藏印
榮 次郎印
九 兵衛印
次 助印
傳 四郎印
平 右衛門印
武 左衛門印
長 右衛門印
庄 二郎印
長 左衛門印
八 右衛門印
定 右衛門印

五人組

五人組

五人組

五人組

五人組

權 二郎印
權 右衛門印
繁 藏印
彌 五郎印
藤 八印
乙 助印
磯 右衛門印
源 左衛門印
傳 吉印
重 兵衛印
兵 助印
半 七印
德 右衛門印
藤 七印
安 五郎印
初 五郎印
文 吉印

吉三郎印
幸右衛門印
岡右衛門印
小八印
彌右衛門印
傳藏印
三左衛門印
太左衛門印
金右衛門印
七三郎印
重助印
義左衛門印
市郎右衛門印
久四郎印
八郎左衛門印
平五郎印
七兵衛印

五人組

五人組

五人組

五人組

五人組

四人組

多摩郡上谷保村

名主 永次郎印
組頭 佐平次印
百姓代 平藏印

右御定之通り致組合候處相違無御座候帳面之儀は壹冊は御役所へ差上げ申候壹冊は控帳に仕名
主方に預り置申候以上

寛政十一己未年三月

寛政十二年下總國印旛郡鹿黒村五人組合並持高御改帳

指上申五人組證文

- 一 御公儀様御法度者不及申上御家御條目御下知狀之趣彌堅相守可申候事
- 一 田畑永代賣買仕間敷候若年季致賣買候者名主組頭五人組加判手形ヲ以相究可申候勿論二重質物ニ入申間敷候事
- 附り人商賣仕間舖候事
- 一 百姓跡式之儀其身存命之間遺狀ニ名主組頭五人組加判仕置何も立合戴許可仕候證據無之遺言筋目違たる證文御立不被成儀に御座候上は念を入吟味可仕候高拾石以下之跡式譯譲り申間敷候自然遺言も不仕子共無之者跡式者親類并組頭五人組遂相談名主へ相達由緒近きもの之方へ遣百姓相立御役等無懈怠可爲勤候尤支配方へ前廉に改之相究可申候事
- 一 他組者不及申村中にて書入又は訴訟等有之節荷擔いたし道理も無之儀取持申間敷候若右様の族有之或は神水を吞數神文企惡事或者常々以惡意無筋儀を申立村中之障に罷成候もの有之候は

ば何ものによらず早速可申上候事

附り當村又者近所にて盗人其外怪敷儀有之聲を立候はゞ早速出合候様に可仕候事

一 村中之外人請一切立申間敷候親類縁者無據子細有之候はゞ其趣名主組頭五人組へ相斷可任指圖候尤請立候奉公人之儀に付出入も御座候はゞ請狀之通相違之様に急度埒明可申候事

一 他所より村中へ引越候もの有之候はゞ親類縁者たりとも前廉に名主組頭へ相達御代官所まで可申上候事

附り他領へ引越候もの并縁付又は奉公に出候はゞ兼て被仰付候通名主組頭へ相斷御代官衆御差圖次第に可仕候事

一 從他所來候商人其外數年出入仕候ものにて逗留爲仕候はゞ名主組頭へ可相斷尤浪人衆被參候はゞ由緒書付御代官衆迄申上御差圖次第に可指置事

一 新地之寺社御制禁之通彌建立仕間敷候事

一 御年貢并諸役掛り物名主組頭割取見届け毎年印判仕置以後出入無之様に可仕候且亦輕百姓田畑仕付候節相煩又は無據指合有之候はゞ五人組之内より名主へ申談村中にて仕付養育可仕候若荒し置候はゞ曲事に可被仰付候事

一 途中に死人等有之候はゞ名主組頭立合雜物紛失無之様に相改死人に番付置御注進可仕候病人者致介抱出所相知候はゞ人を遣可相渡候若在所遠方にて難届け御座候はゞ御代官衆に可申上候惣て牛馬犬雞其外生類之儀者被仰付候通少も籠抹成儀仕間敷候事

附り途中にて何によらず拾候物御座候はゞ名主組頭へ早速申聞御代官へ可申上候事

一博奕賭之諸勝負一切仕間舖候事

附り村中火之元念を入尤火燒所御改之通惡敷所は早速仕直可申候勿論火事有之節は早く駈付精出消し可申候事

一猪鹿爲滅御預り被置候御鐵炮にて一切殺生ケ敷儀仕間敷候事

右之趣少ら相背中間敷候此度印形相改連判仕指上候間重て失候歟又は替候は御代官衆へ御斷申上新判可仕候尤兩判中間敷候帳面之通惣百姓無田水吞等は不及申村中出家社人山伏虛無僧迄も失念不仕様に年々讀聞爲相守可申候仍而如件

印旛郡鹿黒村

五人組 勝右衛門印

六左衛門印

彦右衛門印

源左衛門印

八十八印

權右衛門印

八左衛門印

勘右衛門印

一高壹石六斗四升七合

佐右衛門印

一高三石壹斗貳升八合

太右衛門印

一高七石九斗三升四合

五人組 八兵衛印

一高貳石三斗壹升七合

又左衛門印

一高五石六斗壹升

勘左衛門印

一高九升八合

善右衛門印

一高四升七合

西光寺

一高貳拾九石貳斗八升

名主 八左衛門印

一高五石七斗八升貳合

組頭 平左衛門印

一高三石九斗九升

同 市郎平印

一高四拾三石壹斗壹升九合

越市郎石

惣高合百五拾貳石五斗四合

右之通五人組御改被仰付候に付吟味仕帳面指上申候御法度之趣常々急度相守申候以上

寛政十二庚申年三月

下總國印旛郡鹿黒村

名主 八左衛門

御代官様

組頭平左衛門
同市郎平

三四二

享和元年米澤藩伍什組合掟書

農民伍什

百姓の天職は農業にて候其農業を勤て父母妻子を養ひ貢を上納て四民御世話の料となし候故人々安く家々さかえ候然といへども一人たちにては遂がたきものゆへ其組合を立置互に助て互に其生涯を安く過す事に候是迄も組合は有之といへども頼母しき申定も聞へず候付今度改て伍什並近隣五ヶ村の組合被 仰出候

- 一五人組は常にむつましく交りて苦樂を共にする事家族のごとくなるべし
 - 一十人組は時々したしく出入て家事をも聞事親類の如くなるべし
 - 一一村は互に助合互に救合ふの頼母しき事朋友の如くなるべし
 - 一組合村は患難に當て互に助て隣村よしみの甲斐あるべし
- 此通組結んで交べく候老て子なく幼なくして父母なき或貧にして養子に疎く匹偶に後るゝ或片

④

書丸山平六郎判、龍山厚非

高戸の天賦の有定と交易して人々用と是より其の間
 とは父母妻子と共ふ小く作証と云ふも一人三つをいふ
 かりさもこれ人々組合と立寄る小物く手に生かす毎
 日の事、作是と立組合の有りといふも此れ母も
 支へば何分今度改て仕付組合は 作は作
 一人組がきいひて、交て昔世と共する事家族のともか
 十人組の内とありく夫く事事も事事親族のともか
 一町内は主に助合は小救合は母も事明かはく
 世に組結く支度くは夫くもかといふも何れも父母も
 或は夫もして若き小味く匹備に後お武行極小く才色の
 盛るも、或病守元板の移るたき死して蘇とふも
 又、大難に面病成候も、交災と違くも家のともか
 罪業くはあらくも、あらん小名も人組に引結ての
 事介もあらく五人組くは夫くも十人組より力と合し、傷
 か小及るも、一町内の救も難業と云ふも、生かすも
 一と、いひる作
 一帯とする要といふ、の儉とゆ、と奢と割して、も職状
 動し、仕付組合の頼も、勢も、人々も、是を業に
 急るも、或物かき、小札と、高ひ、或物と、人々も、是と、請入
 て、り、或物と、備飾て、人の目と、被と、れ、又、井、津、津、の、酒
 宴、遊、舞、小、流、れ、持、突、賭、の、徳、負、と、事、も、は、ね、の、を、け、り、い
 仕、中、若、妻、洲、と、懸、一、更、見、と、か、ら、改、す、ん、十、人、組、に、是
 実、見、せ、り、り、程、を、改、る、ふ、ま、く、い、む、も、小、組、次、小、達、一、と
 扱と、請、下
 右、い、趣、に、作、出、上、頼、母、も、事、組、合、と、立、町、く、戸、の、永、く
 お、續、け、し、ら、ん、ま、也

享和元年二月 仲條
 佐戸

輪にて身過の成難き或病氣取扱の行立たき死して葬を成難き又は火難に雨露を凌がたき變災に逢て其家の立がたき斯る難義斯るよるべなきものあらんには其五人組身に引受ての養介たるべく五人組にて届かたきは十人組より力を合十人組の力に及がたきは一村の救に其難儀を除其生涯を其相應に遂しむべく候扱隣村若大難の事あり其村頓て立がたきにも至べきと云ほどの事ならば隣村のよしみ何ぞ餘所に見て過べき四ヶ村の頼母しき救あるべし

一善をすゝめ惡をいましめ儉をまもらせ奢を制して其天職を勤しむるが伍什組合の頼母しき務たるべし若耕作産業に怠るもの或天職にたがつて末業に走るもの又は歌舞妓狂言酒宴遊興に流れ博奕賭の勝負を事とする類のものあらば伍中をのく教訓を施し異見を加へ若し改ずんば十人組に告げ異見せしめ猶も改ざるに至らばひそかに村役に達して其扱を請べし
右の通被仰出候間頼母しき組合を立村々戸々永く相續致すべき也

享和元年二月廿七日

中 條
菫 戸

商戸伍什

商戸の天職は有無を交易して人々の用を足さしめ其潤を以父母妻子を養ふにて候然といへども一人立にては遂がたきものゆへ其組合を立置互に助て互に其生涯を安く過す事に候

是迄も組合は有之といへども頼母しき申定も聞へず候付今度改めて伍什組合被仰出候

一五人組は常にむつましく交て苦樂を共にする事家族のごとくなるべし

一十人組は時々したしく出入て家事をも聞事親類のごとくなるべし

一町内は互に助合互に救合の頼母しき事朋友のごとくなるべし

此通組結んで交べく候老て子なくいとけなくして父母なき或貧にして養子に疎く匹偶に後るゝ或片輪にて身過の成がたき或病氣取扱の行立がたき死して葬をなしがたき又は火難に雨露を凌がたき災に逢て其家の立がたき斯る難義かゝるよるべきものあらんには其五人組身に引請ての養介たるべく五人組にて届がたきは十人組より力を合十人組の力に及がたきは一町内の救に其難義を除其生涯を其相應に遂しむべく候

一善をすゝめ惡をいましめ儉をまもらせ奢を制して其職を勤しむるが伍什組合の頼母しき務たるべし若其家業に怠るもの或物なきに札を以商ひ或は物を賣て其直を踊貴せしめ或物を偽飾て人の目を抜もの又は歌舞妓狂言酒宴遊興に流れ博奕賭の勝負を事とする類のものあらば伍中各教訓を施し異見を加へ若し改ずんば十人組に告て異見せしめ猶も改ざるに至てはひそかに組頭に達し其扱を請べし

右之通被 仰出候間頼母しき組合を立町々戸々永く相續いたすべき也

享和元年二月廿七日

中 條

菫 戸 「菫戸太華翁」より引用

享和三年武州荏原郡品川領上大崎村五人組帳

〔東京府荏原郡大崎町竹内方豊氏所藏〕

本書は前掲の「享保集成絲綸錄」所載「當時村方五人組帳」の中一箇條を改め更に最後に三箇條を追加したるものなり。故に今修正及び追加の三箇條と五人組連判とを左に掲載す。

「當時村方五人組帳」の第四拾六條

一名主百姓名田畑持候大積り名主二十石以上百姓は十石以上夫より内持候ものは石高猥に分け申間敷旨被仰渡奉畏候若相背申候は、何様の曲事にも可被仰付事

を次の如く改む

一田畑配分之儀高拾石地面壹町より少く分け候儀御停止に候尤分高に不限残り高も此定より少く相殘申間敷候然る上者高貳拾石地面貳町より少き田地配分不相成候間厄介人有之者は在所に而耕作之働に而渡世爲致可申事

追加及び五人組連判

一御 公儀様御仕置に而江戸拂又は追放に成候者御構之場に隱置罷在候儀も有之様相聞候畢竟右體之者に乍存圍置或者致世話候者有之右之儀に而不届至極に候間相顯におゐては圍置候者當人

同前之御仕置被 仰付家主五人組名主迄乍存圍置候は、御科可被 仰付候事

一御料國々百姓共御取箇並夫食種貸等其外願候筋之儀に付騒訴徒黨逸散候儀は堅御停止候處近來御料所之内に而も右體之筋に付御代官陣屋の大勢相集致訴訟候儀も有之不届至極に候自今以後嚴敷吟味之上罪料可被 仰付由被 仰渡奉畏候事

一近來在々村々之者共耕作を等閑に致却而困窮等之義申立奉公稼に出候者多所持之田畑を荒し置候類有之由相聞不届之至に候以來村高人別に割合何人迄は奉公に出候而も差支無之と申義土地に寄右割合之多少可有之事に候間村々心得違不致孰れにも村高不相應に他所に奉公稼に出候者多不相成様村役人共無油斷可取斗候實々無據子細に而奉公に出度旨相願候も有之候は、右割合之人數迄村役人共承届年季を限り奉公に出候様可致候右之趣年々無斷絶小前百姓共の度々爲讀聞忘却致間敷候若村方之不願差支も奉公に出持田畑を荒候義も有之候は、當人は勿論村役人迄可爲越度旨被 仰渡奉畏候事

右御法度之惣御箇條之趣村中寫置毎月一度宛惣百姓共名主所に寄合爲讀聞被 仰付候通り相守可申候若違背仕候者有之候は、何様之曲事にも可被 仰付候爲其名主年寄五人組連判之一札差上申候仍如件

享和三年亥三月

荏原郡品川領

上大崎村

又 兵衛

七 右衛門

長 四郎
 七 郎兵衛
 新 兵衛
 又 左衛門
 傳 左衛門
 清 九郎
 甚 左衛門
 太 右衛門
 太 郎兵衛
 佐 右衛門
 三 次郎
 十 次郎
 十 左衛門
 彌 助
八右衛門後家
 忠 次郎
 久 助

小	三	郎
惣	十	郎
德	三	郎
藤		七
嘉	兵	衛
次	兵	衛
元	右	衛
藏		門
長	次	郎

天	台	宗
年	寄	又
同	忠	次
名	喜	平
同	主	小
		左
		衛
		門

大貫次右衛門様
御役所

覺

右五人組帳之義前文名前共年々如此相認め致目張繼印之義者名主年寄年月日は三月と相認毎年右振合に相認め書上可申候事

(編者云前記覺書に記せるが如く本村に於ては享和三年以後年々前掲の五人組帳(七十三箇條)を前書と爲し其末に五人組連判を附して之を差上ぐる事と爲したりと見えて本書の原本には前掲享和三年三月の五人組連判を始めとして爾後翌文化元年より天保七年に至るまでの毎年の五人組連判帳の下書を附綴せり)

享和三年越後國頸城郡松野山郷五人組御仕置帳

條々

- 一前々從 公儀度々出候御法度書之趣彌以堅く相守御制法之儀不相背様に小百姓下々迄可申附事
- 一五人組之儀町場は家並在郷は最寄次第に家五軒宛之組合子供並店貸借地之者に至迄惡事不仕候様に組中無油斷可被詮儀若徒者有之名主之申附をも不相用候はゞ可訴之事
- 一毎年宗門改帳三月迄之間に可差出若御法度之宗門之者有之者早速可申出切支丹宗門之儀御高札之旨相守宗門帳之通人別念を入可相改宗門帳濟候後召抱候下人等寺請狀別紙可取置事
- 一五人組宗門帳に押候外に別印判拵置申間舖候若子細候而印判替候はゞ名主組頭は役所迄可相斷其外之百姓は名主組頭は可斷名改候はゞ早速斷を致し五人組帳宗門帳にも改候名を可記事
- 一切支丹轉之者並類族有之分者別帳に記之切支丹奉行所は差出候事に候間他所より縁組等に而當

村の右之族來り候は、早速可註進事

一 田畑並山林等永代賣買彌御停止に候若質物等に書入候共拾箇年を限質手形に加判可爲致候田畑質に入金銀借置田地をば金主に爲作而御年貢は地主より爲出候儀仕間敷候惣而證文に怪敷文言於有之者出入に成候時不可取上候且又請人印を取可申事

附名主組頭に加判願候は、様子聞届早速致加判可遣事

一 衣類道具又は川橋等之はつし金物之類出所不慥成賣物一切買取申間敷候右之品々質に取又は不可預置出所知れ候物に而も請人無之候者質にも取間敷事

一 惣而家業を第一に可相勤百姓に不似合遊藝を好或者惡心を以公事をすゝめ偽をのみ害をなす者又は不孝之輩あらば不隱置可申出何事によらず神水を吞誓紙を書候而申合一味同心いたし徒黨がましき儀不可仕候事

一 盜賊惡黨人有之ば可訴出訴人におゐては褒美をとらせ其上害をなさざる様に可申付事

一 百姓之儀結構成物を着べからず名主は妻子共に緋細木綿可着之平百姓は木綿之外不可着之輪子紗綾縮緬類襟帶等にも致間敷候然とも身體宜敷者は手代方迄斷を立差圖を受緋細可着事

附男女共乗物に乗べからず惣而家作等目立候普請者がましき儀仕間敷候事

一 聲取嫁取之祝儀奢かましき義無之様に分限より軽く可仕人大勢相集り大酒を吞べからず所により蚊屋之祝義新宅之ひろめ初産之祝惣而不相應之祝義可爲停止應分限内證より軽く祝ひ葬禮之節野酒一切停止之事

一 捨子仕べからず若他所之者捨置候は、村中に而養育いたし早速可註進事

一 生類憐之儀心懸不實に無之様可仕不仁之儀一切停止之事

一 獵師之外鳥獸一切捕べからず獵師たりといふとも鶴白鳥捕之候儀御停止に候若村中に而鶴白鳥商賣致者有之者可訴之事

一 捨牛馬之儀致べからず候若他所之捨牛馬並放牛馬當村に來り候は、見出次第に名主組頭に告村中立會證儀いたし持主知れ候は、其村名主並牛馬主より手形を取相返し其上早く可註進事

一 馬之筋を延候儀御停止に候牛馬賣買仕候は、出所聞届請人を取五人組に相斷可致賣買出所不慥成牛馬買取べからざる事

一 新地之社社建立之儀堅く停止するべし惣而祠念佛題目之石塔供養塚庚申塚石地藏之類田畑山林又は道路之端に新規に一切立まじく候佛事神事祭禮等輕執行之新規之祭禮不可取立事

一 寺社之儀住持社人替り候は、可註進事

一 神佛開帳いたし候は、可註進當村神佛他國に當分相移開帳仕候儀是あらば前方に可註進又は他處より神輿を送り候様成儀有之ば不可請取之村中に少之間も差置申間敷事

一 當村に有之候出家社人山伏行人道心者又者非人其外穢多之類常々致吟味候而胡亂なる者住居爲致間敷候名主組頭に不相達候而他所より來り候者一夜之宿をも不仕候様に右之者共可申付事

一 村中之者之内或は立退或は逐電或は身上を潰し候而住居難成もの有之者可註進又者他村より子細有之立退來候は、親類たりといふとも當村に一切差置べからざる事

- 一 他村之者當村に有附住居仕度と願候者其者之出所家職之様子聞届出所村方名主に届け斷を致し
 慥受人取之宗旨相改遂注進候而可差置店貸地借之者を置候にも右同前可相心得事
- 一 高拾石に地面壹町右定より少分け候儀可爲停止尤分け方にかざらず殘高定より少く殘べからず
 然上者高貳拾石地面貳町より少く田地持たる者子供を始諸親類之内にも田地配分不能成候介抱
 人有之者在所に而耕作之働に而爲致渡世或は相應之奉公人に可差出候事
- 一 惣而新規之百姓有付候は、可註進跡式之儀者存生之内に親類並名主組頭爲立會書付置後日出入
 無之様に可心掛事
- 一 當村之内に而能操相撲又は狂言其外見世物之類芝居等爲致間舖候私領に而も澤郷或は隣村に而
 當村境目に紛はしき地に而致候者芝居不始以前に早速可註進事
- 一 惣而遊女野郎之類一切不可置一夜之宿をも致間敷事
- 一 行衛不知者に一夜之宿をも借べからず旅人其外何者に而も堂宮山林道路に死人有之者其者之持
 來候雜物改名主組頭立會様子委細書付可註進堂宮山林に隱忍胡亂成者有之者令證議品により搦
 捕可訴之其外手負又者不審成者他所より來候は、出所を尋附届致註進之上受差圖候而彼者可出
 事
- 一 往來之輩若煩候は、早速醫師に見せ随分養生いたし能々痛み食物等に念を入致看病置可註進之
 行歩不叶先の參候儀難成者其者在所聞届迎を呼手形を取相渡遣し可中候若致病死候者其者道具
 等改名主立會致封印置可受差圖事

一 殺害人或者致自害候者或は倒者有之者番人を附置早速可訴之火事盜賊喧嘩手負之者惣而不審成
 儀出來候者右同前に無油斷可註進事

一 村中に而若喧嘩口論有之者名主組頭立會可裁判他村に而喧嘩等有之節走集べからず人を殺立退
 候者有之ば隣郷之者迄出會搦捕り早速可註進若搦捕候儀難成候は、跡をしたへ落着所の急度可
 申届事

一 田畑荒し置べからず永荒之場起歸り切添又者新田有之候者早速可申出隠し置脇より訴候は、當
 人は不及申名主組頭迄可爲越度事

附煙草本田畑に多く作り候儀停止之事

一 堀を埋又者道をせばめ秣場林之際を切添田畑を不可仕出前々より無之所に道を付牛馬を入べか
 らず若道を付替新堀を不致候而不叶處有之者訴出可請差圖事

一 用水之掛引常々申合置諍論無之様に可仕候水論境論等之場の刀脇指弓鍵長刀等持出令荷擔者有
 之者其科本人より可重事

一 御傳馬宿の助人馬寄候者問屋名主致吟味猥人に足觸仕間敷候其宿々之馬を圍ひ置面々勝手に能
 荷物を付候様成儀一切不可仕事

一 御朱印は勿論駄賃傳馬人足之儀常々致吟味無滯様可仕事

一 附り助郷の人馬觸來候者刻限を不違可出之若人割難心得候共先無滯差出し後日可申遣事

一御朱印又は御證文も無之人馬出し候様にと申或は駄賃不出通候もの有之者其品により押置名主組頭立會證儀之上怪敷體に有之者可訴之事

一村中申合置番屋を作り番人を付置火之用心隨分念を入可申付若出火有之者鳴を立村中寄合精出消べし勿論御年貢入置候御藏大切に圍ひ可申候尤藏所有之村方出火之節者藏組之村方は早速翔付可申事

附風烈敷時分者晝夜にかぎらず切々相廻り用心可仕候近在に出火有之候者早速翔付可防之事
一堤川除不切様に常々申合洪水之時は村中之者出會隨分可圍之道橋等損候而往來之障に成候歟田畑損毛に可成所者惣而小破之時可修覆自普請に難成處は先例に隨ひ御入用に而可申附候觸無之候共請取場之道橋者常々無油斷作可申事

一洪水之時堤川除圍ひ候節又は盜賊狼藉並に火事有之時者鳴を立可申候其節は村中之者十五以上六十以下男者不殘可出若不出會者あらば名主組頭可遂吟味事

一鐵炮之儀猪鹿を防候ため願候而鐵炮渡置候外村中に不可隱置尤御定之月之外鐵炮打べからず證文之通狼に無之様に可心得事

一御林御立山之竹木者枝葉下草迄公用之外伐取間敷候縦下草錢出し候而苜取候所たりといふとも草木を苜取候様成儀致べからず御林すき候所は草木を植立候様に可仕候百姓持林並に屋敷四壁之樹木に而も目立候木を伐遣ひ候は先書付を出し可伐之堤に有之候草葎等苜取間敷事
付堤に植物不可致事

一入會之野山面々之持山に而も草木之根を掘取間敷候鶴之荷を入候様成儀可爲停止田畑は山崩砂入等無之様に山林草木植立可申事

附り山中に而燒畑致來候所者格別野山に火を附候儀堅停止之事

一諸作第一能種を撰候而蒔植耕作念を入荒作之様に致候者あらば急度可令詮儀獨身之者有之若相煩候は名主組頭立會村中に而助合田地不荒様に可仕事

附地所不相應に田畑諸作他にかわり作劣り耕作不精成者有之は吟味可仕御檢見之節も引方立爲取申間敷事

一常々耕作並に商賣等も不致家職之稼無之者村中に有之者遂吟味其趣可訴之事

一博奕惣而賭之諸勝負或は百姓講と名付商に事寄博奕に似たる儀何に而も致べからず若違背之輩有之歟又は右之宿等致候者有之者早速可訴之事

一百姓に不似合風俗をいたし長脇指を帶し喧嘩口論を好み或者大酒を吞醉狂行跡惡敷もの有之は可訴之事

一他所に參二夜共泊り候程之儀者名主に斷り可罷出若他國に奉公等に出候歟又は用事候而相越候は委細名主組頭五人組書付を以可相斷公事訴訟に而公儀は出候其趣名主組頭五人組に可相届事

一御年貢皆濟無之以前穀物他所に不可出之金納のため米賣候は先納米員數を積り納米程上来を拵置次之餘り米賣可申事

附御用之置米急御用之事に候共名主壹人に而封印切取出し申間敷候藏組庄屋立會可申事

一御城米名主組頭立會青米死米碎々米粃糠等無之様に随分致吟味升目不切様に俵拵之儀、二重に而小口かゝり摺繩に而仕名主組頭米主升取且又手代印形之中札を入可申候外札之儀者木に而も竹に而も國郡村と米主之名計可記候尤船廻り仕候節貫目等名主組頭立會俵拵改可致船積事

一御廻米積出し候節名主組頭立會俵數相改船積可致於船中米を刺取不申候様に上乘船頭共可申付候船掛り場に而別而油斷致べからず且又御藏におゐて惡米ふけ米等にまざらしかし候様成事仕間敷候上乘之儀村中遂吟味可遣之御藏米之入用並に船中之雜用多不入様に申付委細帳面に記させ入用可渡事

一御城米納に罷越候者共逗留之内惡處惣而遊山かましき處に一切不可罷出事

附り納に罷越候手代音物又は手入ヶ間敷事堅不可仕事

一御年貢金銀名主方の取集之控帳に納候度々金銀納主名を書附印形可爲致控帳に押切印判致遣置後日出入無之様に可仕事

一御年貢米納所之節名主方より米主の銘々手形遣之庭帳に念を入書附印判可致不念に而印形無之候は後日訴出候共取上申間敷候事

一御年貢皆濟之納拂致勘定右目錄に直し表書印形取之名主方に差置村中銘々可爲致披見候

一惣而從 公儀被下候人足扶持賃錢等當座に銘々割渡し帳面に請取候趣爲書附印判可取置惣而次合勘定不可致事

一毎年御年貢免狀出候は、村中之者に披見爲仕名主組頭方より村中大小之百姓出作之者共にも不殘相觸寄合候而致免割小物成浮役臨時物米金壹人前宛委細書付小百姓にも怪敷不存様に其譯爲申間右之書付爲寫其上免狀之奥に別紙繼候而立會披見仕候旨書付印形銘々取置御年貢割仕候節村中夫錢小入用迄御年貢入交一同に不可致候差別を立可割會算違等無之様に随分念を入御年貢之儀申渡日限之通相納候様にと常々村中可申會事

一免狀披見一札連判翌年正月十五日迄に可差出事

一公用之儀又は村中申合之儀に付名主方の百姓寄合候節村入用懸り之食物酒肴等一切給させ申間敷事

一堤川除御普請用水堀をさらへ申時人足等村入用掛り之酒肴給させましき事

一名主組頭を始惣而前々申付候通手代並に妻子召仕等に至迄金銀米錢衣類諸道具其外酒肴等如何様之輕物なりとも音信禮物一切仕間敷候右之者共若貨物借物或は押買押賣何によらず不作法之儀致候は、無隱有體に其趣可申出隱置後日相聞候は、名主組頭可爲越度事

一自分家頼並に手代之召仕當村に參口上に而申儀者不及申自分並手代印判も無之書付持參に而何事を申付候共一切承引不可仕早速可注進事

一手代村々に相廻候節何時に而も飯米鹽味噌爲持廻り候一宿晝休之所に而も御定之木錢出之上下共少も百姓之馳走に不成村々費無之様に申付候條酒肴等此方より差圖無之を何に而も調置申間敷候若調置此方より不入に付寄合飯食村入用に割掛候は、名主組頭可爲曲事無差圖人馬集置百

姓之隙を費し申間敷事

一 村中中之夫錢懸り物小入用等之儀名主組頭遂吟味入用無之様に可入念尤帳面拵置村中諸入用其當座に付置尤其所に居合候者も可致印形右帳面之外名主組頭より懸り物割合候は、可爲曲事毎年翌正月中に前年之村入用帳寫候而本帳相添可差出候途一覽寫帳留置本帳は名主へ相返し候而年々紛失無之様に大切に可致置事

一 御料所國々百姓共御取箇並夫喰種貸等其外之儀に付訴訟徒黨逃散候儀堅停止に候處に近來御領所之内に而も右體之願筋に付御代官陣屋の大勢相集り訴訟致候儀有之不届至極に候自今以後嚴敷吟味之上重き罪科に可被行候條御代官支配限り百姓共の急度申付候様に御代官共の可被申渡候

右之條々堅可相守此旨違背之輩者可爲曲事此帳毎年正月五月九月十一月壹ヶ年に四度宛村中大小之百姓寄會儘に爲讀聞常々此趣合點仕罷有候様に念を入可申付者也

享和三年亥正月

前書之御箇條逸々奉拜見村中大小之百姓此五人組帳に壹人も除候者無御座候御箇條書則名主方に寫置中候而被 仰渡候通爲讀聞壹ヶ條宛合點いたし急度相守可申候若此旨相背候は、如何様之曲事にも可被 仰付候爲其連判如此に御座候以上

享和三年亥正月

越後國頸城郡松野山之内小屋丸村

右件之常右衛門依懇望染筆畢

持

主

市川常右衛門

服部義兵衛書之

享和三年遠江國磐田郡笠西村五人組帳

〔靜岡縣磐田郡笠西村桑原太三郎氏所藏〕

差上申五人組手形之事

一 第一重御公儀御年貢諸役等大切に相勤め尤も親に孝行を盡し夫婦兄弟諸親類としたしく下人等相憐れみ可申候且つ又村中之者之内親に不孝之者御座候は其様子見届意見仕用ひ不申候は其段可申上候老て子も無之幼少にて親離し或は後家に成り長病杯致無據身の上衰へ難立者御座候は一類共は不及申上名主組頭五人組迄心を合せ取立可申候御事

一 吉利支丹宗門之儀は毎年御改之節寺判取帳面差上申候通り壹人も不慥成者無御座候自然不審成者御座候は可申上候尤も御高札古く罷成候は御斷申上建替可申候尤も垣等損し申候は度々修覆致掃除等可仕候且つ又召仕の者寺請狀取置候何時成共御用次第差上可申候御事

一 五人組之儀町は家並在郷は最寄次第軒宛組合可申候五人組之内壹人宛頭を立て互に諸事吟味仕往還宿は御傳馬役百姓は耕作に念を入れ精出し御仕置之趣急度相守可申候五人組の内御役油

斷仕耕作不精仕り御仕置の儀少し成共をろかに存し候者御座候は異見仕るべく候若し異見をも用ひ不申御仕置違背仕候者御座候は早速御注進可申上候面々の儀は勿論妻子並に店借り借地之者下人等に至る迄常々無油斷吟味仕り悪事無之様に可仕候若悪事仕り候は本人は不及申上名主組頭五人組迄越度可被仰付候尤も五人組帳にはづれ候者御座候は早速可申上候隠置脇より御聞被成候は名主組頭迄曲事可被仰付候御事

一印形之儀常々大切に所持可仕候若し紛失仕り候か又は替申候節は名主組頭は直に得御下知小百姓は名主組頭申達し同道にて印形持参判鑑帳に付可申候御事

附印形之儀人に預申間敷兪末に仕候者御座候は越度可被仰付候御事

一御年貢御免定御出し被成候節村中惣百姓並に入作の者迄寄り合ひ拜見仕無相違免割致し其上割賦相違無之惣百姓より名主方へ手形取置可申候御事

一御米拵之儀隨分念入あらぬかくだけ死米田くさり青米赤米無之様に仕り俵繩拵迄御差圖の通り無相違相納可申候米見升取惣百姓相談之上相極め可申候中札上札之儀俵毎にさし可申候御年貢納所仕候節名主より請取手形遣はし可申候勿論庭帳念を入記之納候者判形爲致置可申候御事

附名主方より納所之手形取置不申出入に罷成候共御取上被成間敷令奉得其意候御事

一御年貢極月十日以前急度皆濟可仕候惣て御藏納物之諸色は例年納來候通り相納可申候且つ又御年貢收納之儀被仰付候日限不相違相納可申候勿論皆濟不仕以前穀物少しも他所へ出し申間敷候御事

一當村之内火事出来候は村中不殘早速火元へかけ付大火に不成内に随分出精消可申候繼他村にても御知行所の内は不及申他領にては隣郷に火出来候は相互にかけ付消可申候其節に少しのものにても盜取候者後日に御聞被成候は曲事に可被仰付候若し何にても拾ひ申候は隠置不申早速斷可申上候

附火事盗人殺害人其外何事に依らず不慮之儀出来申候は早速御注進可申上候御

一身體不成百姓之御年貢可納積相考米金銀に遣不申散田米手作米五人組支配致し御年貢不滯様可仕候若油斷致し米金不足致させ候か又は欠落拵仕御年貢不足致候は村中にては辨納可仕候御事
附百姓仲間相煩耕作に仕後れ申候者御座候は五人組は不及申上村中にて仕付收納の時分分け合申へく候御事

一他領之田畑野山川堀並に水論其外公事出入仕候は名主組頭立會及心之注意内詮議其趣可申上候惣て他領へ御訴訟申上候儀は得御下知可申上候他領への御役人衆中御訴訟罷出候節不禮不仕勿論公事相手之者にかさつ我儘成儀相掛間敷候御事

一公事好み仕出入を取持人之妨に成候者御座候は可申上候並に喧嘩口論を好み或は夜あるきを致し耕作をろかに仕名主組頭之異見をも不用不届成者有之候は是又可申上候隠置御詮議にても顯はれ申候は本人は勿論名主組頭五人組迄越度可被仰付候御事

一不依何事に一味同心神水之儀は不及申上惣て徒黨ヶ間敷儀一切仕間敷候若相背候者御座候を及見聞申候ても隠し置後日に顯れ申候は名主組頭五人組迄曲事可被仰付候御事

- 一 盜賊並に惡黨者有之候は村中之者早速出合搦捕御注進可申上候若近郷より盜賊並に惡黨之者追來候は無油斷出合加勢可仕候搦捕り候は其様子相尋追來候者迄留置早速得御下知可申候御事
- 一 町在郷に於て欠落者諸牢人並に雲介無宿之類惣て行衛不知怪敷者一夜の宿貸申間敷候飛脚其外獨旅人は能く見届問屋年寄相斷り一夜はかし可申候在郷は一切人宿問敷候且つ又親類縁者好身又は所生之者成共數年他所に罷有罷り歸り候は能々吟味承届て先様の名主方より書付取り之を差上置可申候其節僧侶何者によらず仔細書付得御下知可申候御事
- 一 田畑山林賣買之儀永代は堅く御停止に御座候且つ又田畑質物年季限相渡候は其御年貢領主方より相勤可申候尤も地主並に名主組頭連判手形取替せ可申候名主組頭の内若私曲をかまへ加判不仕候は早速可申上候相對にて質物取申間敷候且つ名主加判無之手形を以て出入に罷成候は双方共に曲事に可被仰付候御事
- 一 衣類諸道具其外何にても儘成證人無之候は質物に取申間敷候密々にて取之候旨御聞被成候は如何様之曲事にも可被仰付候御事
- 一 一人請猥りに立申間敷候近き親類又は出所能存知し儘成者に候は名主組頭に相斷り請に立可申候御事
- 一 能操歌舞妓勸進相撲其外何にても見世物之類村之内にてみだりに芝居御座候は御願申上日限定爲仕候尤も喧嘩口論無之様に爲し相慎み可申候御事
- 一 遊女か間敷もの一切差置申間敷候御事

一本田畑之儀は不及申上新田新開之地並に見取場等御改請不申場所一步成共御座候は無隱申上御改請御年貢御上納可仕候隱置脇より顯れ申候は當人は勿論名主組頭五人組迄曲事可仰付候御事(被脱カ)

附本田畑に煙草作り申間敷候田畑仕出し道を狭め申間敷候御事

- 一 川筋之村々大水出候は晝夜を限らず近村之者共出合堤切れ不申様可仕候若危く相見候場所は最寄村々より繩俵杭木鐵持籠持參り堤圍可申候勿論堤に有之竹木芝草葭菅等刈採申間敷候御事
- 一 賭博之儀堅く御法度之旨奉畏候惣て賭の諸勝負並に宿等仕間敷候此旨而々世倅共下人等迄堅く申付相守可申候若相背申候は如何様之御仕置も可被仰付候御事
- 一 旅人病人手負其外何者にても道路に倒れ伏候もの有之候は様子相尋行衛承置勿論養生致し置早速御注進可申上候相果候は名主組頭立會其者の年頃改並に衣類諸道具雜物等明細相改書付御注進可申上候御事

附所々之者不慮之あやまちにても疵を蒙り候もの御座候は早速御注進可申上候御事

- 一 武家之御奉公人衆在郷に通られ人馬雇度由被申候は何方へ通られ候哉御主人並に其人之名字名承届往還御定之駄賃錢相考道法に應し駄賃錢取り先様へ送り届可申候御傳馬宿にて無之候其疎略に仕間敷候尤過分之駄賃取申間敷候御事

附右之類の御衆中へ對し不禮仕間敷候御事

- 一 在之道橋惡き所御座候は修葺仕道路自由成様に可仕候從御公儀様被仰付候橋杯破損御座候は其段早速御注進可申上候

(請脱カ)

- 一山林四壁之竹木みだりに伐採中間敷候無據儀に御座候は御差圖を可申候御事
- 一人賣買之儀一切御停止之旨奉畏候若左様之者有之候は早速御注進可申上候御事
- 一用水忌水堀之儀毎年正月中百姓立會普請可仕候自然溝之内稻等植溝を狭め候事御座候は取拂可申候御事
- 一用水之儀濁水之時分精出し水引可申候理不盡に水引取喧嘩口論仕間敷候御事
- 一在々にて鷹を遣ひ申され候か又は餌差衆參られ御法度の鳥を取申され候は其人の名在所承届て御注進申上候御事
- 一藥賣座頭翁まひ其外如何様の者にても村送り仕來從名主濟狀にて參り候共請取中間敷候御事
- 一鐵鉋打申儀御法度被仰付候上は御運上鐵鉋之外堅く打申間敷候若密々にて打候者御座候は能々見届御注進可申上候御事
- 附御運上鐵鉋にてもみだりに打申間敷候若相背族御座候か又は御法度之鳥を取申候者御座候は早速御注進可申上候隱置脇より顯れ仕候は本人は勿論五人組迄曲事可被仰付候御事
- 一去る已年從御公儀様被仰出候御條目名主所々に張置き無懈怠村中大小の百姓水吞まで請聞かせ急度相守可申旨奉畏候御事
- 一往還宿へ從御公儀様被仰出候條目之趣町在々共に急度相守可申旨度々被仰渡奉畏候且つ又定介大介村々は問屋方より人馬觸遣候は晝夜風雨の節も刻限之通り急度相勤可申候介人馬之儀に付出入無之様に立人馬出人馬相互度々吟味仕町在證文取替置可申候御事

御事

- 一店借借地之者差置候は其出所念を入相改儘成者に御座候は名主五人組に相斷手形取差置可申候御事
- 一金銀は不及申上衣類諸道具何によらず拾ひ物仕候は名主往還は問屋方へ相達し早速御注進可申上候隱置後日顯れ申候は曲事可被仰付候且つ又衣類諸道具打物之類或は古金何にても怪敷ものふり賣ふり買一切仕間敷候御事
- 一有り來候祭禮成其目立候儀に候は其節得御下知可申候新規之祭禮會て仕間敷候且つ又當分之神送成其他所へ送出し申間敷候他所より送來候も請取中間敷候御事
- 一御普請人足御扶持米其外從御公儀様被下物御座候は當座に立會致割賦名主方へ證文取置可申候惣て繼合勘定仕間敷候且つ又村入用之儀名主組惣百姓立合吟味之上相互に帳面に印形仕り置以來出入に不罷成様に可仕候勿論村入用帳毎年差上可申候御事
- 一町在々共跡々御帳に付候酒屋之外新酒屋仕間敷候御事
- 一町人百姓欠落又者身體つぶれ申候か其外何事によらず相替の儀有之候は明細書付致し御斷可申上御事
- 一名主組頭小百姓に對し非道成儀有之候は早々可申上候且つ又小百姓我儘仕名主組頭之下知に隨ひ不申は是又申上候御事
- 一百姓持來候田畑子に譲り候儀小高百姓は勿論高多く持者にても惣領一人に残らず相渡し其外は職人奉公人に出し持高分け中間敷候然共割渡し候はで不叶儀に御座候は其趣申上御差圖請中へ

く候尤も拾石内之百姓は一切分申間敷候御事

附跡式之儀は不依老若病中書置致し名主組頭之印形取置死後に争論無之様に可仕候御事

一進退不罷成其身又は世忤之内他所へ奉公に出候は其節御斷可申上候御事

一縁組養子等之儀名主組頭承届帳面に記し置き毎年宗門御改前に可申上候御事

一衣類之儀名主は絹紬迄着之百姓は布木綿着可仕候きぬ以上のも一切用ひ申間敷候尤も刀指申間敷旨被仰渡奉畏候御事

一聳取嫁取の儀身體相應より軽く可仕候勿論乗鞍馬等用ひ不申乗掛等に結構成ふとん敷申間敷候祝言振廻以下軽く可仕候御事

附葬禮法事随分軽く可仕候御事

一惣て御役人衆へ何にても音物仕間敷旨常々委細被仰付候趣惣百姓へも折々申渡根堅く相守り可申候御事

一御役人衆中御用に在々へ御出被成候節馳走が間敷儀堅く仕間敷御泊り晝休み之節御扶持米錢相應に請取之れを取るに少にても百姓費無之様に可仕奉畏候若相背き馳走ケ間敷儀仕後日に御聞被成候は名主組頭曲事可被仰付候御事

一御家中之衆在々御出不叶御入用之物自然御調被成候は世間並之直段に賣渡代物請取可申候所々御座候物にても直段下直に致し馳走ケ間敷賣渡候由御聞被成候は急度曲事可被仰付候御事

一御用之外御役人衆其外御家中衆在中へ御出被成如何様に御願被成候共金銀米錢相渡し候儀は不

右、通共右の山にありて、
 境、漆、木、石、土、草、花、
 差、遠、近、大、小、の、有、り、
 村、後、山、の、下、に、在、り、
 天、保、七、中、年、

帳組人五膳大本山

その志ありて祈ふ事

右、通世夜中、波高る人組、不吉一月、月々再々
増給、悪事、不移、善事、導り、祈願、下
差、遠背、祈願、の、於、有、去、去、去、不及、中、組、合
村、役、人、連、意、度、で、祈、作、祈、の、の、や

天保七申年

山本大蔵蔵版



及申上人馬出し不申勿論一夜之宿も仕間敷候御事

一惣て御家中之衆在々御越候て押賣押買之儀は不及申上少も非分之儀御座候は毛頭無隠可申上候
隠置後日御聞被成候は名主組頭越度可仰付候御事

一御料所國々百姓御取箇並に夫食種貸等其外願之儀に付強訴徒黨遊散候義は堅く停止候近年御料
所之内も右體願之筋に付御代官陣屋へ大勢相集り訴訟致候儀も有之不届之至極に候自今以後嚴
敷吟味之上重罪科に可行條御代官支配百姓共へ兼々急度可申候御事

一町人百姓分限不相應之家作仕間敷候御事
一町在々共御仕置其外何にても百姓町人及迷惑に候義御座候は少も無遠慮可申上候品により願の
通り可被仰付候旨奉畏候事

右條々通り村中急度相守可申候尤も名主年寄に於て大小の百姓店借り借地之者迄毎月讀聞かせ可
申候若相背候者御座候は如何様之曲事も可被仰付爲後日五人組手形差上申所仍如件

享和三年亥二月

文化四年武州多摩郡戸倉新田五人組帳

〔東京府北多摩郡國分寺村戸倉新田戸倉茂助氏所藏〕

本書は「享保集成絲綸録」所載「當時村方五人組帳」を改正増補したるものにして、前掲の

「享和三年武州荏原郡品川領上大崎村五人組帳」と全く同じく、唯其末尾の請書の字句に少異なるのみ。故に今末尾の請書と五人組連判帳とのみを左に掲載す

右御法度之趣惣百姓共名主所々寄會爲讀聞被 仰付候通相守可申候若違背仕候者有之候は、何様之曲事にも可被 仰付候爲其名主年寄五人組連印之一札差上申所仍而如件

多摩郡戸倉新田

彌	五郎	印
吉	右衛門	印
庄	左衛門	印
四郎	左衛門	印
藤	左衛門	印
市郎	右衛門	印
市	兵衛	印
德	右衛門	印
仁	右衛門	印
左	右衛門	印
權	右衛門	印
左	兵衛	印
善	兵衛	印
清	左衛門	印
利	左衛門	印
萬	右衛門	印
善	右衛門	印
藤	右衛門	印
半	右衛門	印
佐	五兵衛	印
藤	右衛門	印
彌	右衛門	印
儀		八印

五人組

七人組

平	八印	
市	之丞	印
重	左衛門	印
六	左衛門	印
勘	右衛門	印
源	七印	印
九	右衛門	印
久	兵衛	印
久	左衛門	印
宇	左衛門	印
五	平次	印
新	兵衛	印

七人組

茂	右衛門	印
佐	五衛門	印
與	兵衛	印
佐	次右衛門	印
甚	五右衛門	印
甚	右衛門	印
市	三郎	印
助	右衛門	印
長	兵衛	印
五	郎兵衛	印
七	兵衛	印
久	右衛門	印
甚	左衛門	印

五人組

五人組

久	兵衛	印
久	左衛門	印
宇	左衛門	印
五	平次	印
新	兵衛	印

六人組

助	右衛門	印
長	兵衛	印
五	郎兵衛	印
七	兵衛	印
久	右衛門	印
甚	左衛門	印

右者當卯年五人組帳相極め差上申所少も相違無御座候以上

多摩郡戸倉新田

名主 茂平次印